

令和 3 年度 神戸市子ども・子育て支援事業計画  
及び神戸市次世代育成支援対策推進行動計画  
「神戸っ子すこやかプラン 2024」の検証について

神戸市

## もくじ

ページ

1	検証の概要	
(1)	神戸っ子すこやかプラン 2024 の概要	1
(2)	検証の方法	1
2	計画の検証	
(1)	教育・保育施設の利用状況（令和4年度）	2
(2)	保育所・認定こども園・小規模保育等定員数・待機児童数の推移	3
(3)	市民（保護者）調査結果	4
(4)	施設利用者調査結果	13
(5)	「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況	50
3	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について	53
4	令和3年度 主な事業進捗状況	55

# 1 検証の概要

## (1) 神戸っ子すこやかプラン 2024 の概要

平成 15 年 7 月に制定された次世代育成支援対策推進法及び平成 24 年 8 月に制定された子ども・子育て支援法に基づき、令和 2 年 3 月に子ども・子育てに関する総合計画として「神戸っ子すこやかプラン 2024」を策定し、子育て支援を総合的に進めている。

## (2) 検証の方法

本計画は、国の次世代育成支援対策推進法に基づく「行動計画策定指針」及び「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の整備並びに子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針」に示されているとおり、各個別事業の進捗状況に加え、個別事業を束ねた施策や計画全体の成果について利用者側の視点に立った点検・評価を行うため、市民（保護者）調査、施設利用者調査を実施し、PDCA サイクルに基づいて、毎年度「神戸市子ども・子育て会議」において検証する。

### 〈検証資料〉

#### ①教育・保育施設の利用状況

「住民基本台帳に基づく人口(町丁目別・年齢別)」（令和 4 年 4 月 1 日現在）の 0～5 歳の人口に占める、保育所、認定こども園、幼稚園、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育を利用する児童数の割合を調査することで各種施設等の利用状況を把握するとともに、待機児童と上記施設等の定員の状況を確認する。

#### ②「神戸っ子すこやかプラン 2024」検証アンケート

##### ・市民（保護者）調査

3 歳児健診を受診する児童の保護者を対象に、個別事業・施策の「認知度、利用度、満足度」を調査

##### ・施設利用者調査

施設利用者を対象に、各施設・施策の「満足度」を調査

〔実施施設〕

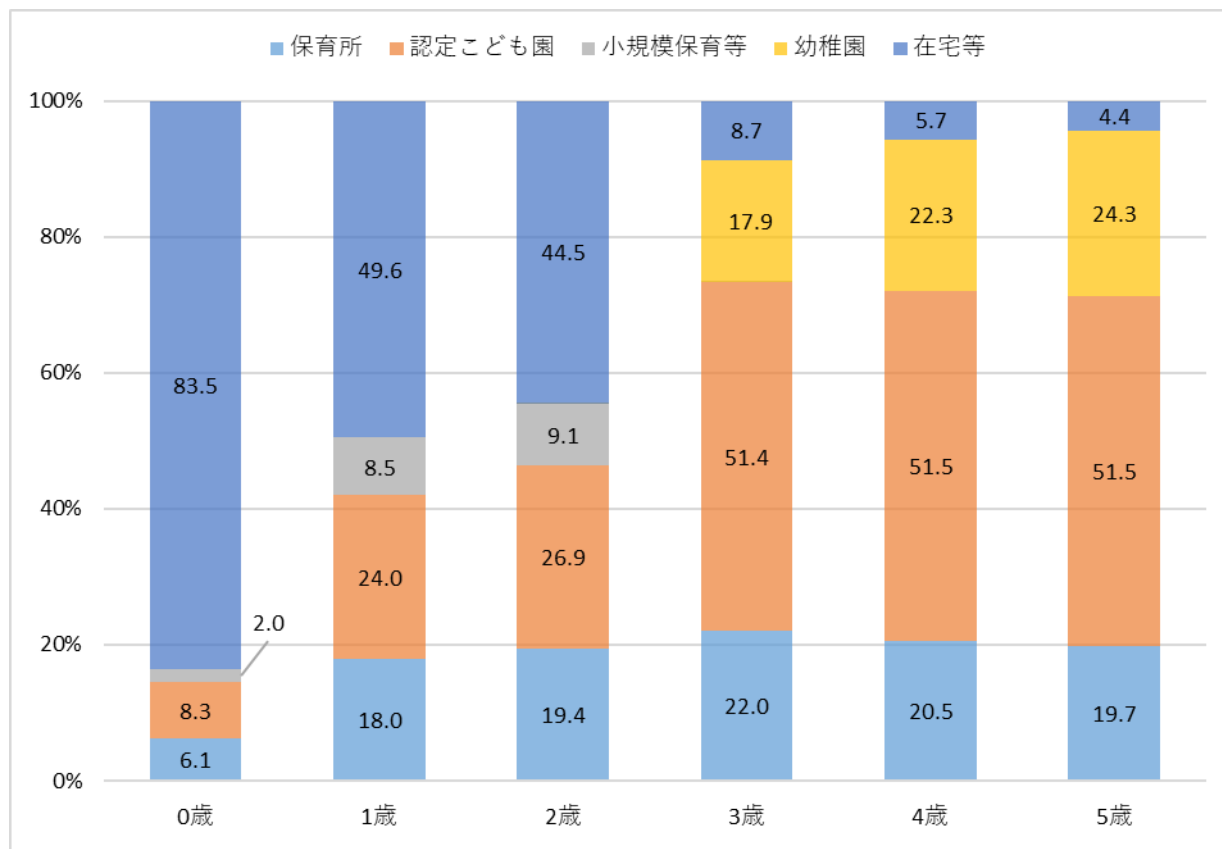
保育所、認定こども園、幼稚園、児童館、大学と連携した子育てひろば、学童保育、一時保育、子育てリフレッシュステイ、病児保育、ファミリー・サポート・センター、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育、おやこふらっとひろば

#### ③「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況

関係機関が行う取組をまとめ、市内企業の利用状況等を確認する。

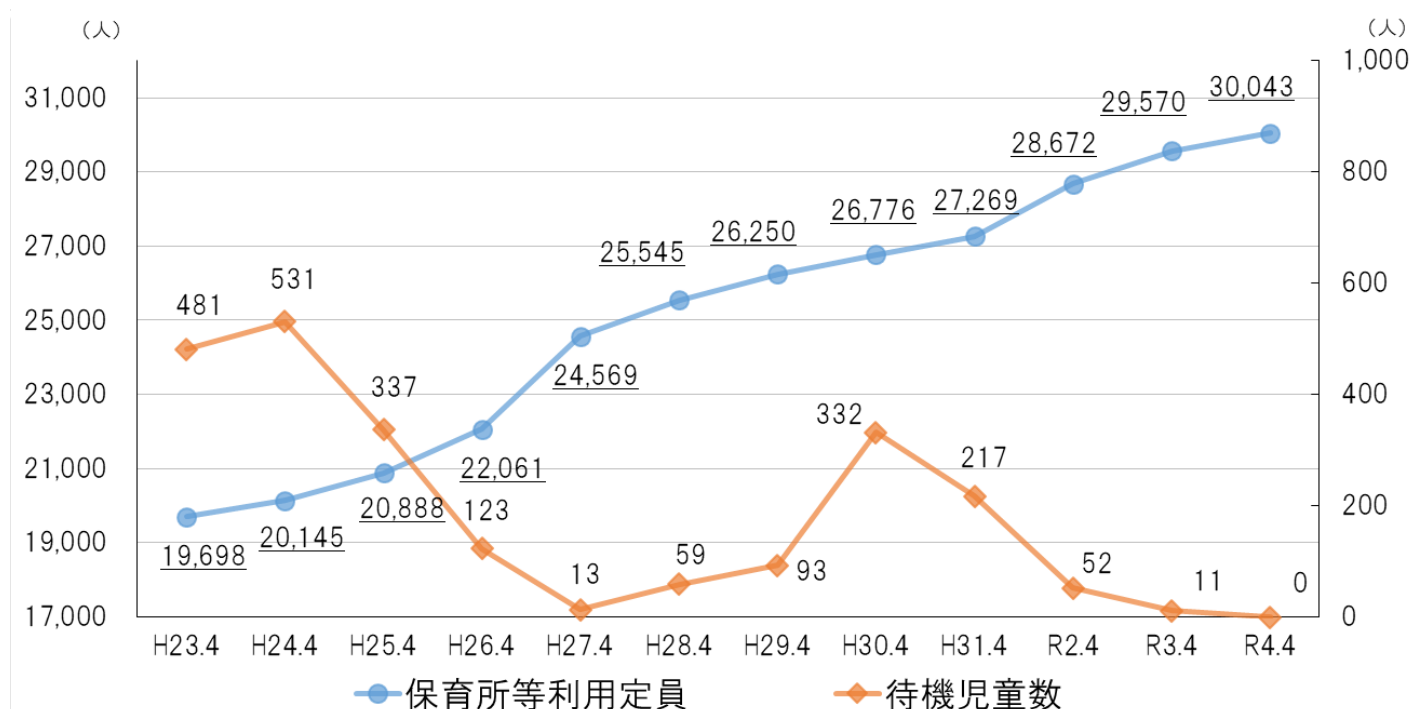
## 2 計画の検証

### (1) 教育・保育施設の利用状況（令和4年度）



就学前児童（0～5歳児）の教育・保育施設の利用状況を見てみると、0歳児は83.5%、1～2歳児では50%弱と在宅での育児比率が高い。3歳児では91.3%が、5歳児になると95.6%が幼稚園・認定こども園・保育所等へ入所している状況である。

## (2) 保育所・認定こども園・小規模保育等定員数・待機児童数の推移



保育所・認定こども園・小規模保育等定員数と待機児童数の推移をみると、平成26年度の約2,500人分の保育枠の拡大に伴い、平成27年4月の待機児童数は13人と前年に比べ大幅に減少したものの、女性の就労機会の増加などを背景に保育所等の利用希望者数が増加し、平成30年4月は332人、平成31年4月の待機児童は217人という結果となっていた。これまで、毎年度、保育所等利用定員の拡大を図ってきたが、令和元年度にはさらに約1,400人、令和2年度には約900人、令和3年度には約600人分を拡大したことにより、令和4年4月の待機児童数はゼロとなった。

引き続き、地域毎の保育ニーズをきめ細かく把握し、保育ニーズが今後も増加することが見込まれる地域については、既存施設の活用を基本とした局地的な整備を行うなど、保育の受け入れ枠の確保を図っていく。

### (3) 市民（保護者）調査結果

#### 1 調査概要

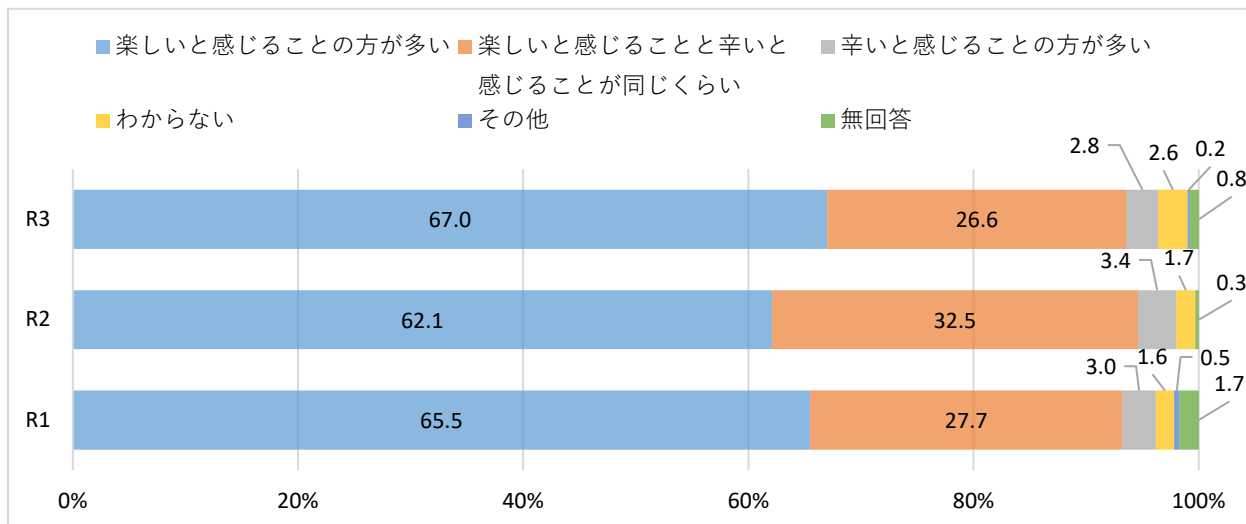
- ・令和4年8月に3歳児健診を受診する児童の保護者に対し、問診票に調査票を同送し、健診の場で回収
- ・回収数 500／配布数 891（回収率 56.1%）

#### 2 回答者の基本情報

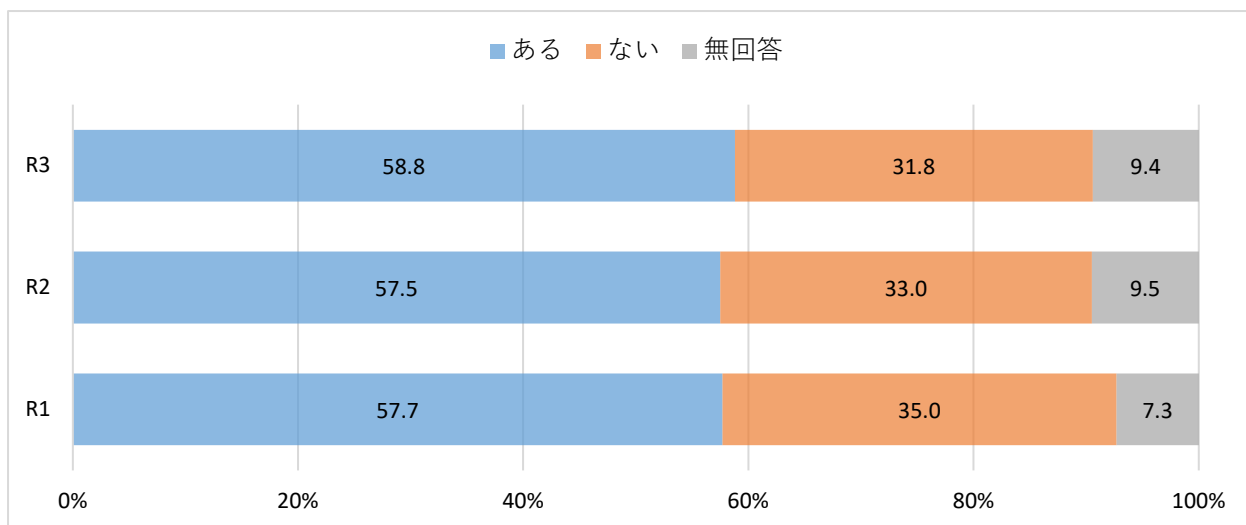
- ・母親の回答が大半であり、回答者全体の年代は30代が6割強、40代が3割弱、20代が1割強となっている。
- ・お子さんの数は、2人が5割弱、1人が3割強、3人以上が2割強となっている。
- ・近居親族がいる方が6割強、近居親族がいない方が3割弱となっている。
- ・3歳児健診を受診した子どものうち、6割が保育所や幼稚園などのいずれかの施設に入所（園）しており、4割弱が在宅育児をされている。

#### 3 調査結果

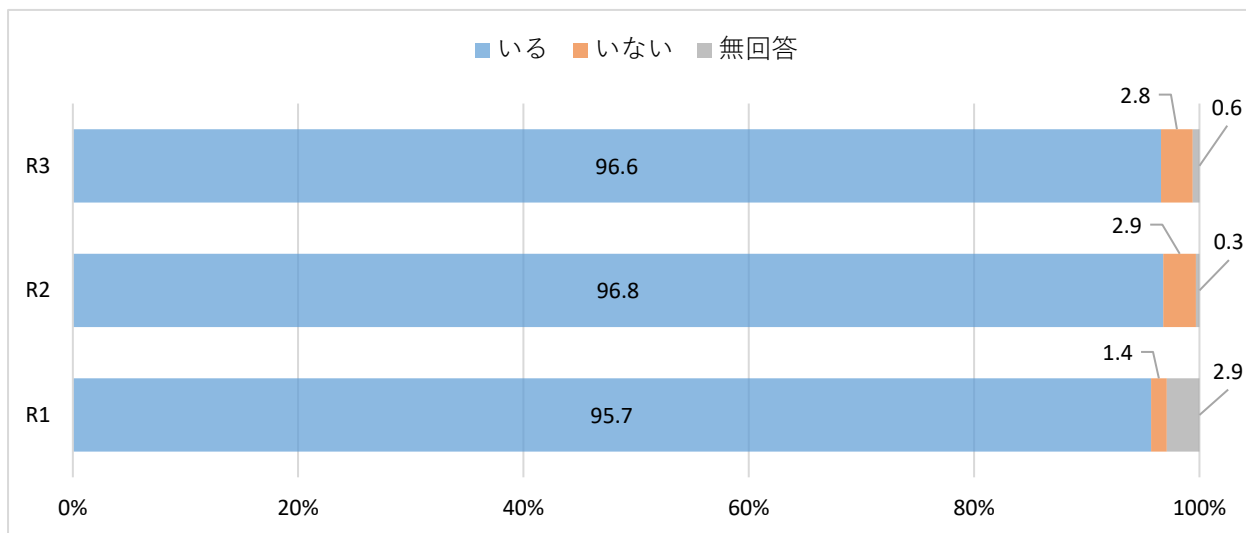
##### (1) 子育てを楽しんでいると感じることが多いかどうか



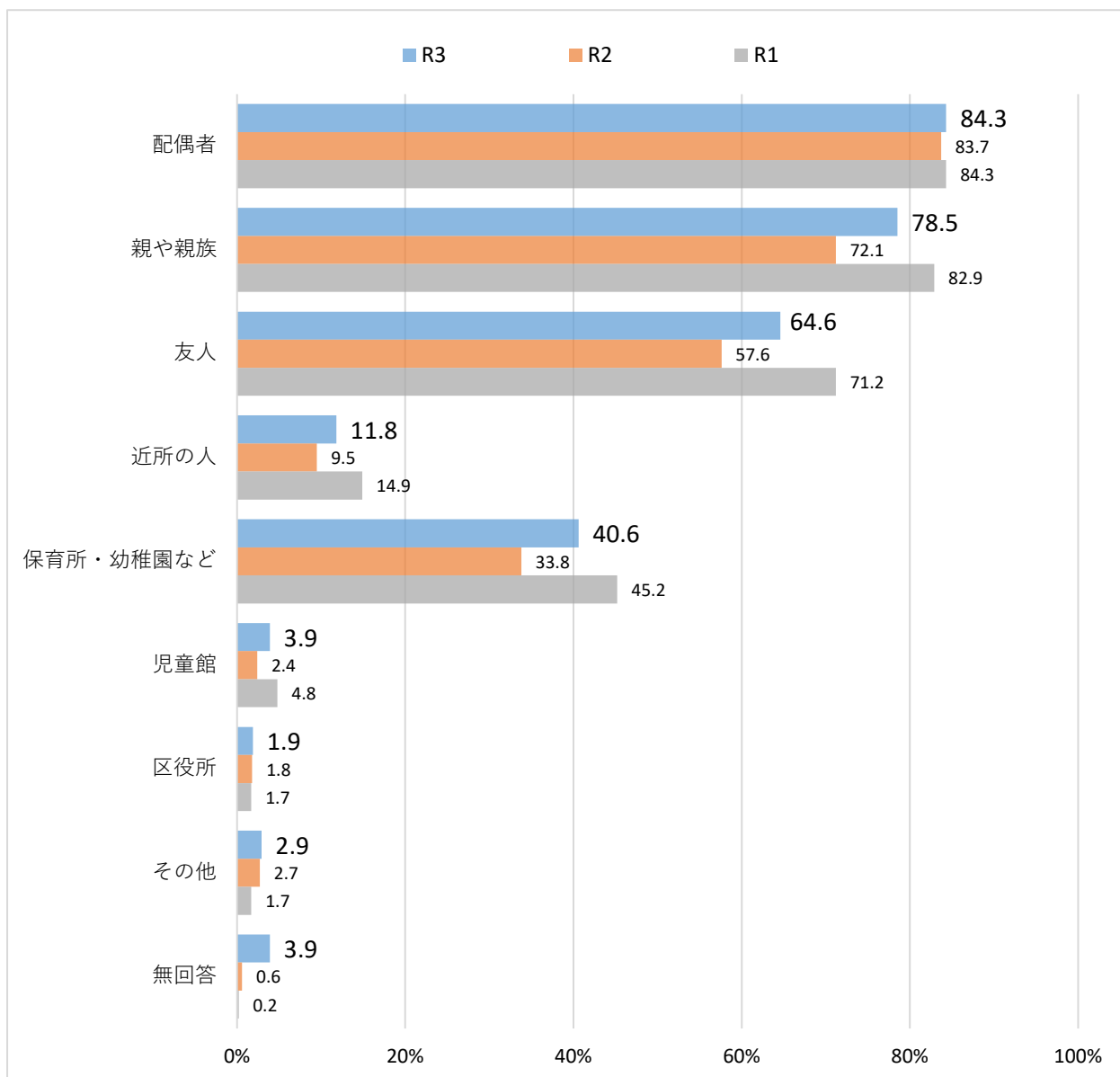
##### (2) 子どもとの外出時に困ること・困ったことがあるか



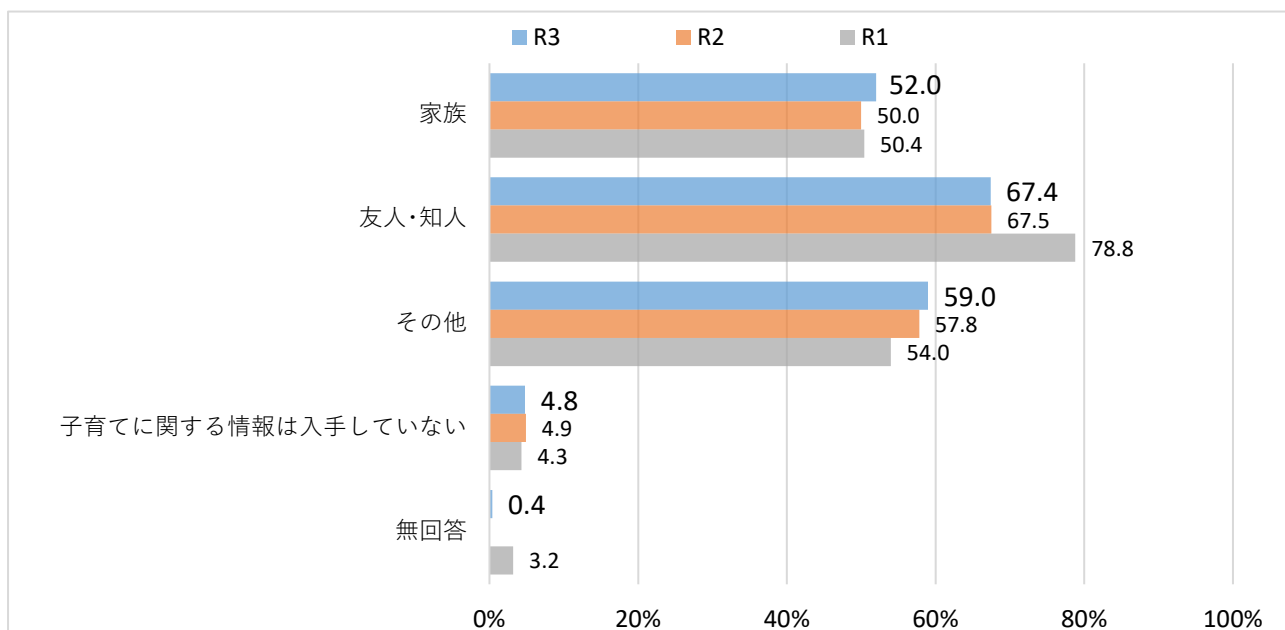
(3) 子育てについて気軽に相談できる人がいるか



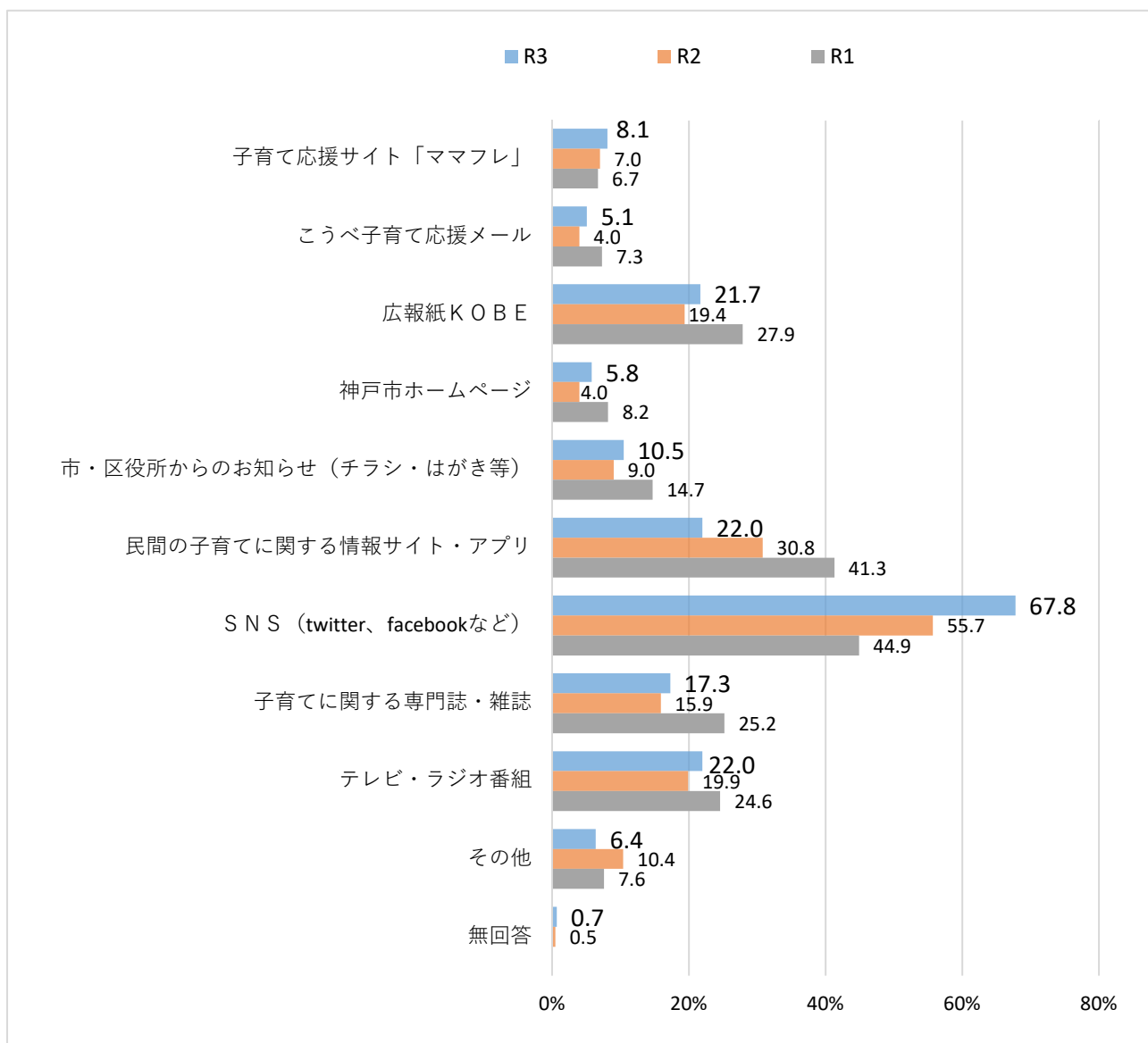
(3-2) 「いる」と答えた方の相談者の割合 (複数回答)



(4) 育児に関する情報についてどこから入手しているか (複数回答)

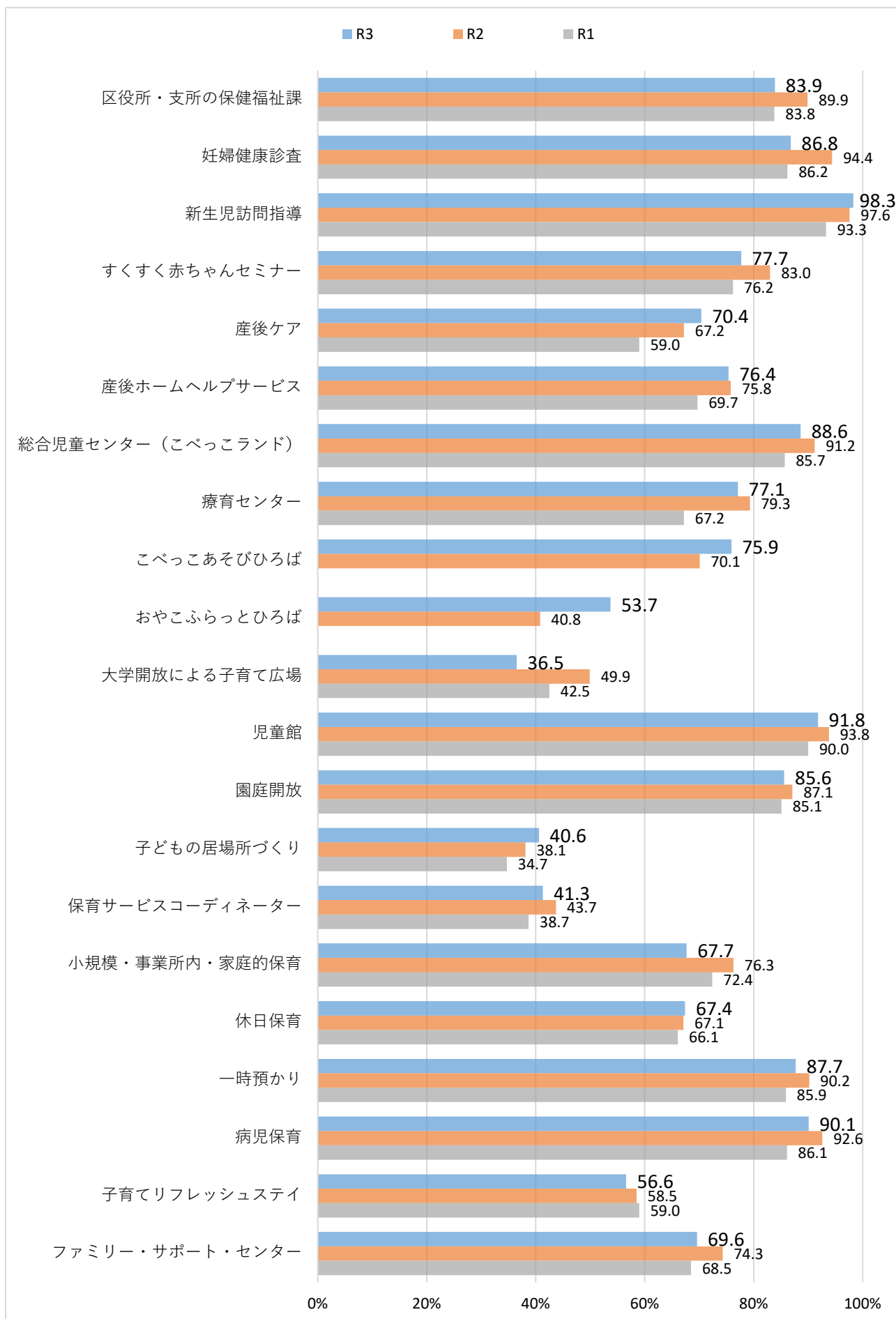


(4-2) 「その他」と回答した人のうち、育児に関する情報の主な入手先 (複数回答)

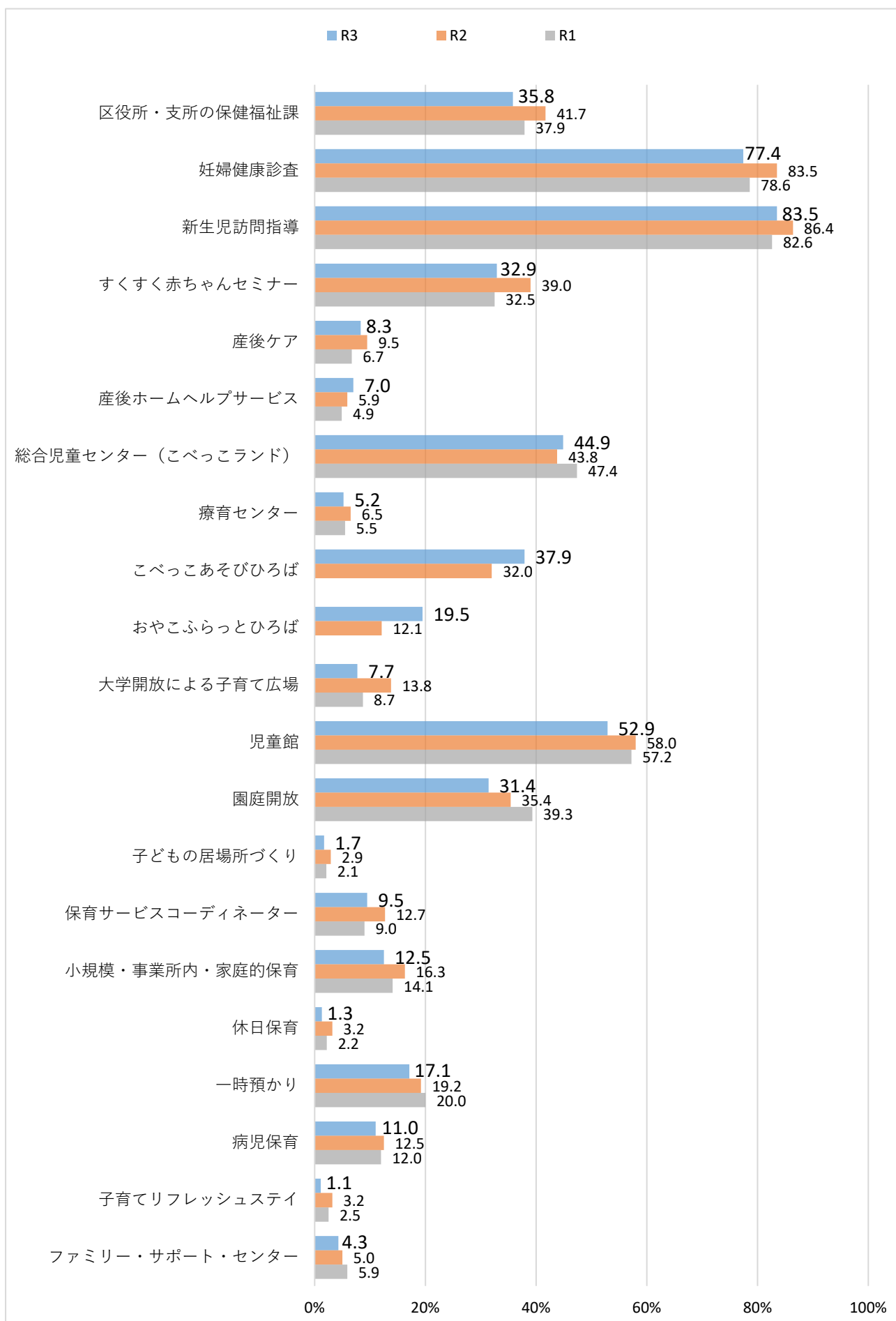




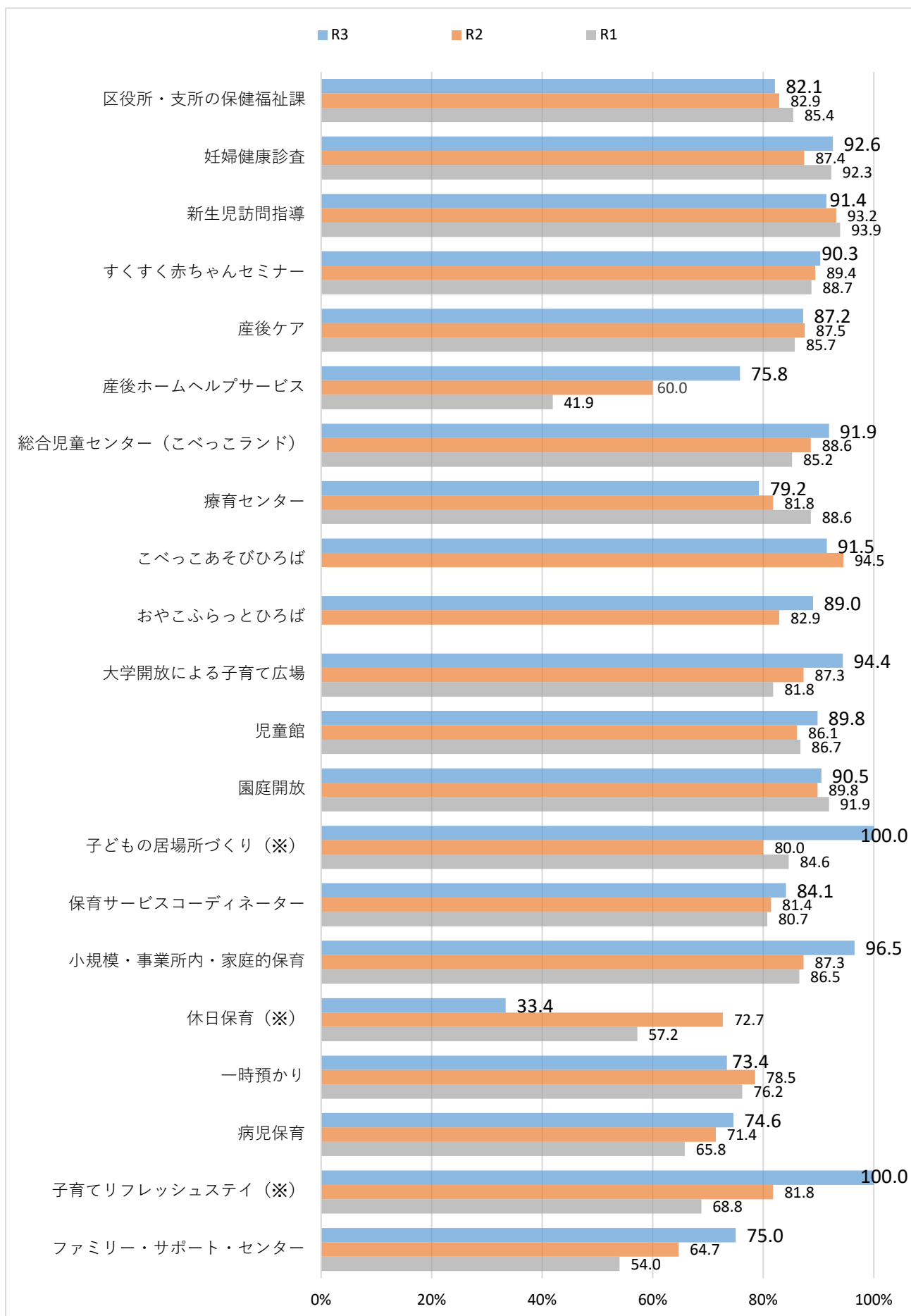
(5) 各事業における認知度



(6) 各事業における利用度

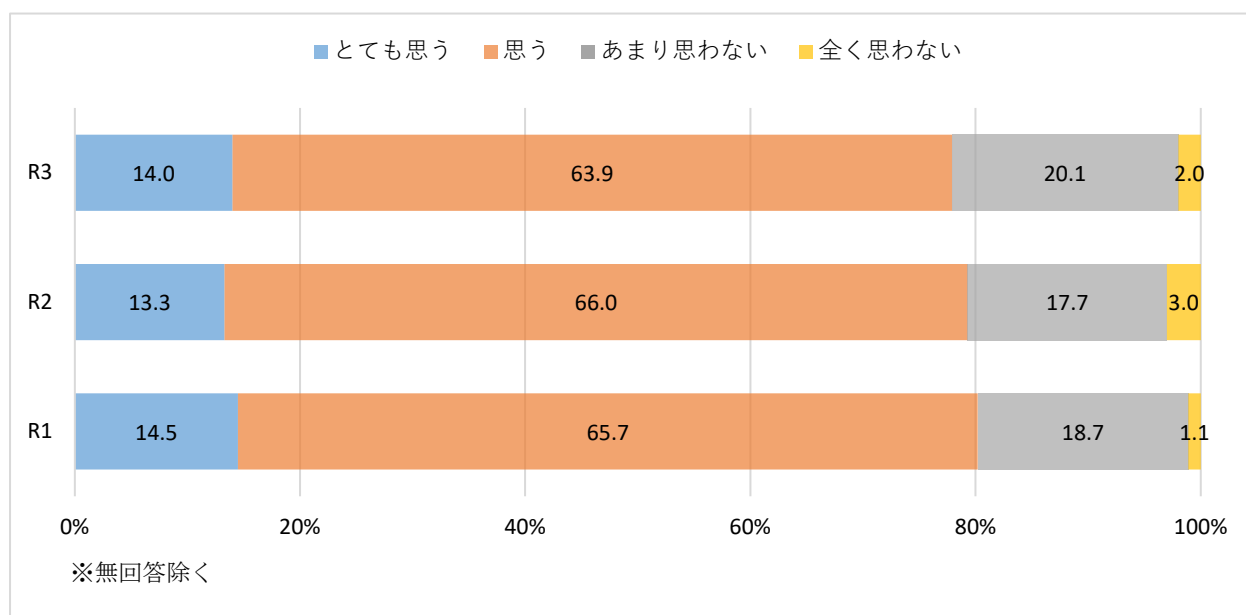


(7) 各事業における満足度



(※) 回答数が「10」を下回るため、調査結果の取り扱いに留意が必要

(8) 神戸で子育てして良かったと思いますか。



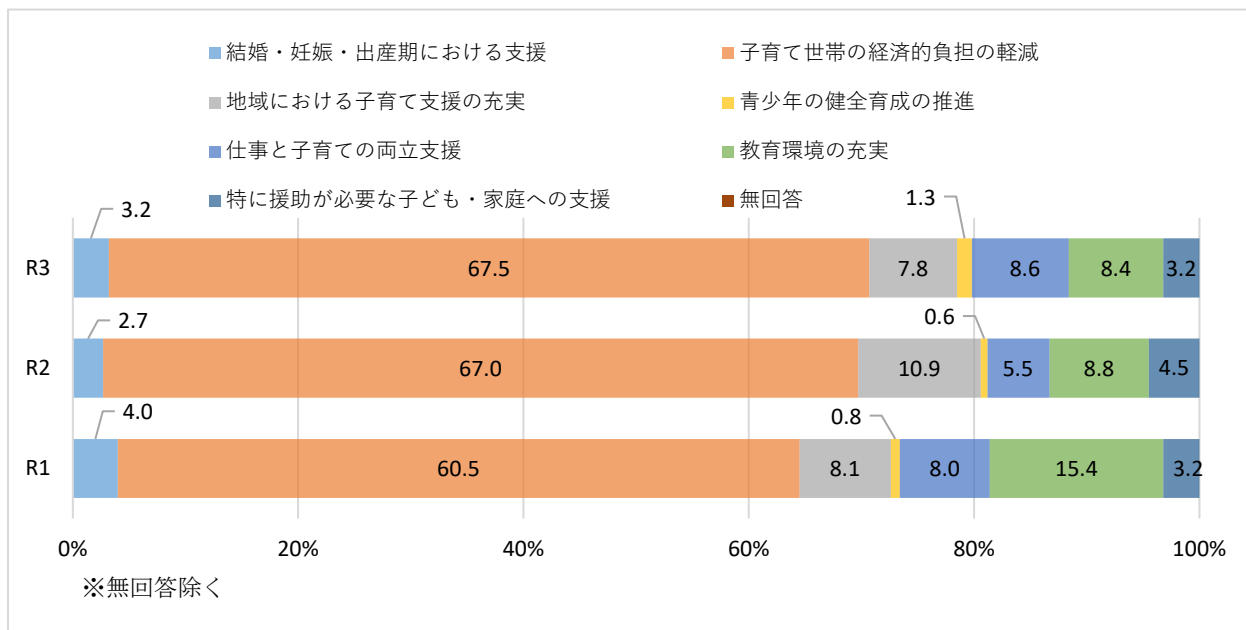
(8-2)「とても思う」「思う」とお答えの方は、具体的にどのようなところがよかったですか  
(3つまで回答)

順位	R3	R2	R1
1	動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設 54.5%	海や山などの自然の豊かさ 50.0%	海や山などの自然の豊かさ 49.3%
2	海や山などの自然の豊かさ 48.0%	動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設 47.6%	動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設 49.1%
3	交通の利便性の充実(通勤・通学に便利) 28.1%	交通の利便性の充実(通勤・通学に便利) 22.0%	交通の利便性の充実(通勤・通学に便利) 22.3%
4	HAT神戸をはじめする小児救急体制 16.9%	HAT神戸をはじめする小児救急体制 15.7%	HAT神戸をはじめする小児救急体制 20.4%
5	子ども連れで外出しやすいまち(駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等) 14.2%	子どもに関する医療費 保育園・認定こども園・学童保育所などの整備 14.3%	児童館など親子で気軽に集える場 17.9%

(8-3)「あまり思わない」「全く思わない」とお答えの方は、具体的にどのようなところがよくないと思いますか(3つまで回答)

順位	R3	R2	R1
1	子どもに関する医療費 46.5%	子どもに関する医療費 36.4%	子どもに関する医療費 37.9%
2	子ども連れで外出しやすいまち(駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等) 16.1%	子ども連れで外出しやすいまち(駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等) 15.5%	保育園・認定こども園・学童保育所などの整備 13.8%
3	多子世帯・ひとり親世帯の保育料 11.6%	多子世帯・ひとり親世帯の保育料 10.9%	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援 11.8%
4	保育園・認定こども園・学童保育所などの整備 10.3%	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援 9.1%	子ども連れで外出しやすいまち(駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等) 11.3%
5	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援 9.0%	交通の利便性の充実(通勤・通学に便利) 8.2%	多子世帯・ひとり親世帯の保育料 8.4%

(9) 子育て支援策について、今後神戸市に期待すること



#### (4) 施設利用者調査結果

	ページ
①保育所	14
②認定こども園	16
③幼稚園	18
④児童館	21
⑤大学と連携した子育てひろば (※)	24
⑥学童保育	27
⑦一時預かり (一時保育含む)	32
⑧子育てリフレッシュステイ (※)	35
⑨病児保育 (※)	38
⑩ファミリー・サポート・センター (※)	40
⑪小規模保育	42
⑫事業所内保育 (※)	44
⑬家庭的保育 (※)	46
⑭おやこふらっとひろば (※)	48

(※)回収数が少ないため、調査結果の取り扱いに留意が必要

## ①保育所

### 1 調査概要

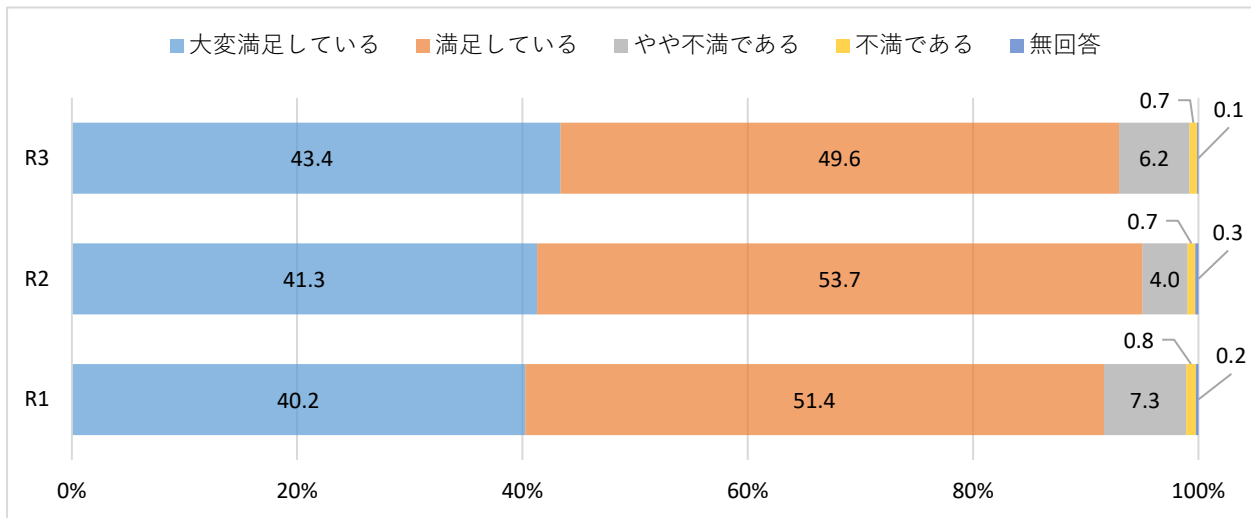
- 令和4年7月、公立保育所57箇所及び私立保育園71箇所計128箇所を通じて、保育所ごとに各年齢2名ずつ無作為抽出した子どもの保護者を対象に実施
- 施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- 回収数881／配布数1,462（回収率60.3%）

### 2 回答者の基本情報

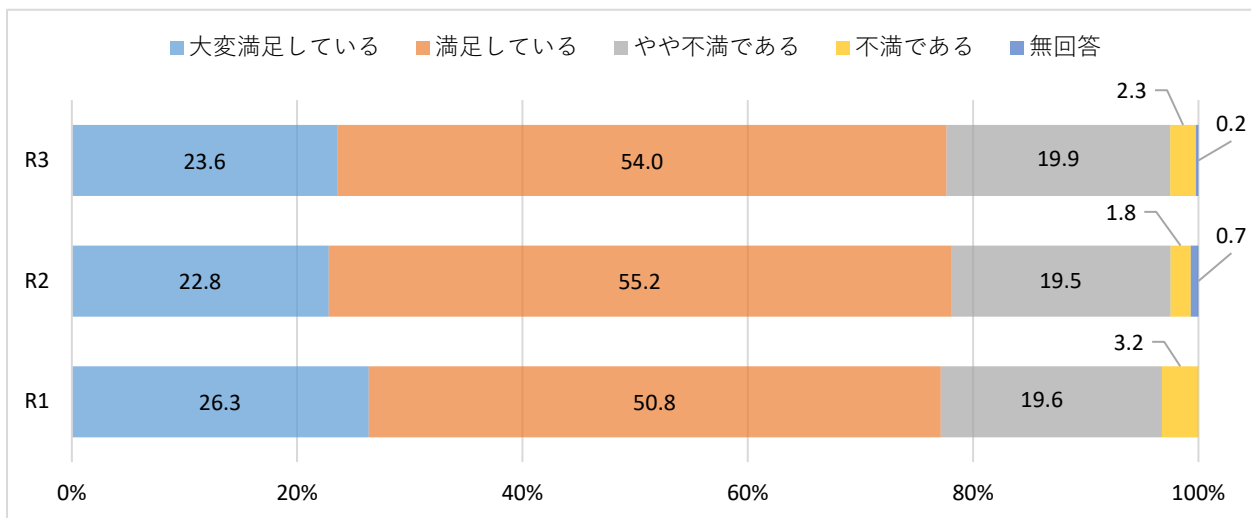
- 就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が6割強、「パート」が3割強となっている。

### 3 調査結果

#### (1) 保育内容全般

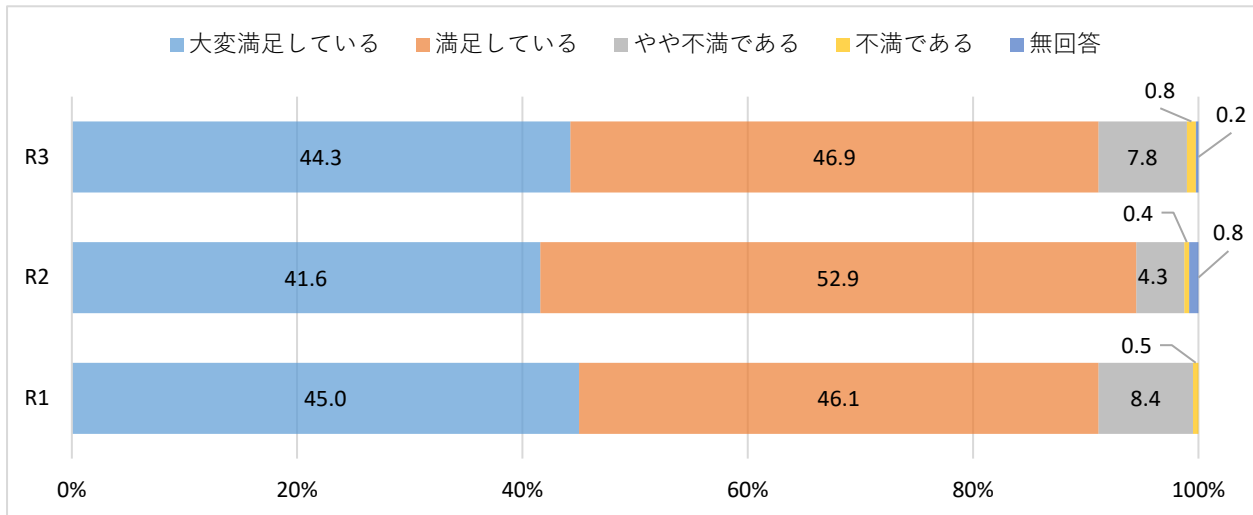


#### (2) 建物や園庭などの施設

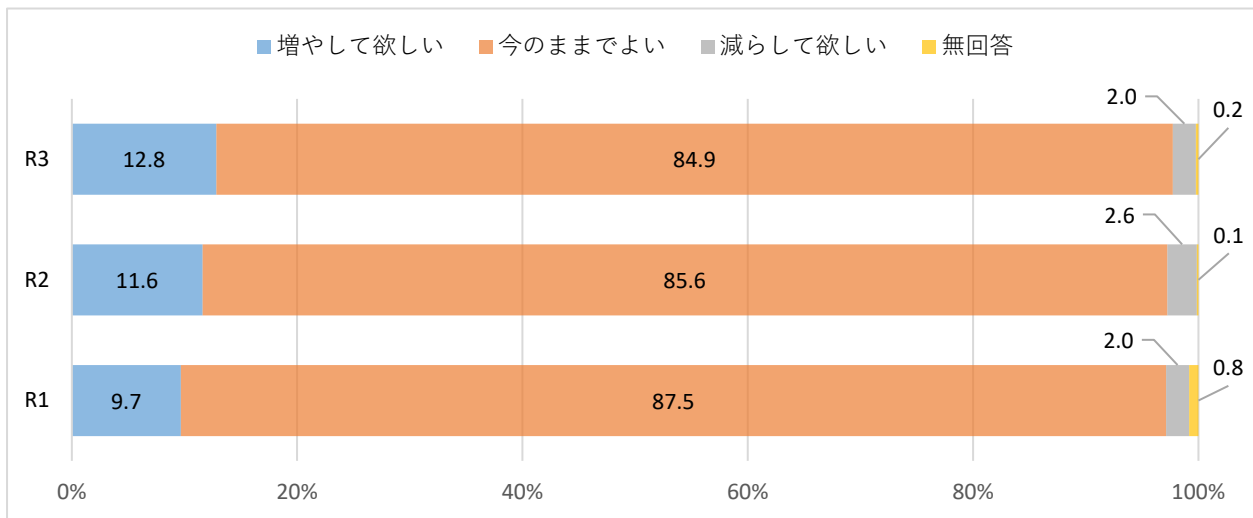




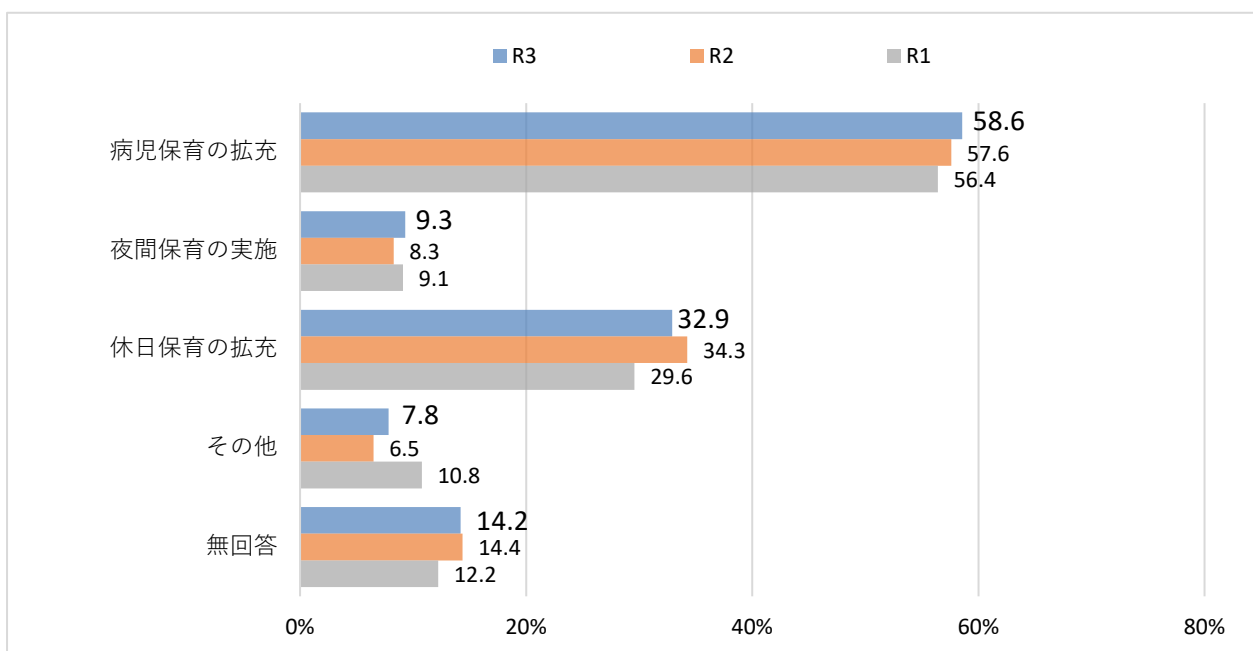
### (3) 職員の対応



### (4) 地域の親子との交流（園庭開放など）



### (5) 特に充実してほしい支援策（複数回答）



## ②認定こども園

### 1 調査方法

- ・令和4年7月、幼保連携型認定こども園159箇所及び幼稚園型認定こども園19箇所計178箇所に通う子どもの中から、認定こども園ごとに各年齢2名ずつ無作為抽出し、子どもの保護者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数1,285／配布数2,001（回収率64.2%）

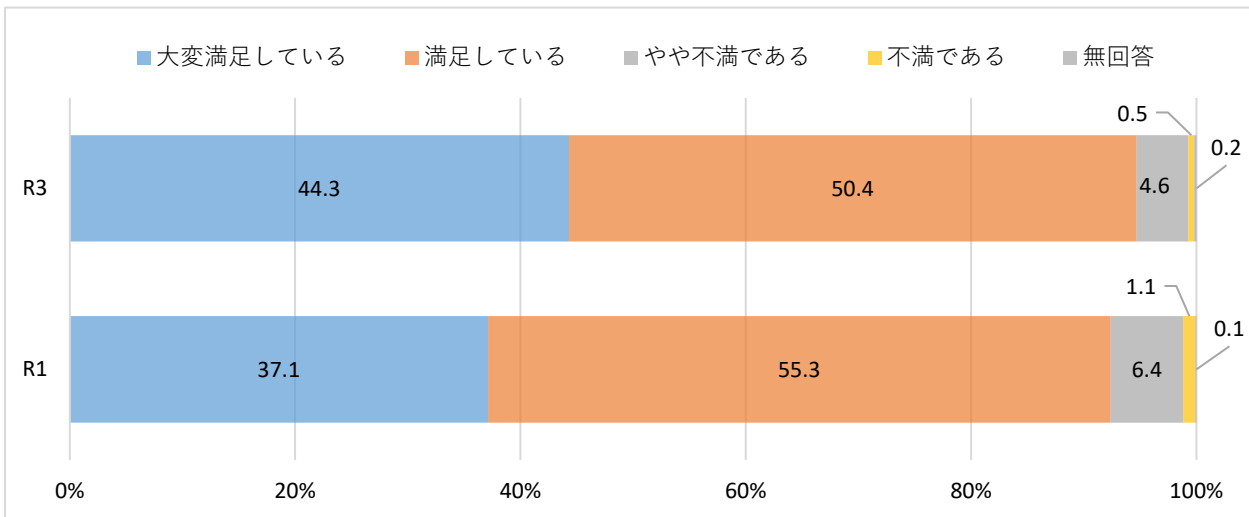
### 2 回答者の基本情報

- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が6割弱、「パート」が3割弱となっている。

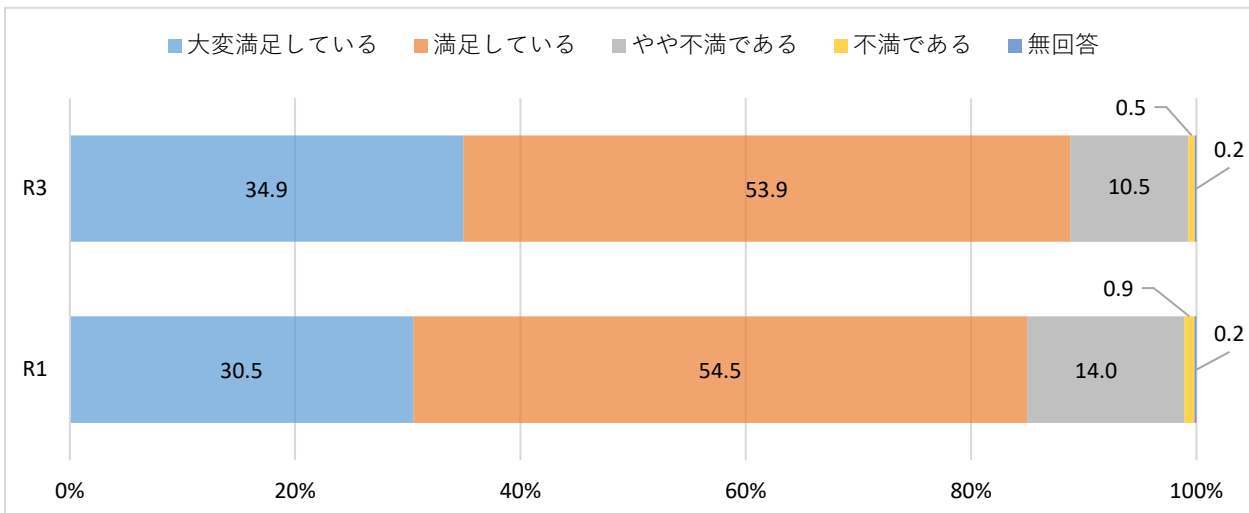
### 3 調査結果

※令和2年度は調査票配布の準備作業に錯誤があり、得られた回答について適切な分析ができなかったため、結果は未掲載

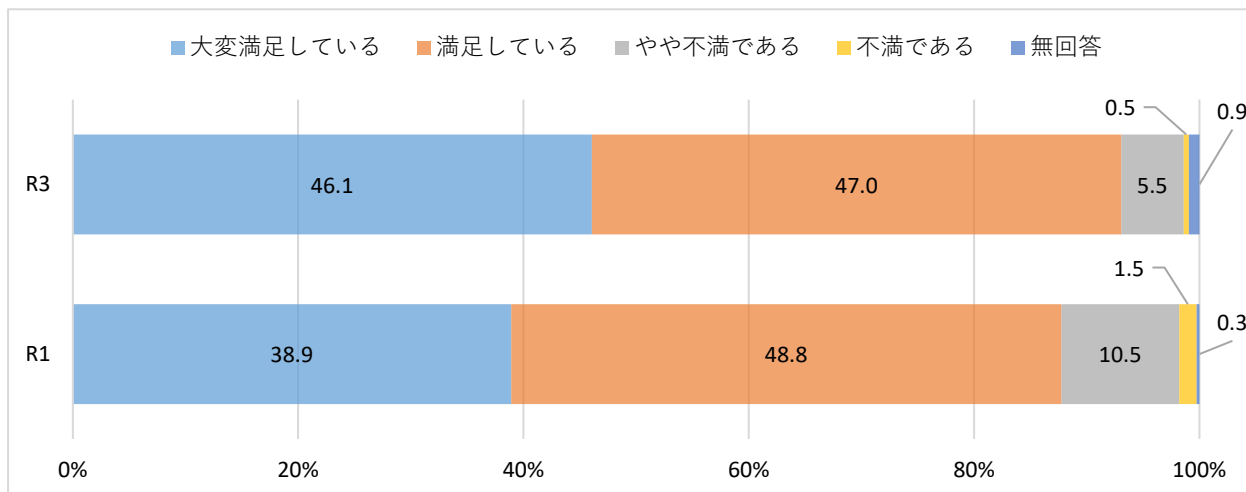
#### (1) 保育内容全般



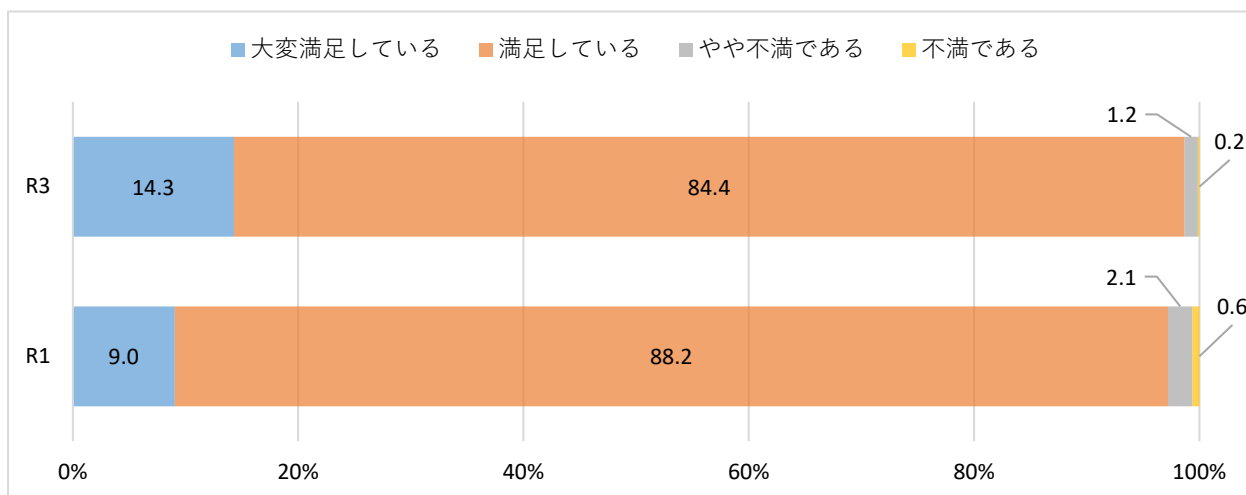
#### (2) 建物や園庭などの施設



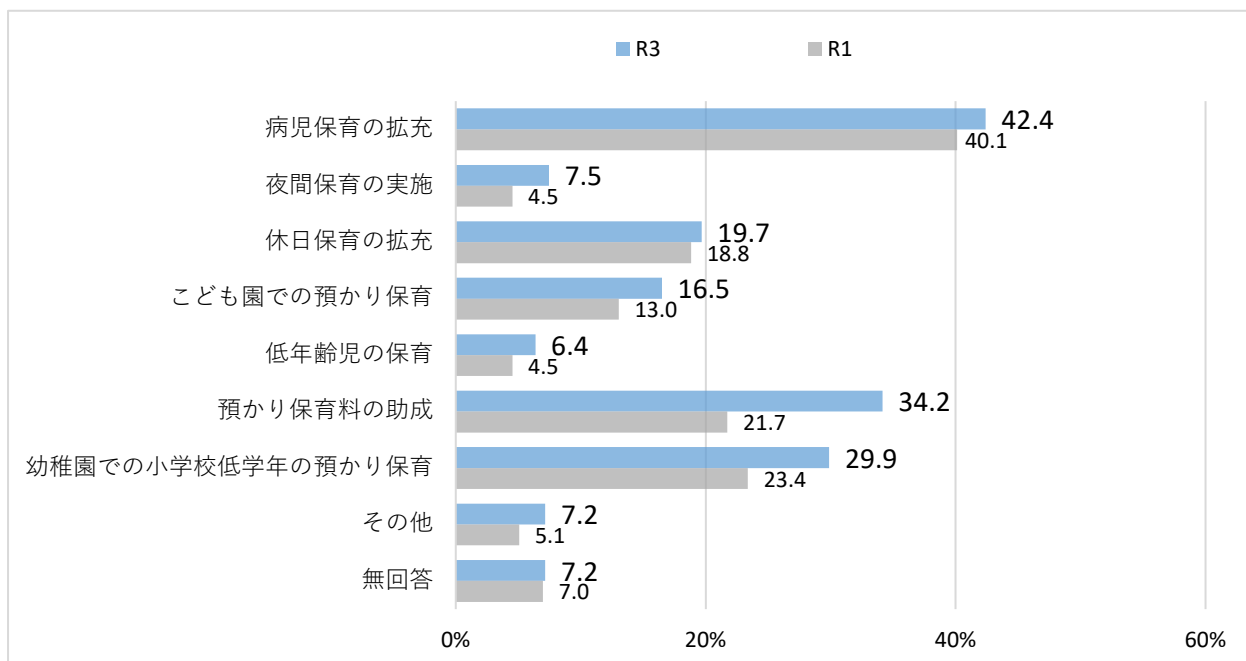
### (3) 職員の対応



### (4) 地域の親子との交流（園庭開放など）



### (5) 今後、充実して欲しい支援策について（複数回答）



### ③幼稚園

#### 1 調査方法

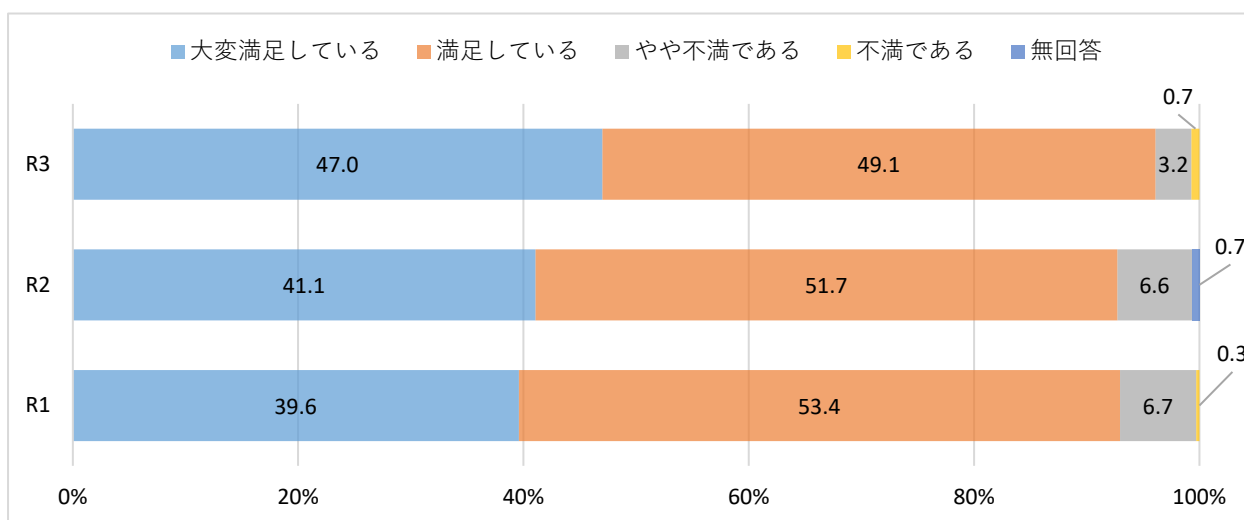
- ・令和4年7月、公立幼稚園31箇所及び私立幼稚園49箇所計80箇所を通じて、幼稚園ごとに、各年齢2名ずつ無作為抽出された子どもの保護者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数283／配布数402（回収率70.4%）

#### 2 回答者の基本情報

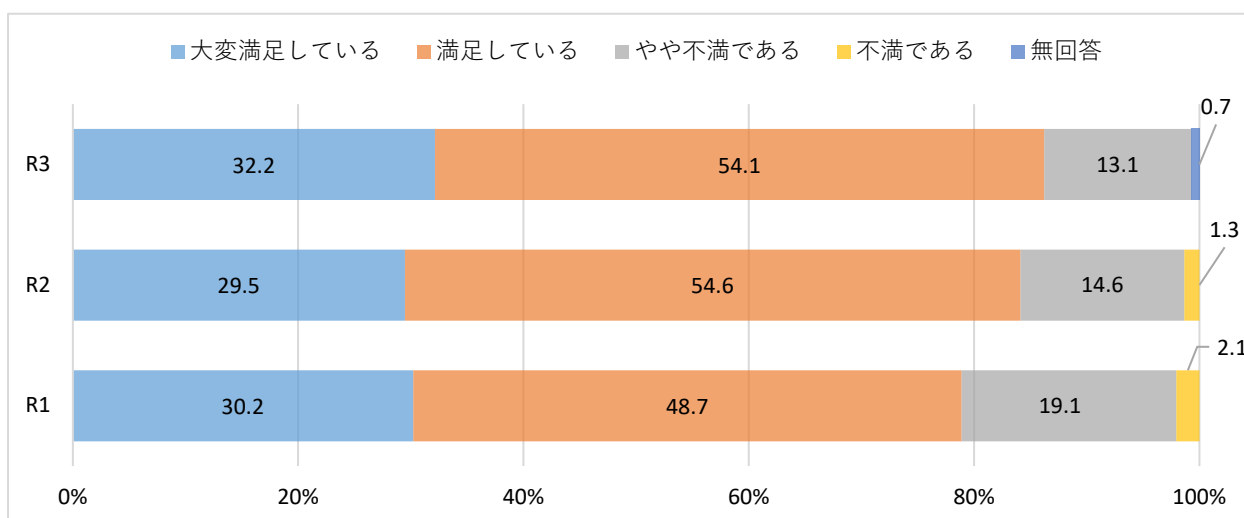
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「働いていない」が6割強、「パート」が3割強となっている。

#### 3 調査結果

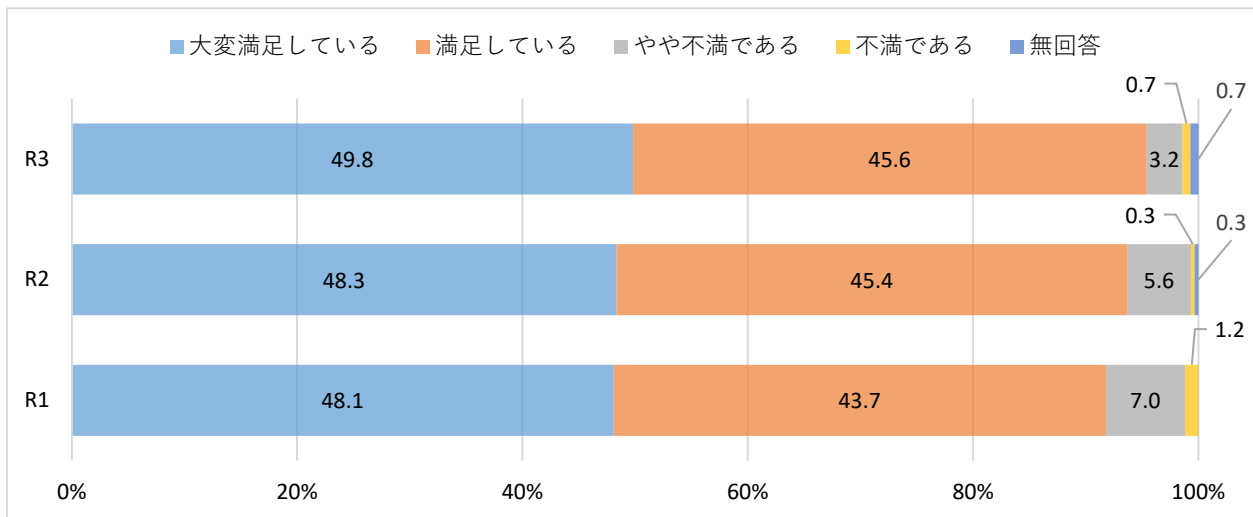
##### (1) 保育内容全般



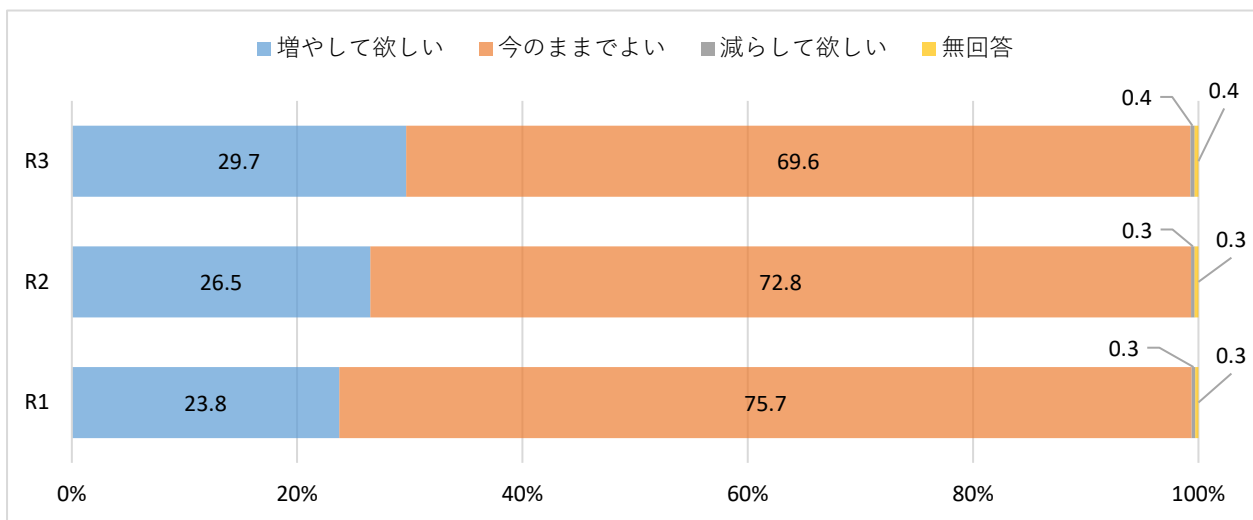
##### (2) 建物や園庭などの施設



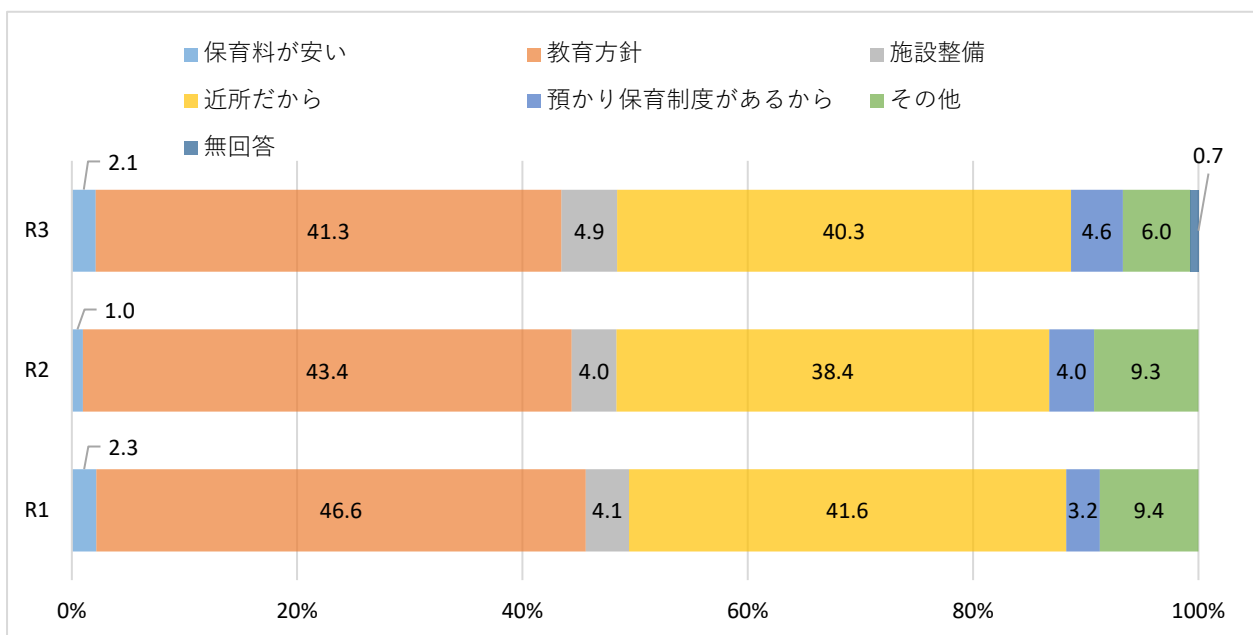
### (3) 職員の対応



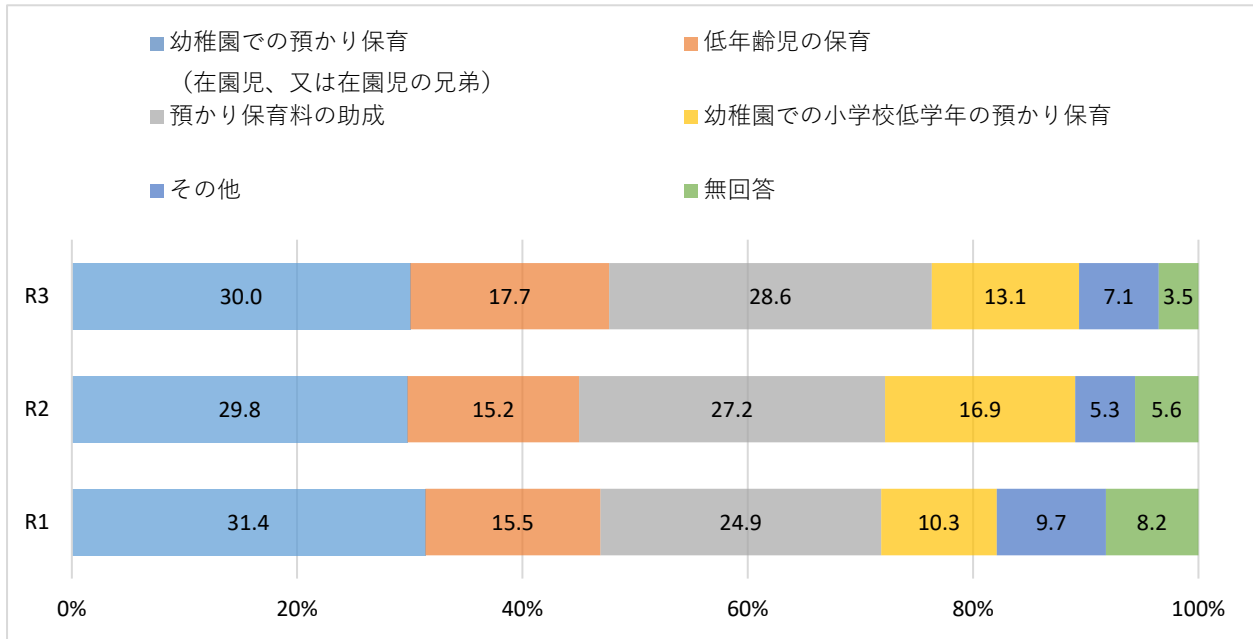
### (4) 未就園児保育や園庭開放



### (5) 現在通う園を選択した理由



(6) どのような子育て支援が必要か



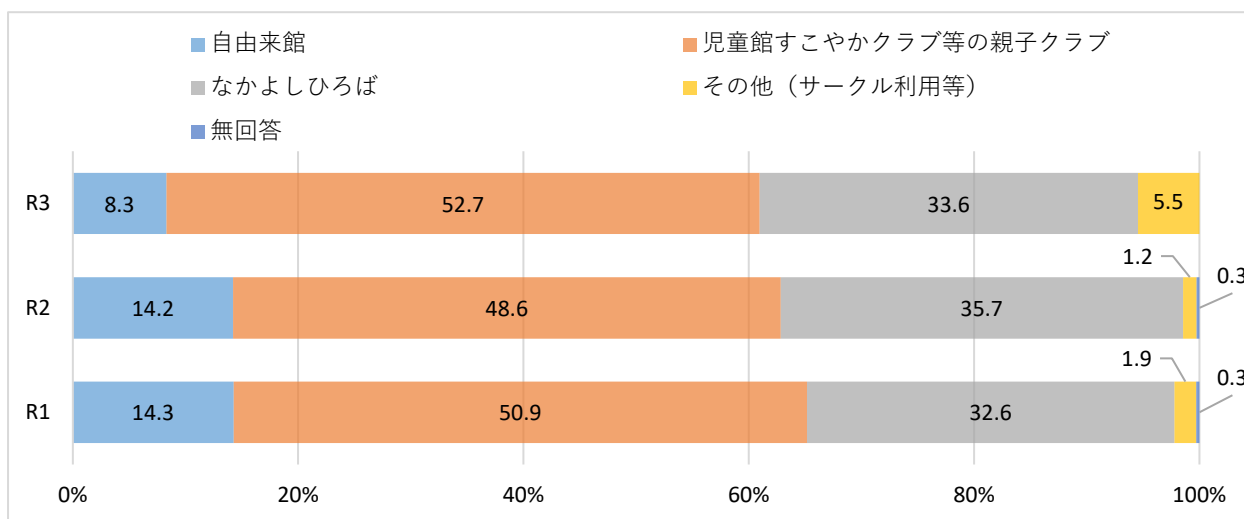
#### ④児童館(午前中)

	【公立児童館 118 ヲ所】	【民設児童館 4 ヲ所】
1 調査方法	児童館を通じて、利用者に二次元コードを記載した調査票を配布し、WEB サイトもしくは郵送で回収	児童館を通じて、期間中に利用のあった10 組の親子を対象に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集
2 調査期間	令和4年3月	令和4年7月
3 回収率	回収数 829 / 配布数- (回収率-)	回収数 14 / 配布数 25 (回収率 56.0%)

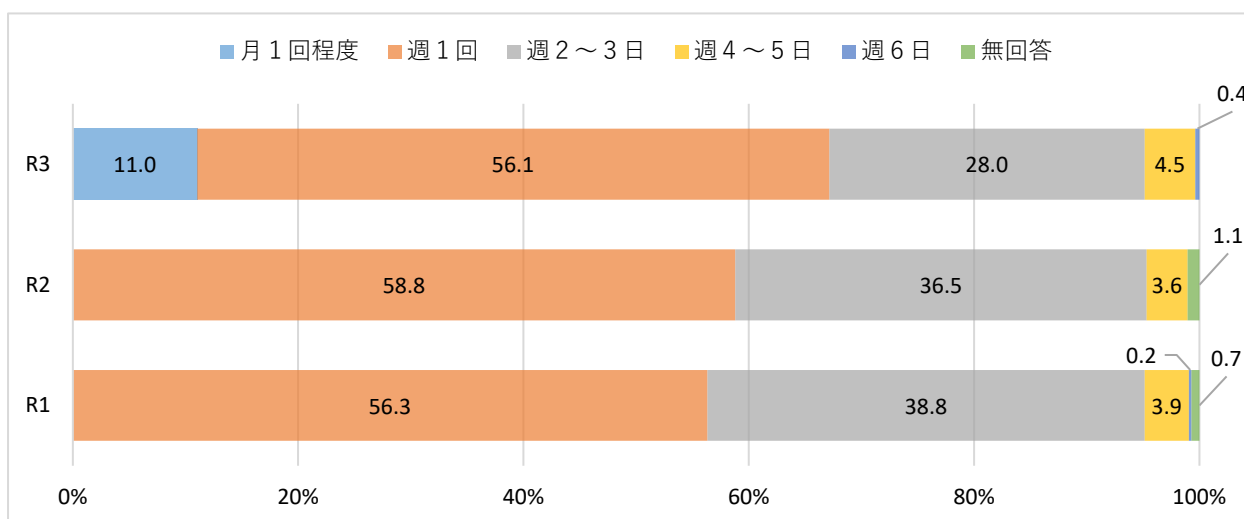
※公立児童館については、「児童館の指定管理者による管理運営状況の評価に関するアンケート」を活用

#### 4 調査結果

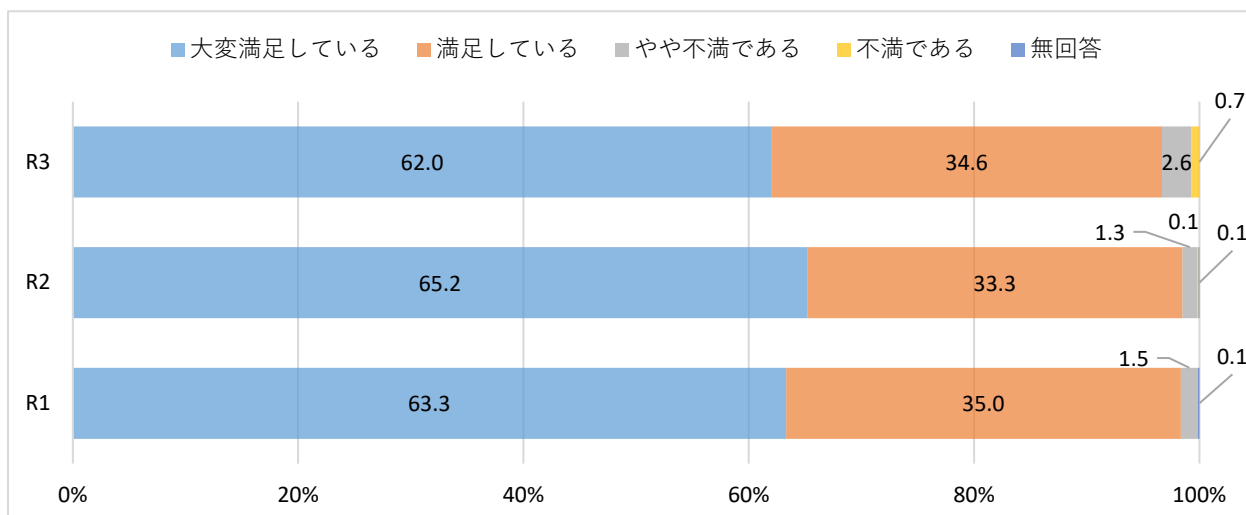
##### (1) 何を利用したか



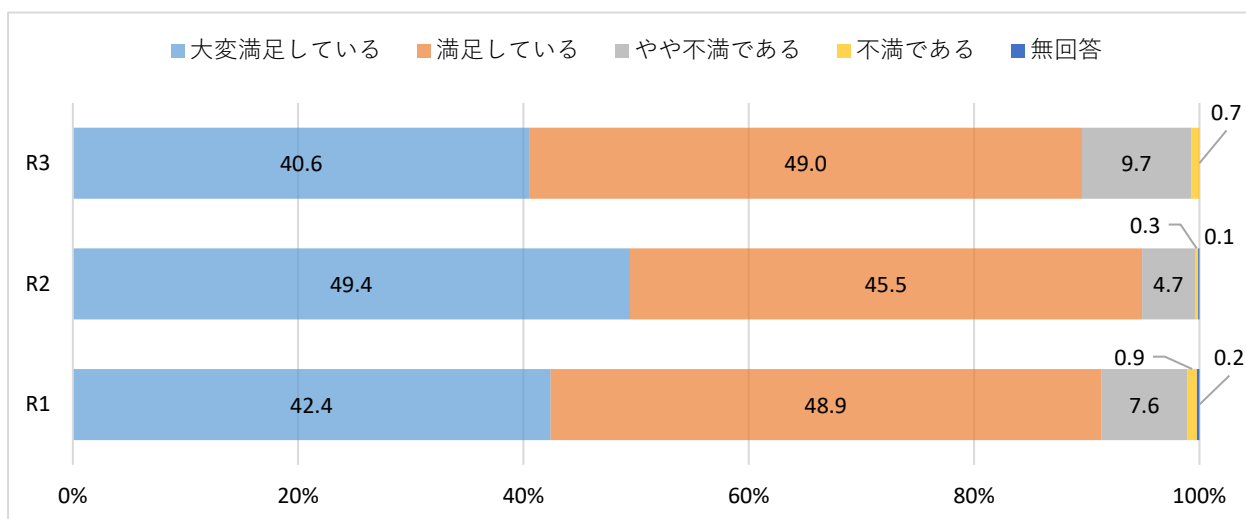
##### (2) 利用の頻度



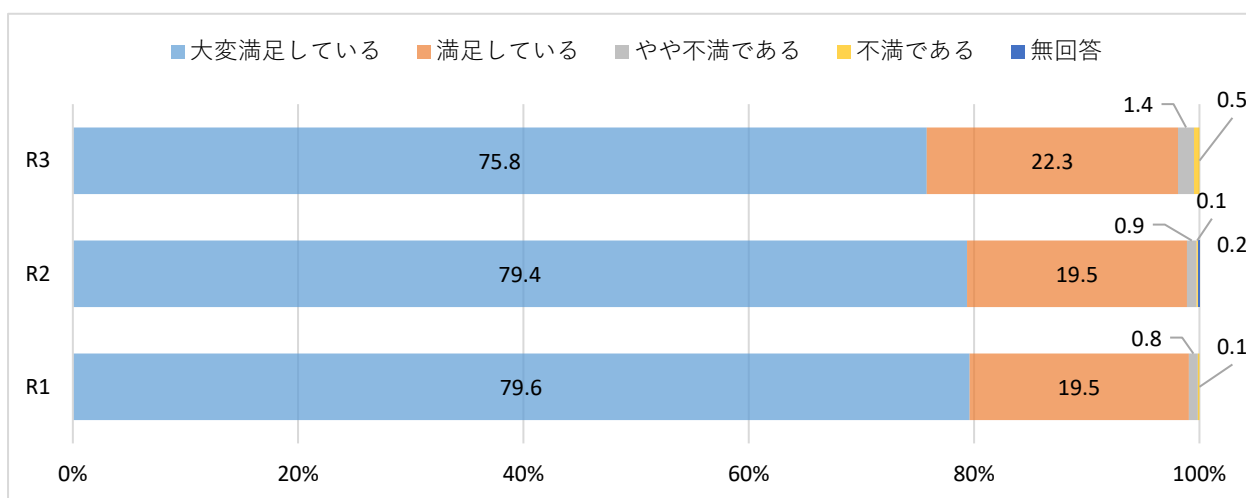
### (3) サービス内容



### (4) 施設

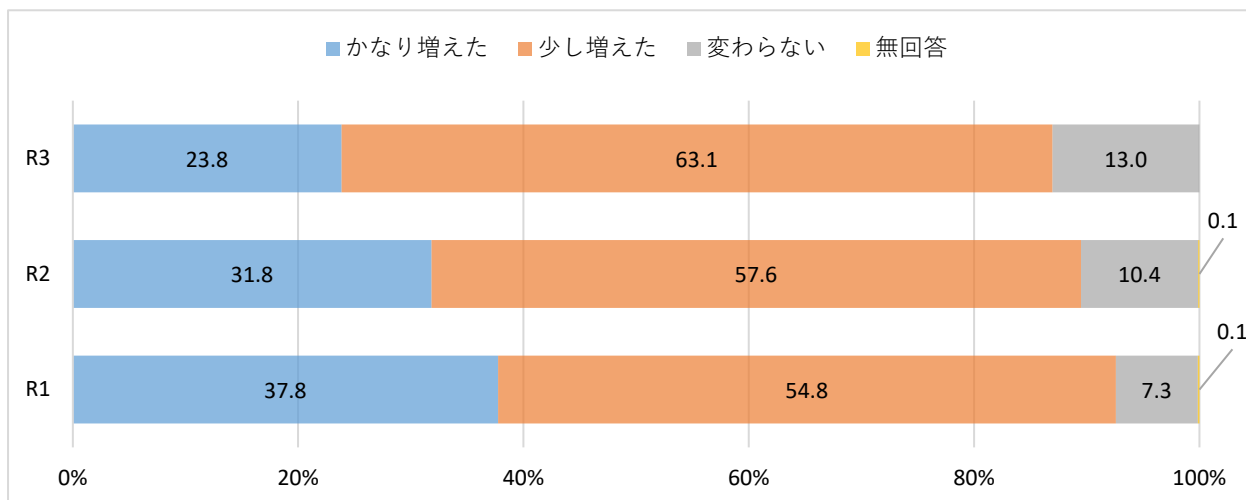


### (5) 職員の対応

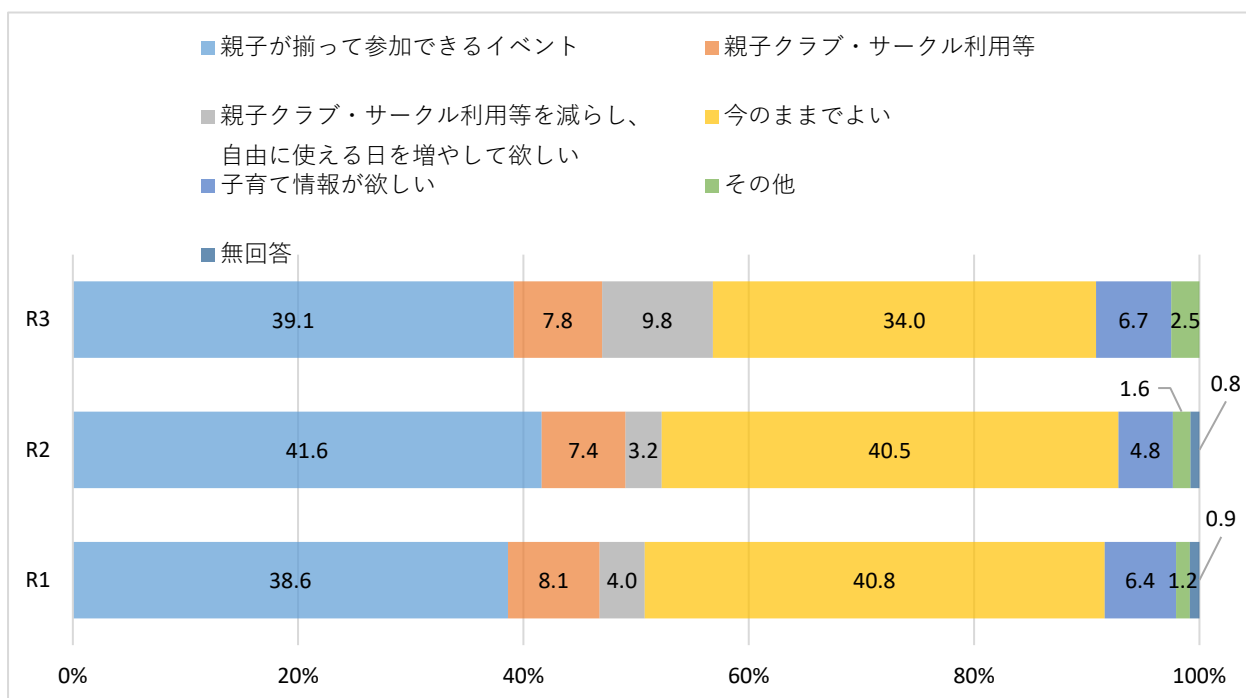




(6) 利用により新しい知人が増えたか



(7) 児童館で増やしてほしいサービス



## ⑤大学連携（大学と連携した子育て支援事業）

### 1 調査概要

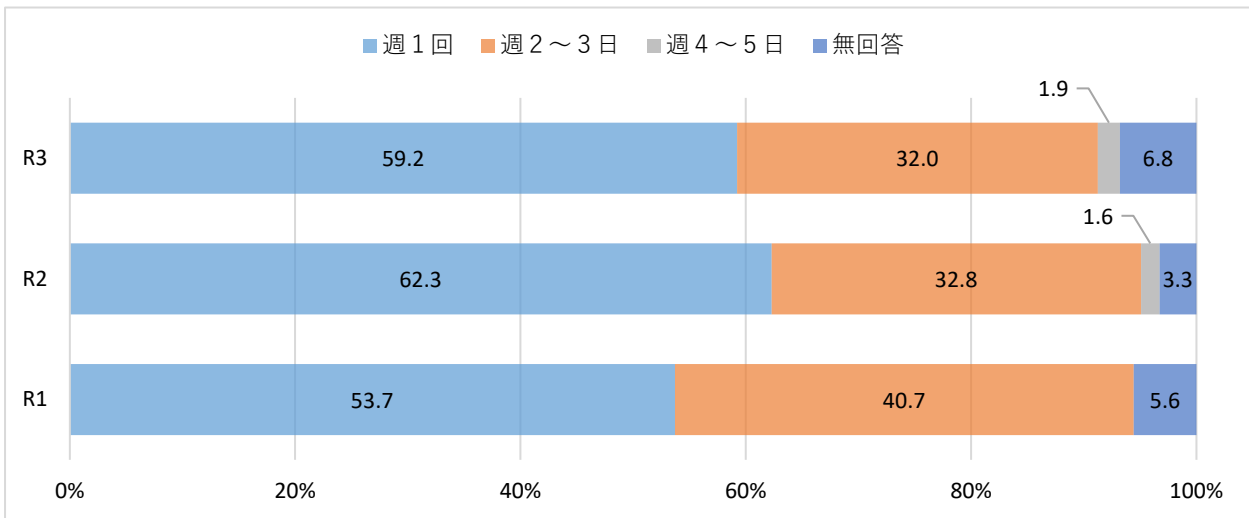
- ・令和4年7月、大学と連携した子育て支援事業を実施している施設（8大学10か所）の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数103／配布数158（回収率65.2%）

### 2 回答者の基本情報

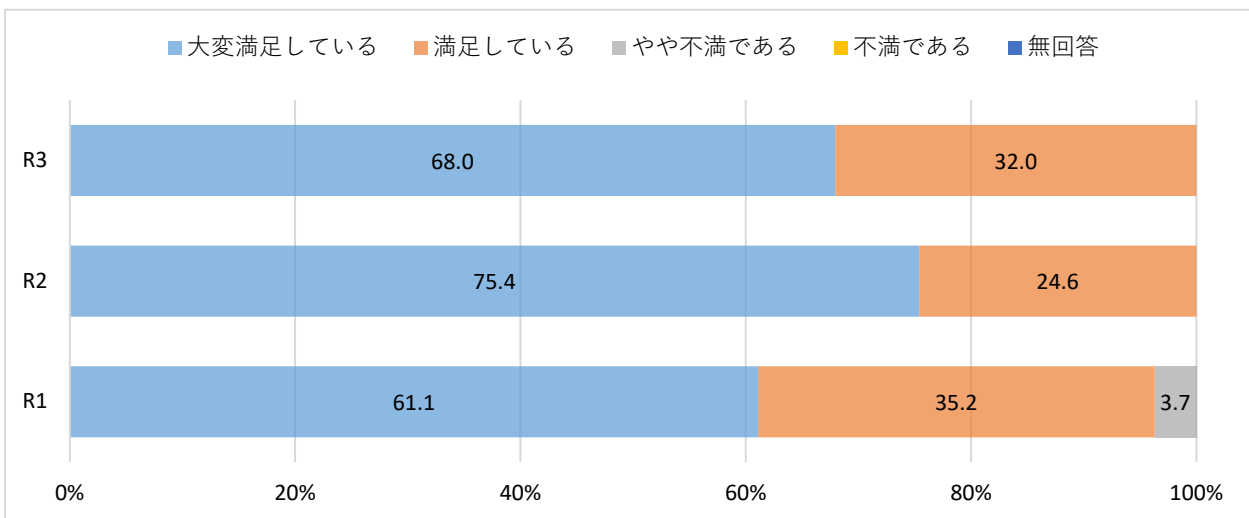
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「働いていない」が7割弱、「フルタイム」が3割弱となっている。

### 3 調査結果

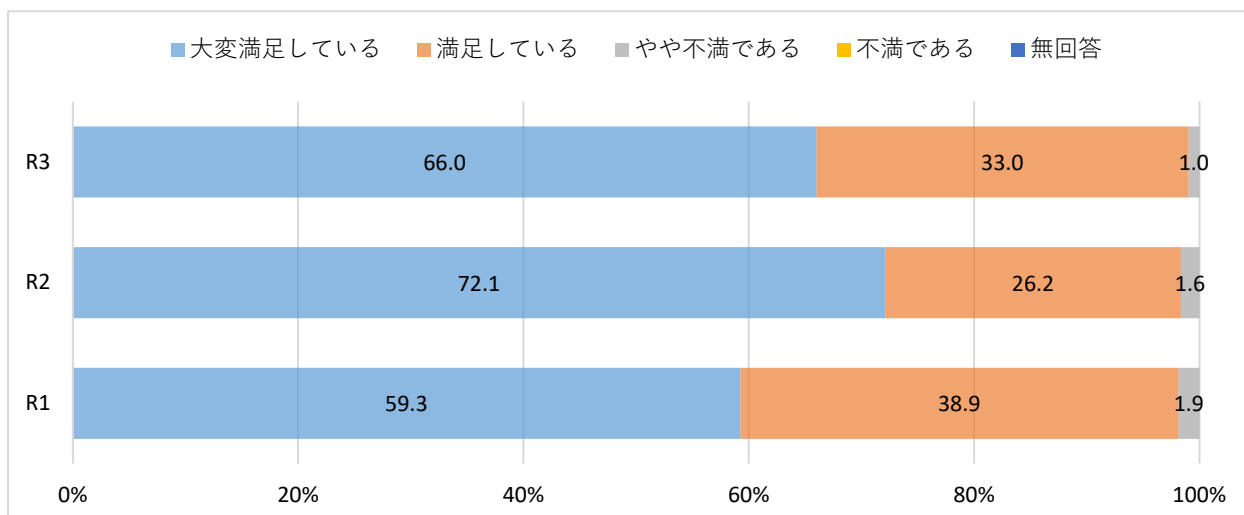
#### （1）利用の頻度



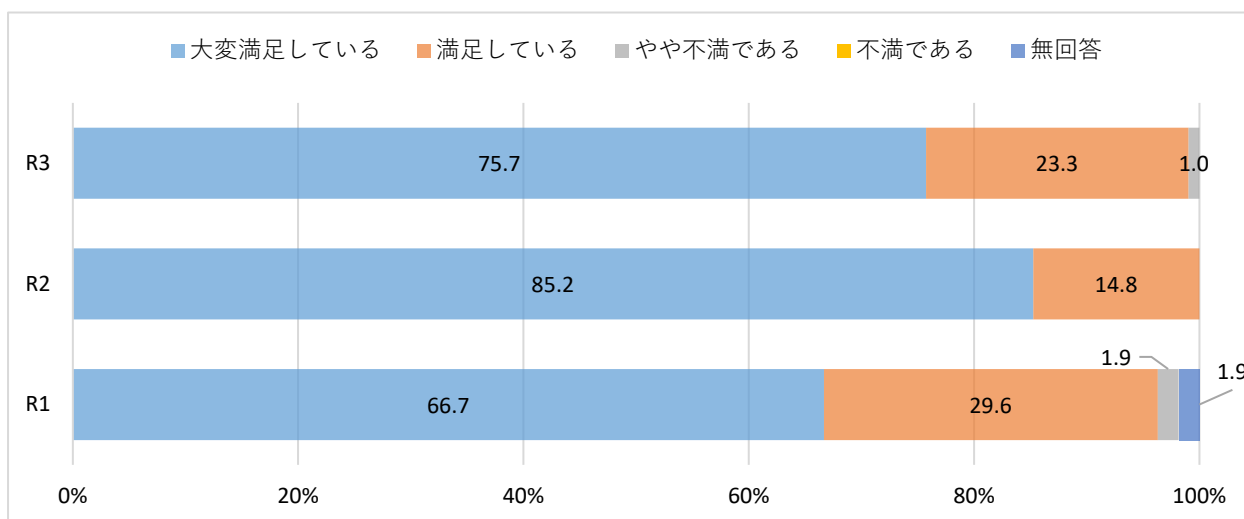
#### （2）サービス内容



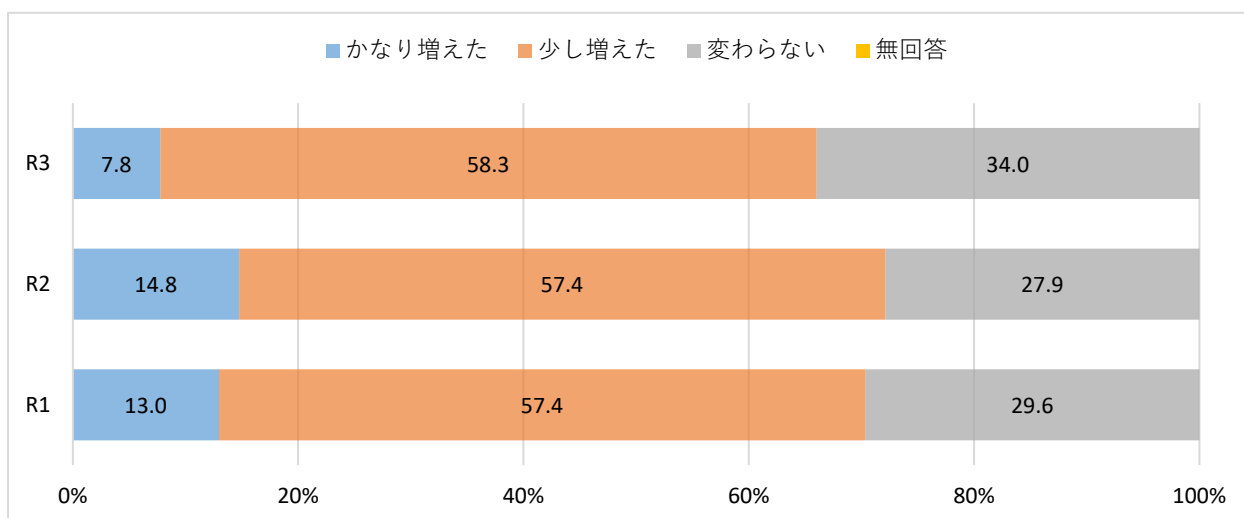
### (3) 施設



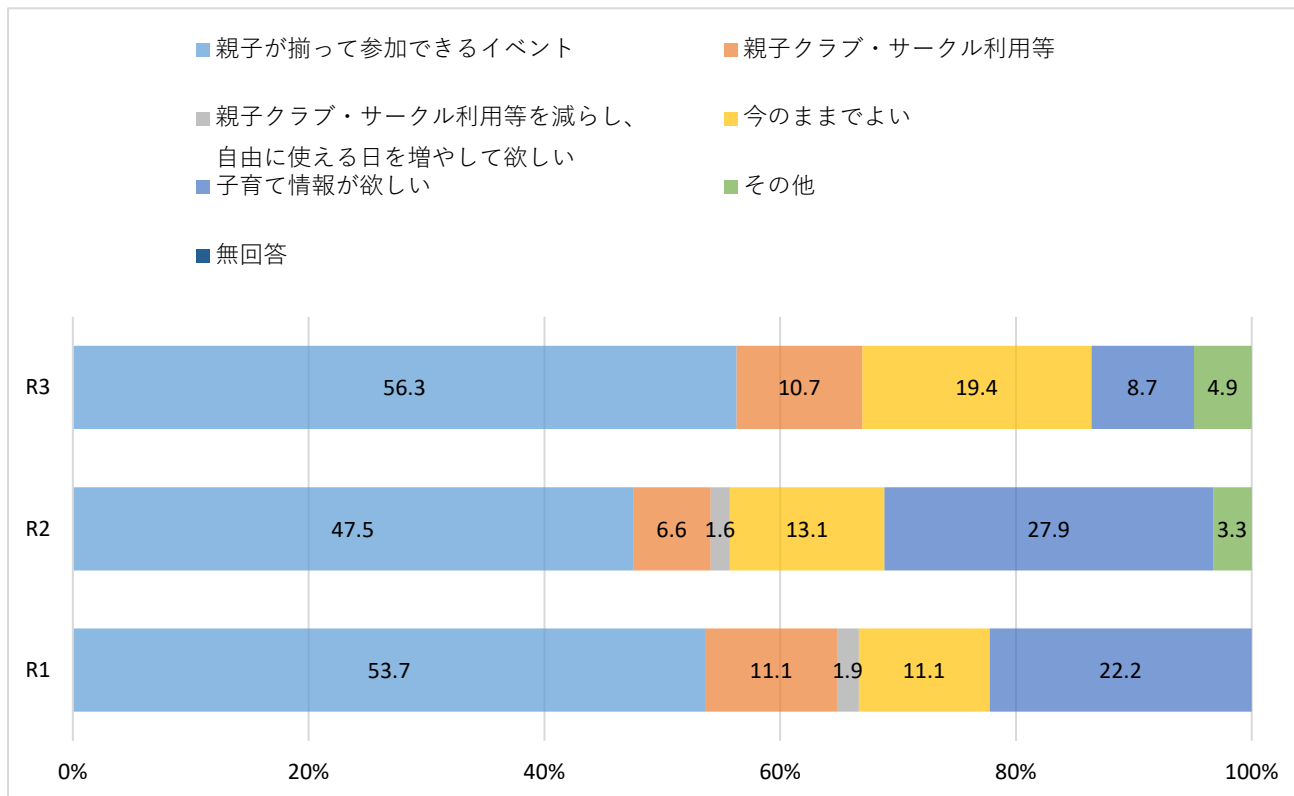
### (4) 支援員の対応



### (5) 利用により新しい知人が増えたか



(6) 増やしてほしいサービス（複数回答）



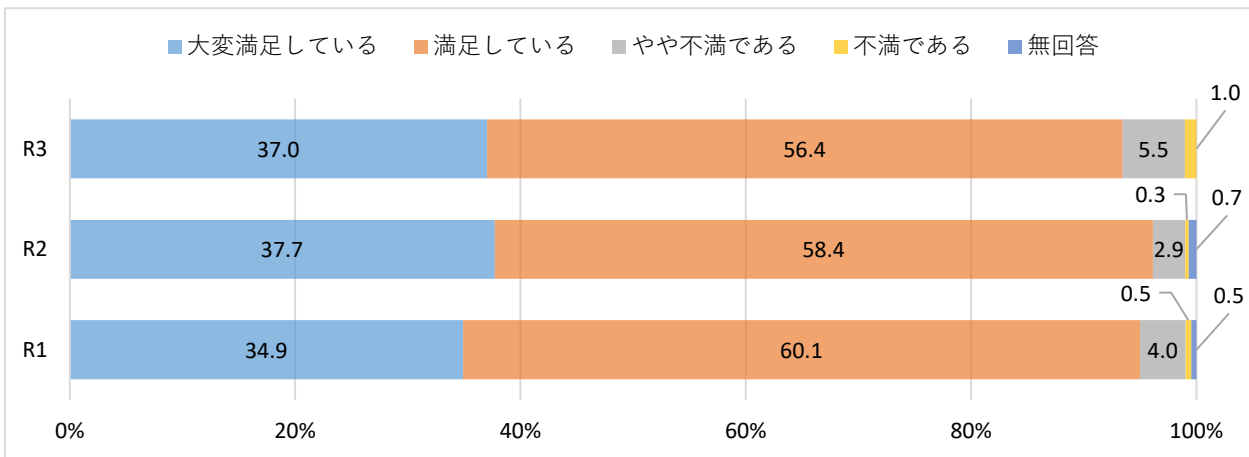
## ⑥学童保育

	【公設学童保育所 206 箇所】	【民設学童保育所 38 箇所】
<b>1 調査方法</b>	学童保育所を通じて、二次元コードを記載した子ども用と保護者用の調査票を配布し、WEB サイトもしくは郵送で回収。	学童保育所を通じて、期間中に利用のあった5組の親子を対象に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集。
<b>2 調査期間</b>	令和4年3月	令和4年7月
<b>3 回収率</b>	(1) 保護者 回収数 3,562/配布数— (回収率—)  (2) こども 回収数 4,923/配布数— (回収率—)	(1) 保護者 回収数 80/配布数 101 (回収率 79.2%)  (2) こども 回収数 61/配布数 101 (回収率 60.4%)

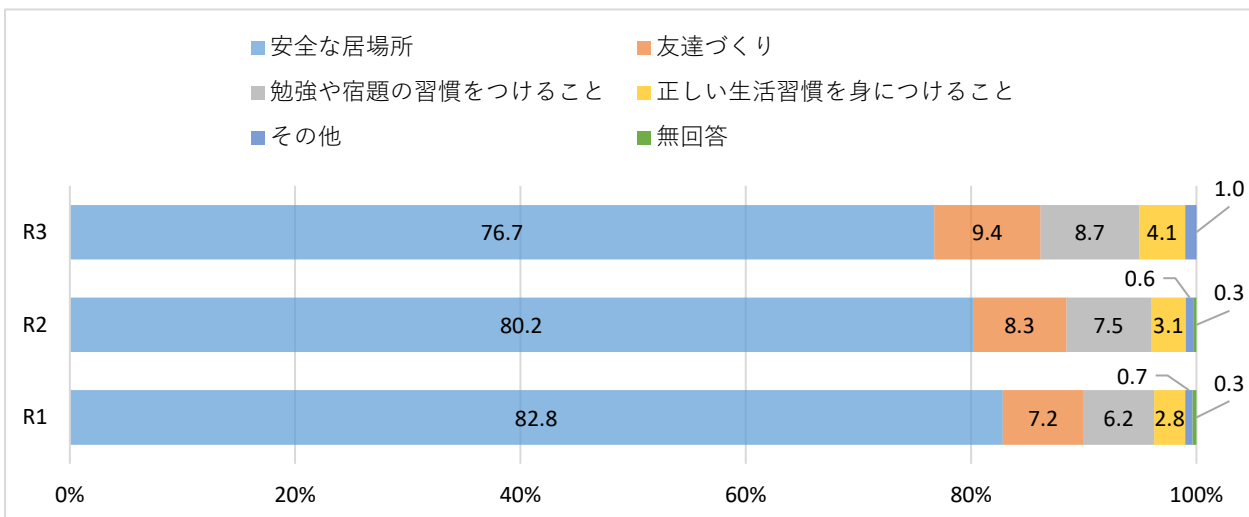
※公設学童保育所については「児童館の指定管理者による管理運営状況の評価に関するアンケート」を活用

### 4 調査結果（保護者用）

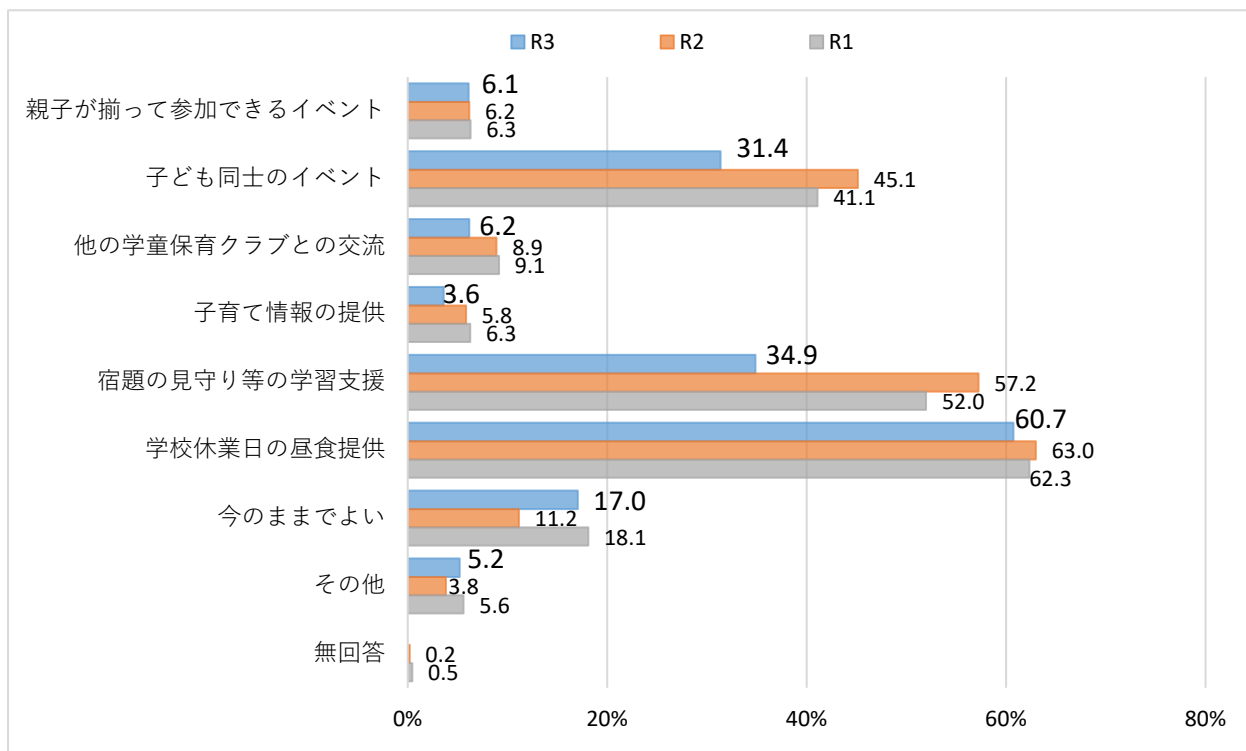
#### (1) サービス内容



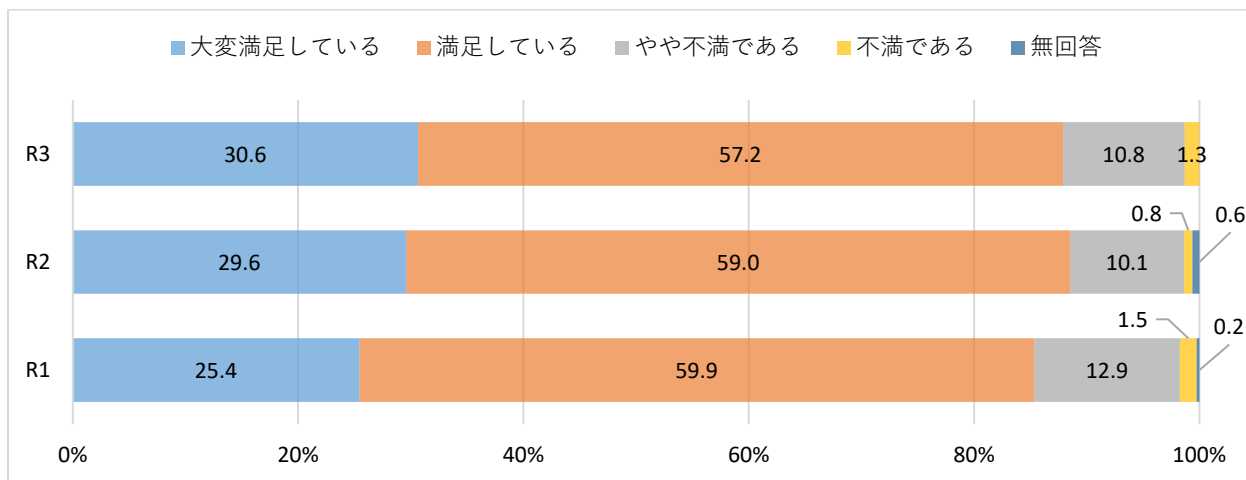
#### (2) 学童保育に期待していること



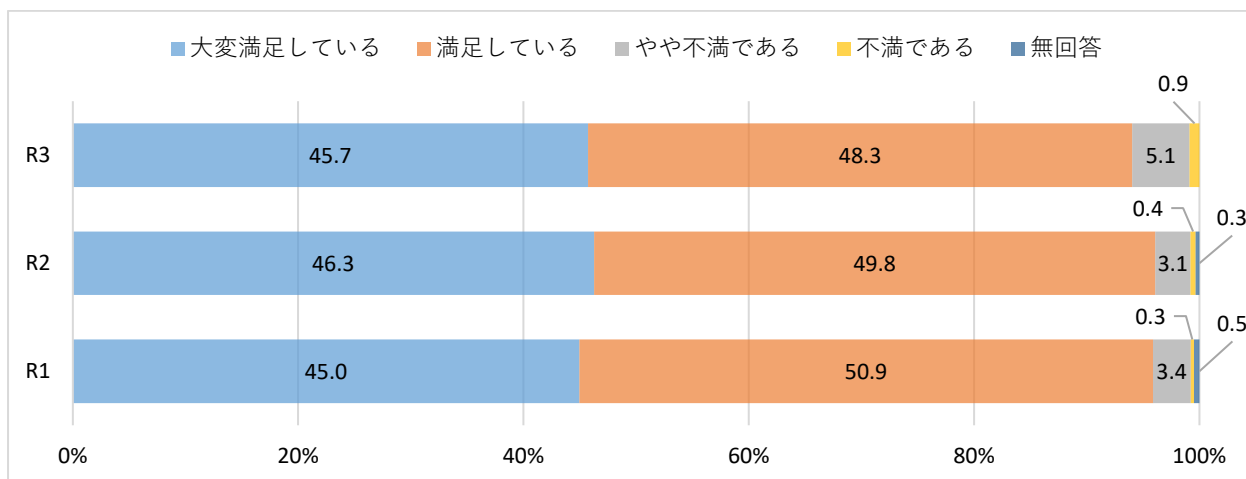
### (3) 増やしてほしいサービス（複数回答）



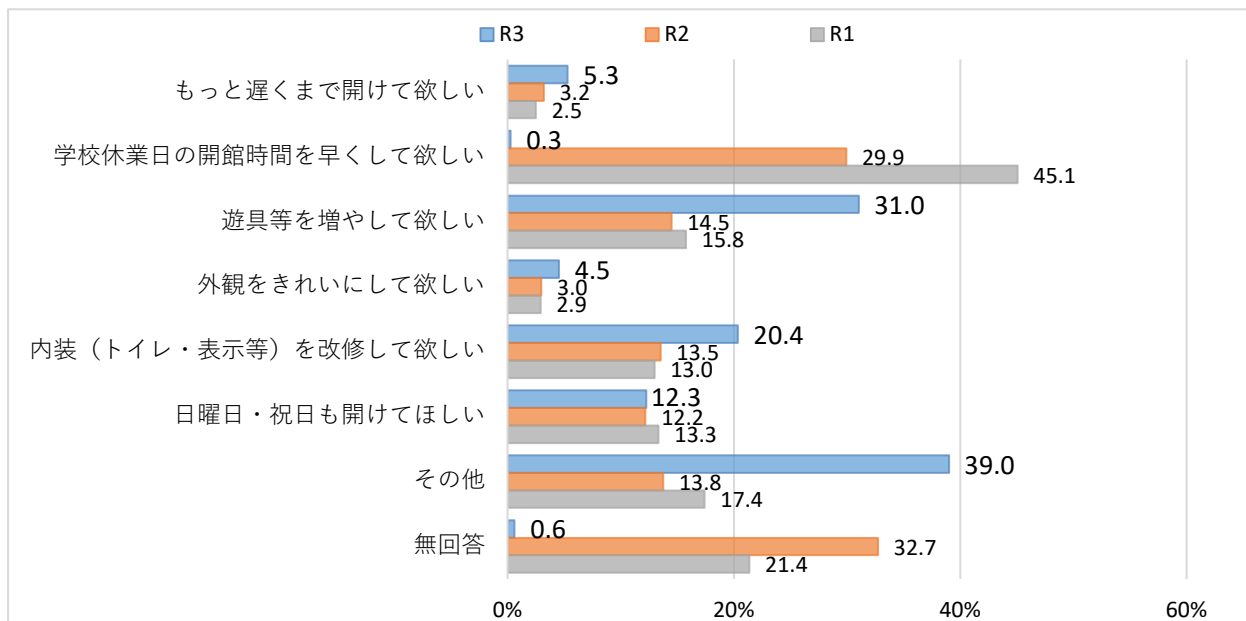
### (4) 施設



### (5) 職員の対応

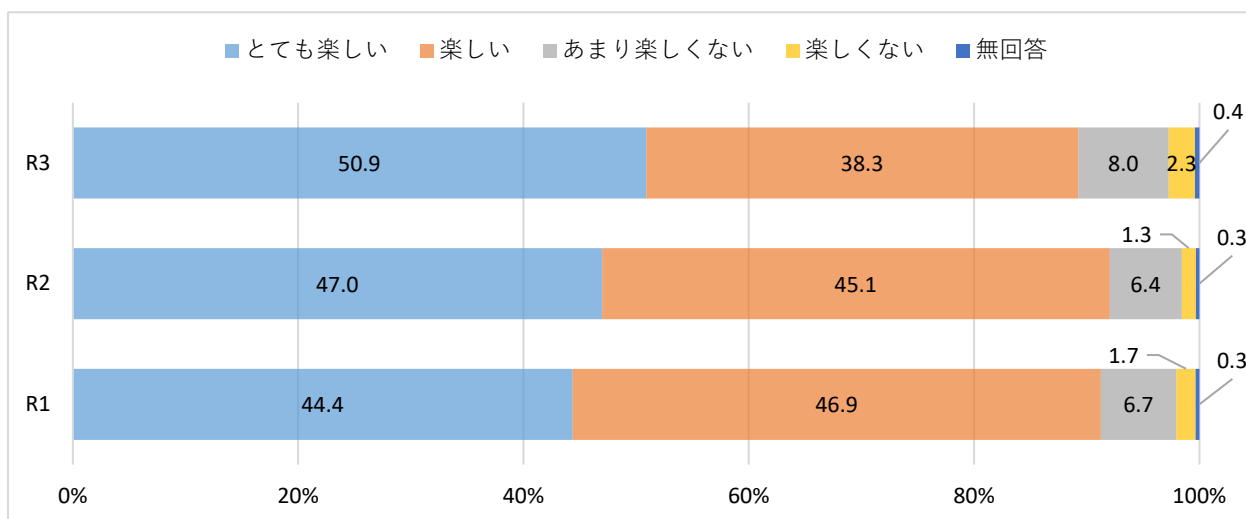


(6) 利用に関する要望（複数回答）

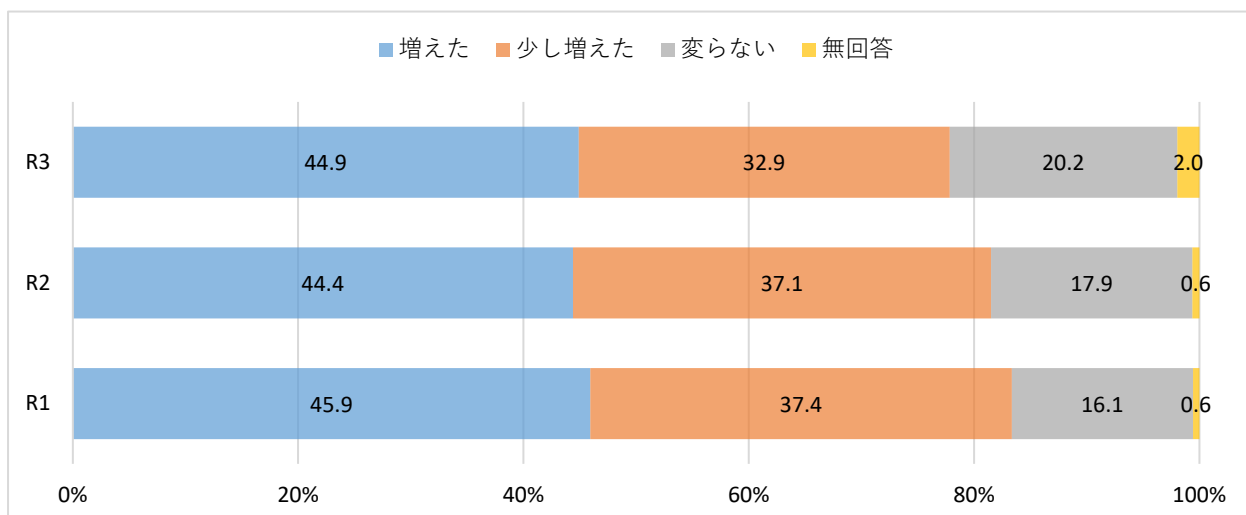


## 5 調査結果（こども用）

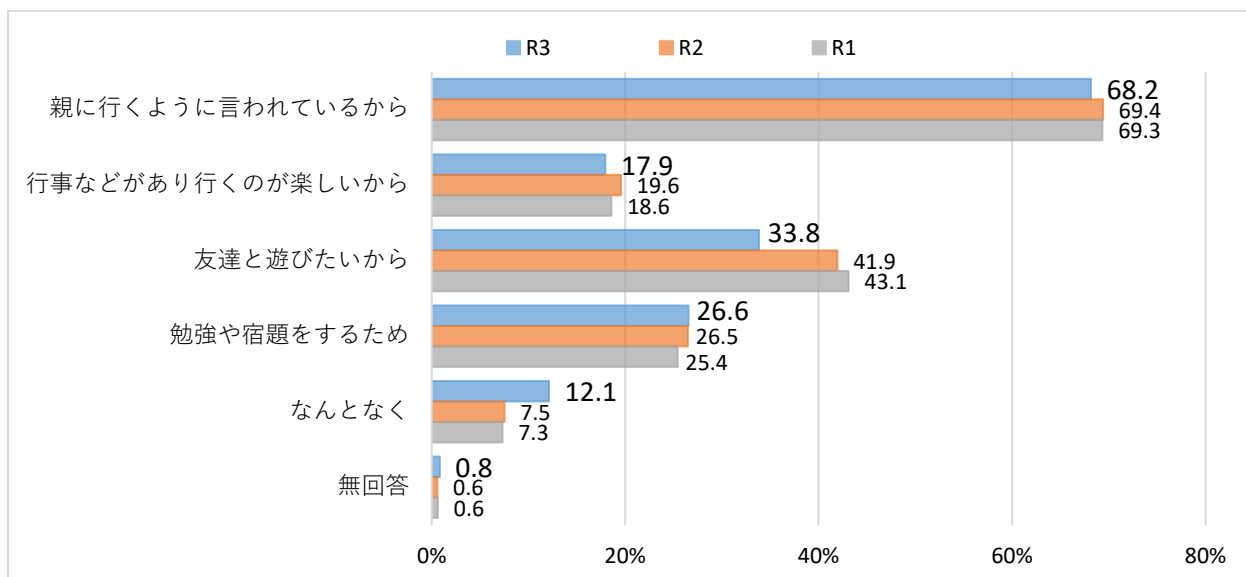
### （1）学童に来るのは楽しいか



### （2）学童で新しい友達は増えたか

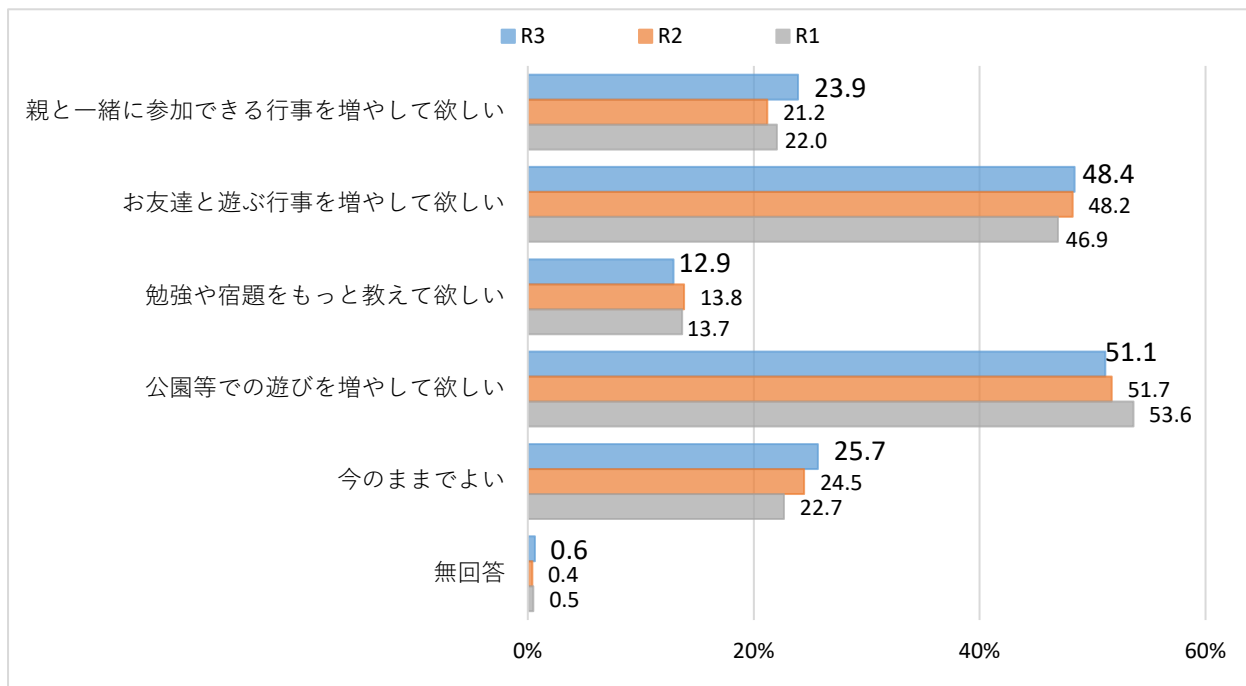


### （3）学童に来る理由（複数回答）

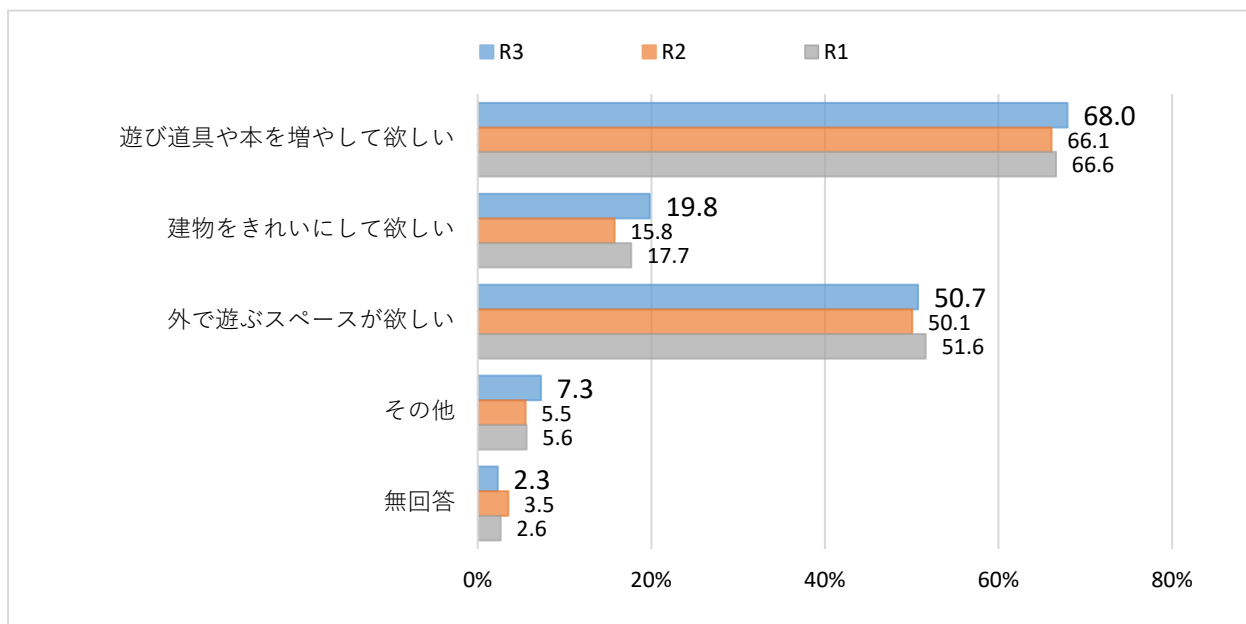




(4) 学童にどんなことがあれば楽しいか (複数回答)



(5) 何をしてほしいか (複数回答)



## ⑦一時預かり（一時保育含む）

### 1 調査方法

- 令和4年7月、一時預かり（一時保育含む）実施園（保育所（園）、認定こども園、小規模保育、事業所内保育）356園で、調査期間中の利用者を対象に実施
- 施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- 回収数 304／配布数 623（回収率 48.8%）

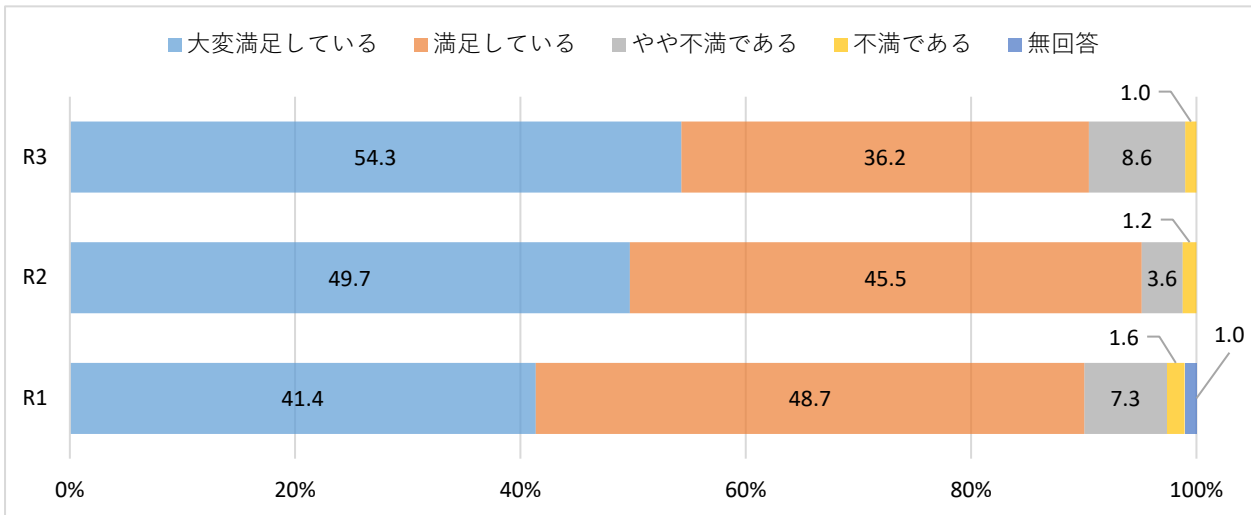
### 2 回答者の基本情報

- 利用者の就業状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「パート」が5割弱、「働いていない」が約4割、「フルタイム」が2割弱となっている。

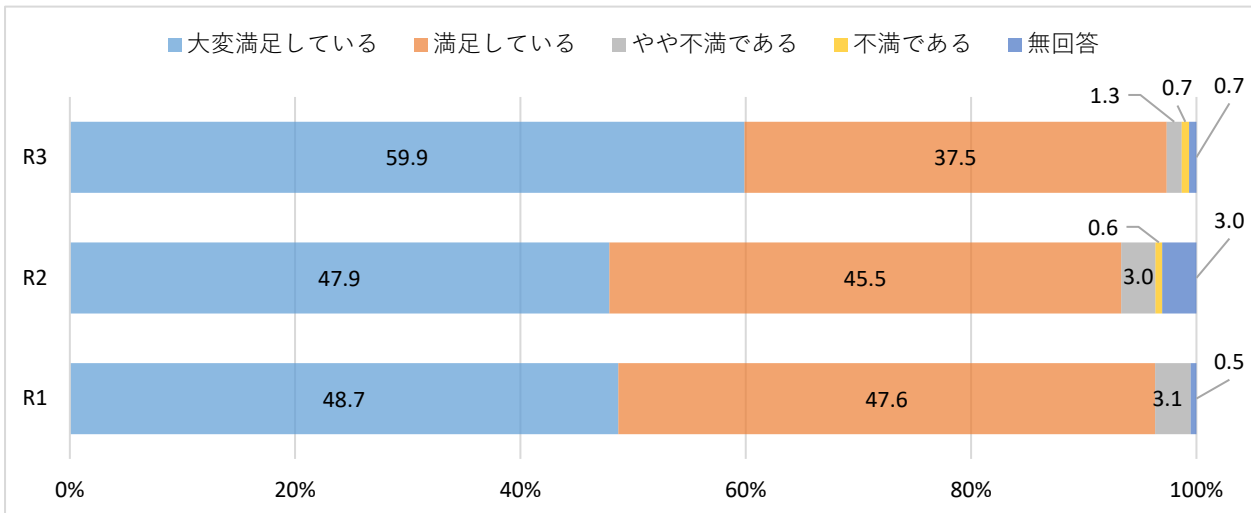
### 3 調査結果

※令和2年度は「認定こども園」の利用者に対する調査票配布の準備作業に錯誤があり、得られた回答について適切な分析ができなかったため、「認定こども園」の結果は含まれていない

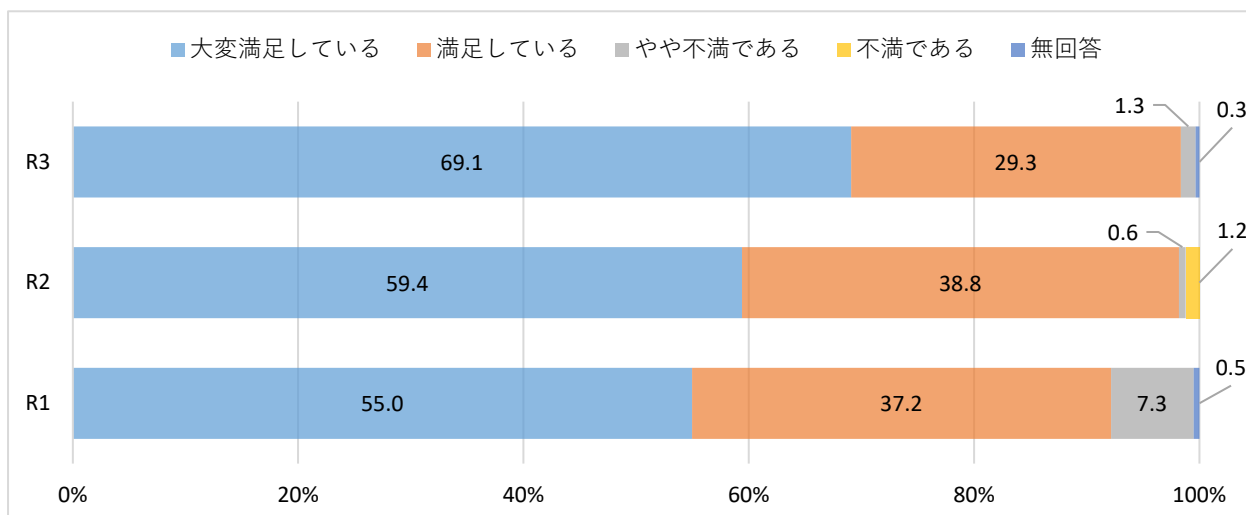
#### （1）サービス内容



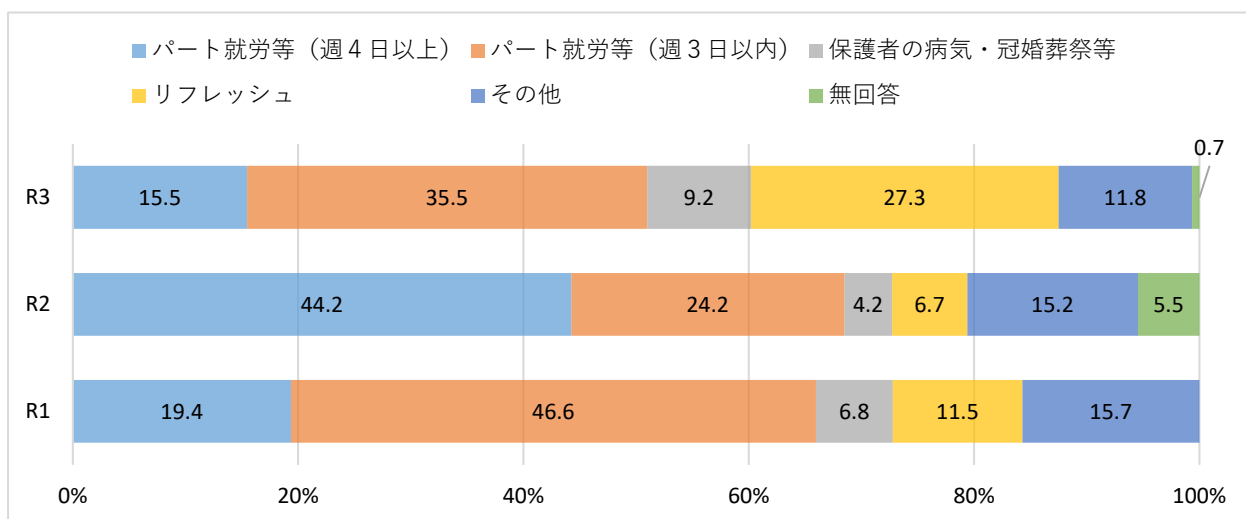
#### （2）施設



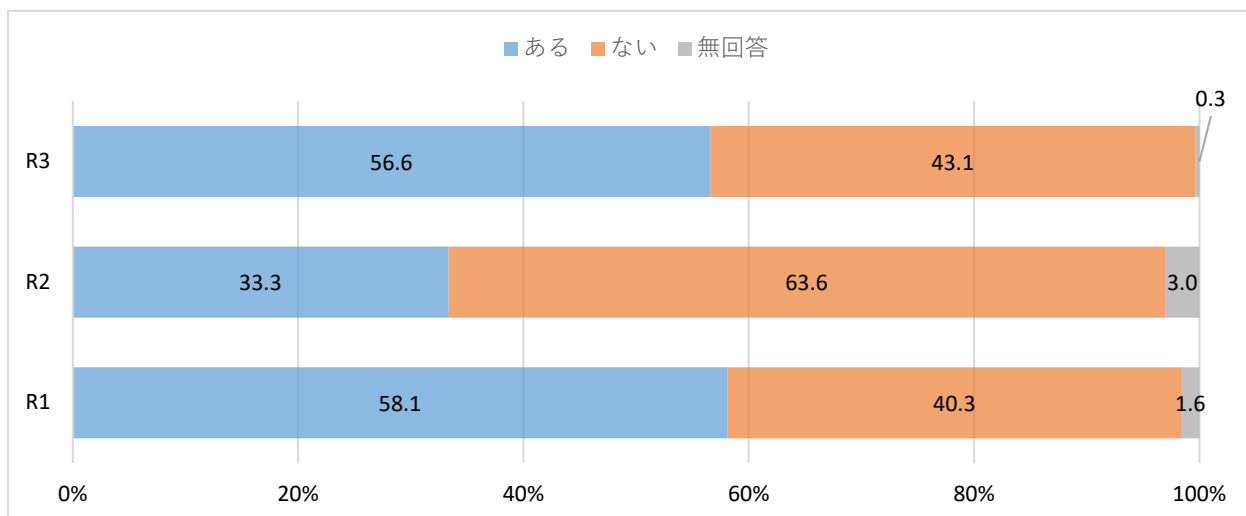
### (3) 職員の対応



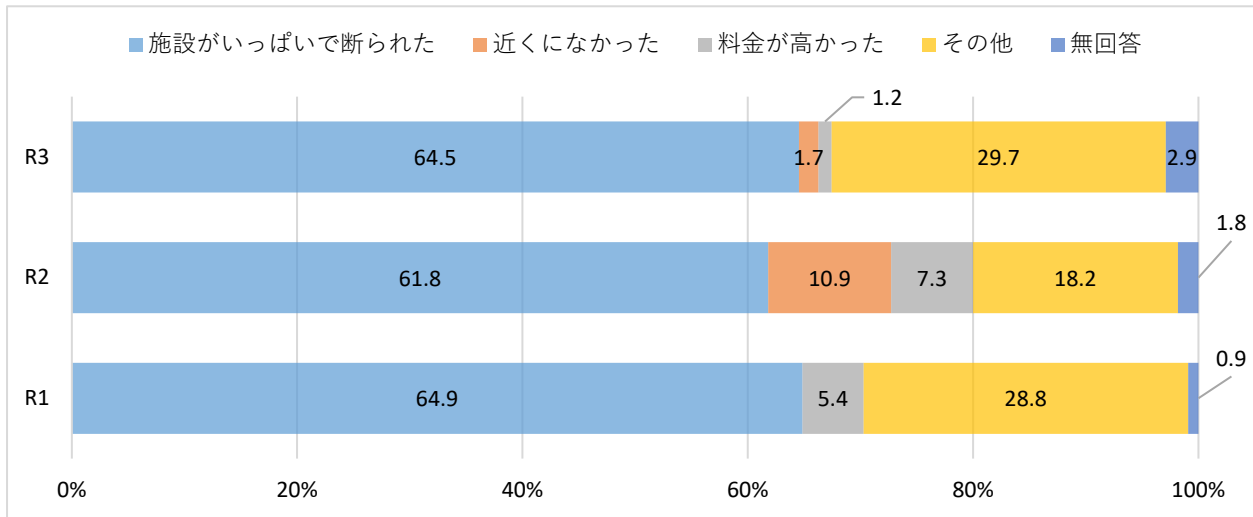
### (4) 一時保育を利用した理由



### (5) 一時保育を利用できず困ったこと



(5—2)「ある」と回答した人のうち、利用できなくて困った理由



## ⑧子育てリフレッシュステイ

### 1 調査方法

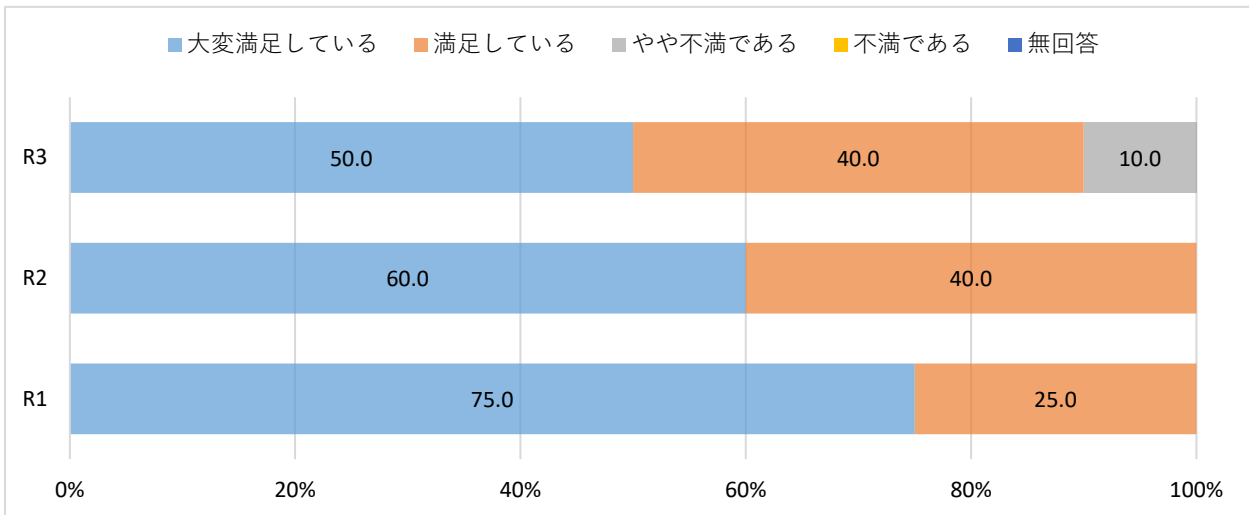
- ・令和4年7月、子育てリフレッシュステイを実施している施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設）23箇所、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数10／配布数24（回収率41.7%）

### 2 回答者の基本情報

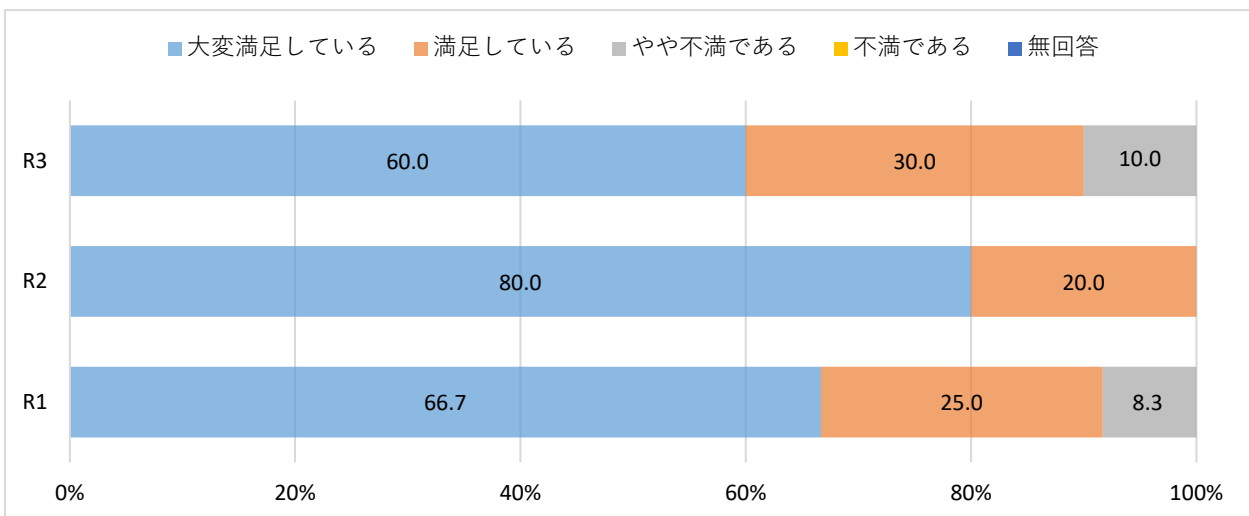
- ・利用者の就業状況について、父親は「フルタイム」が5割、「いない」が4割であり、母親は「フルタイム」が4割、「働いていない」が4割、「パート」が2割となっている。

### 3 調査結果

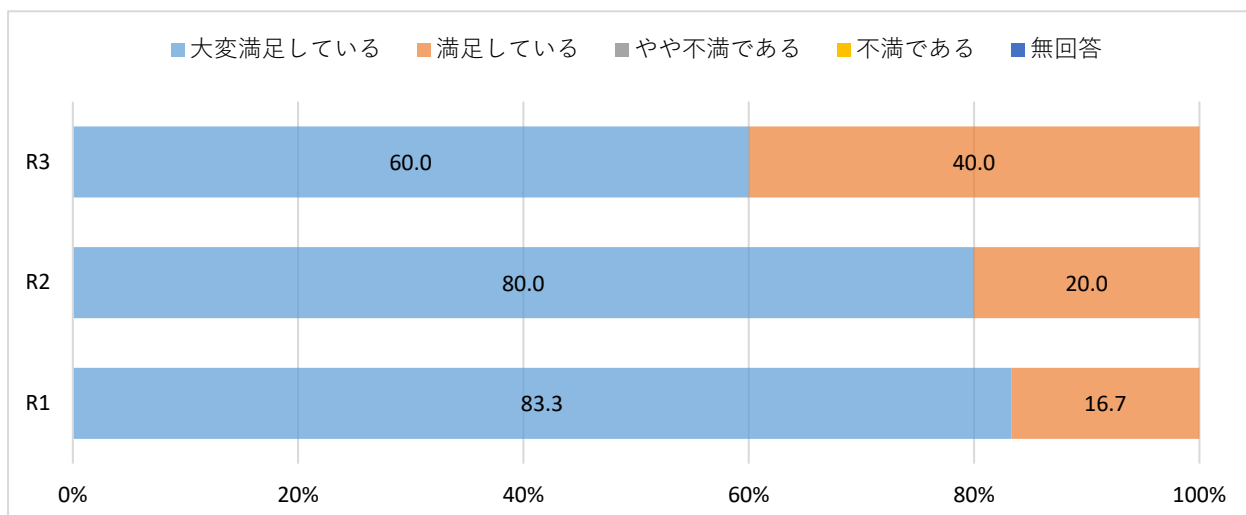
#### （1）サービス内容



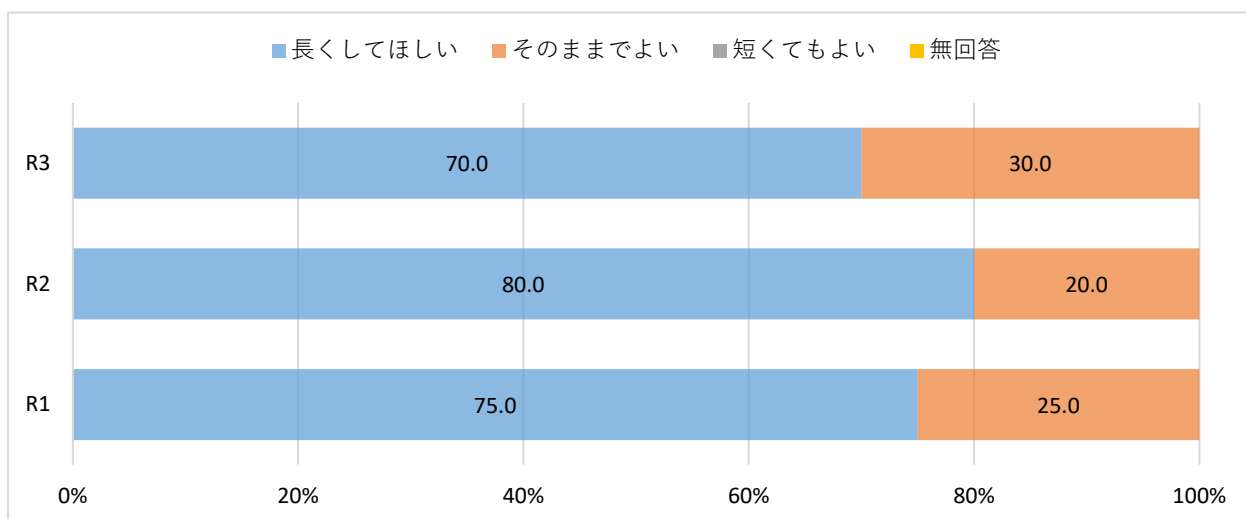
#### （2）施設



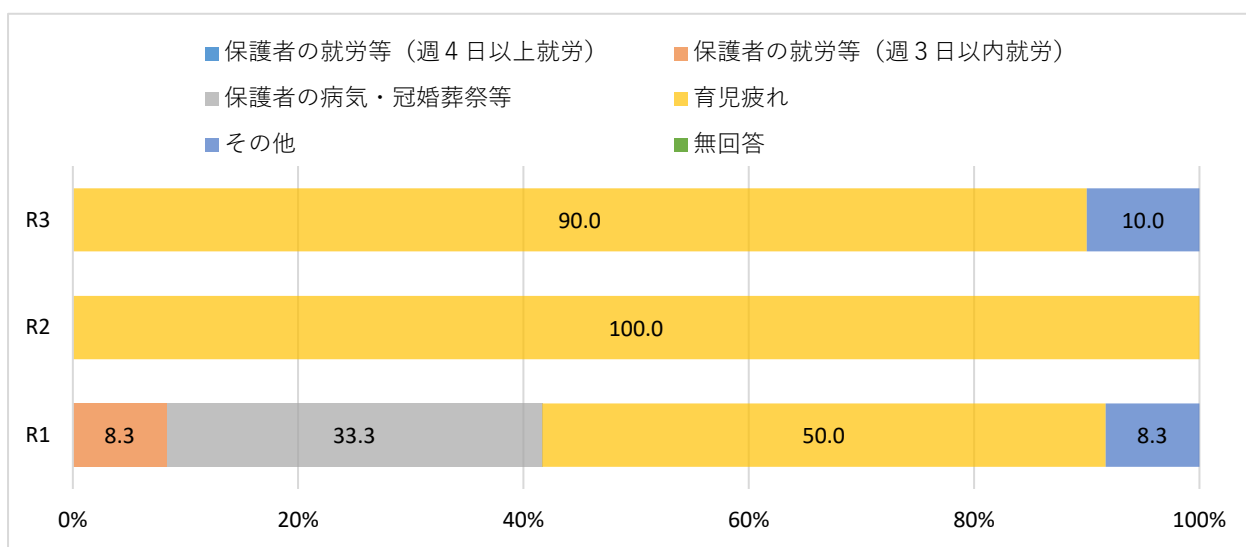
### (3) 職員の対応



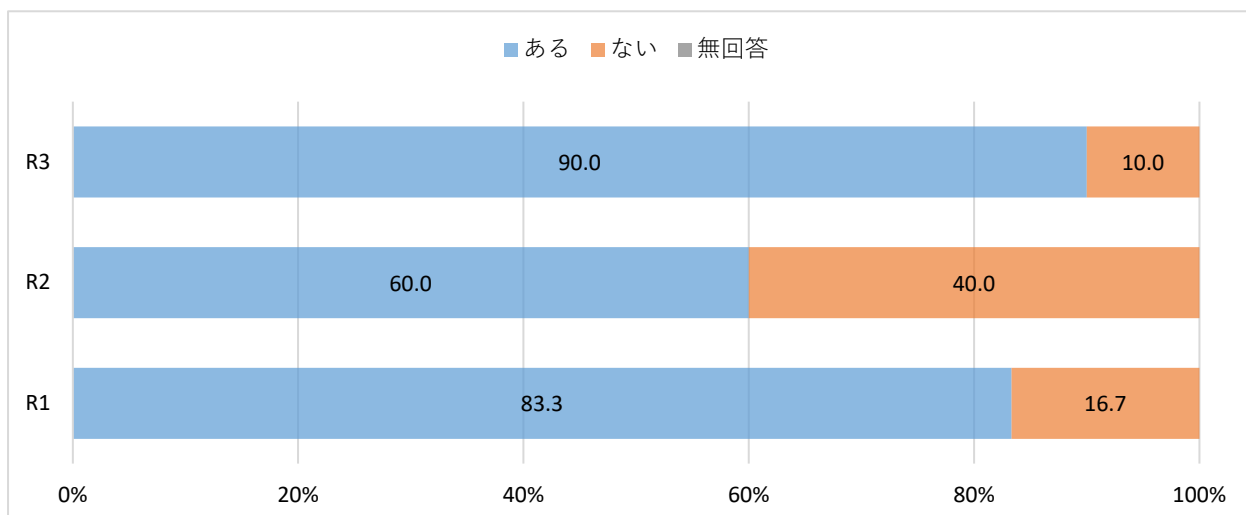
### (4) 月 10 日間の利用上限



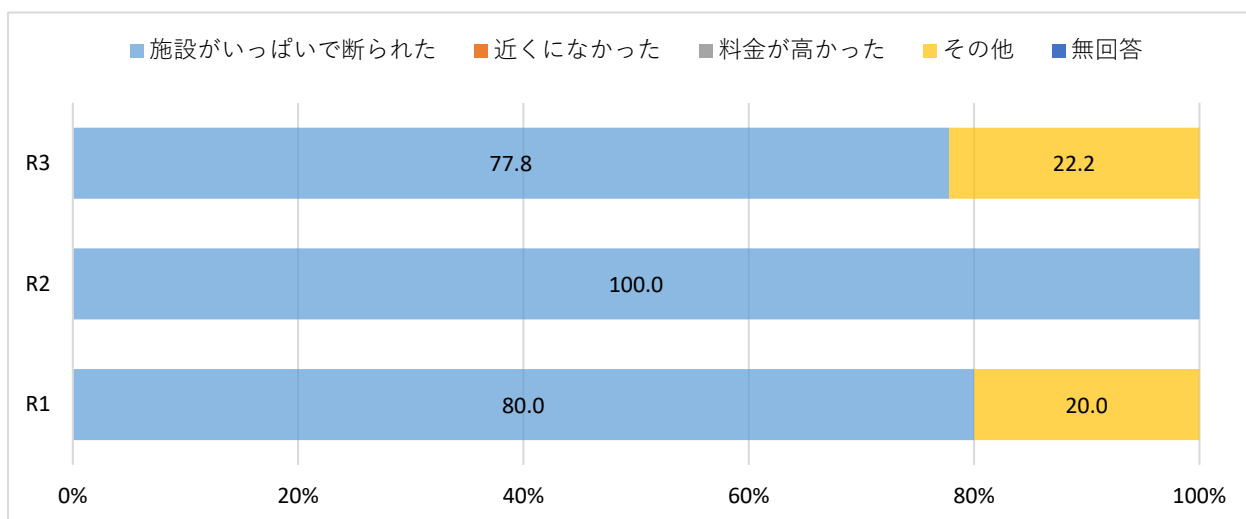
### (5) 子育てリフレッシュステイを利用した理由



### (6) 利用できなくて困ったこと



### (6-2) 「ある」と回答した人のうち、利用できなくて困った理由



## ⑨病児保育

### 1 調査方法

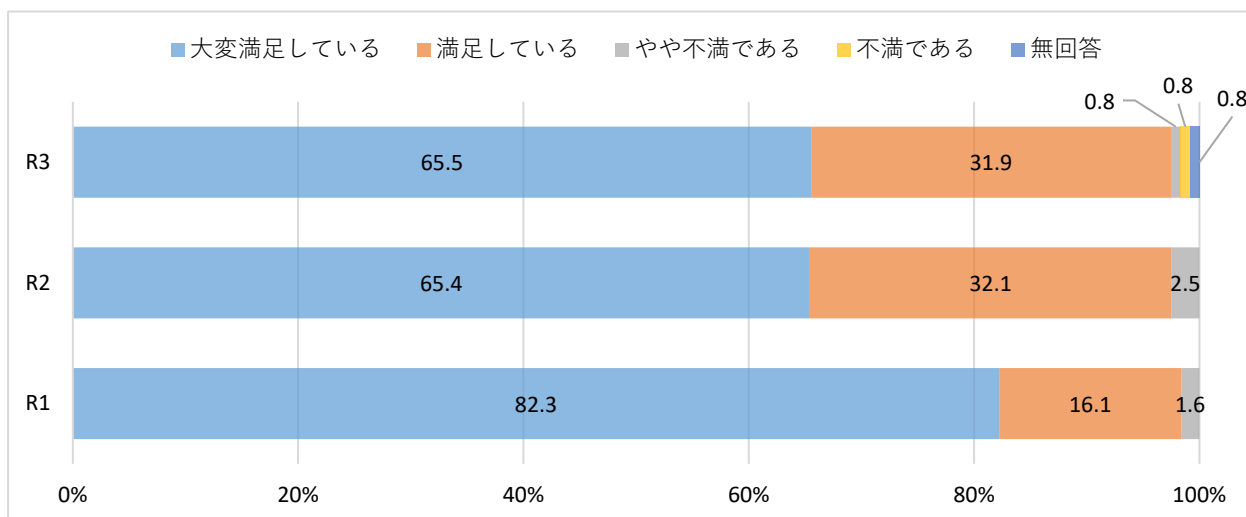
- ・令和4年7月、病児保育を実施している全施設（22箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 119／配布数 240（回収率 49.6%）

### 2 回答者の基本情報

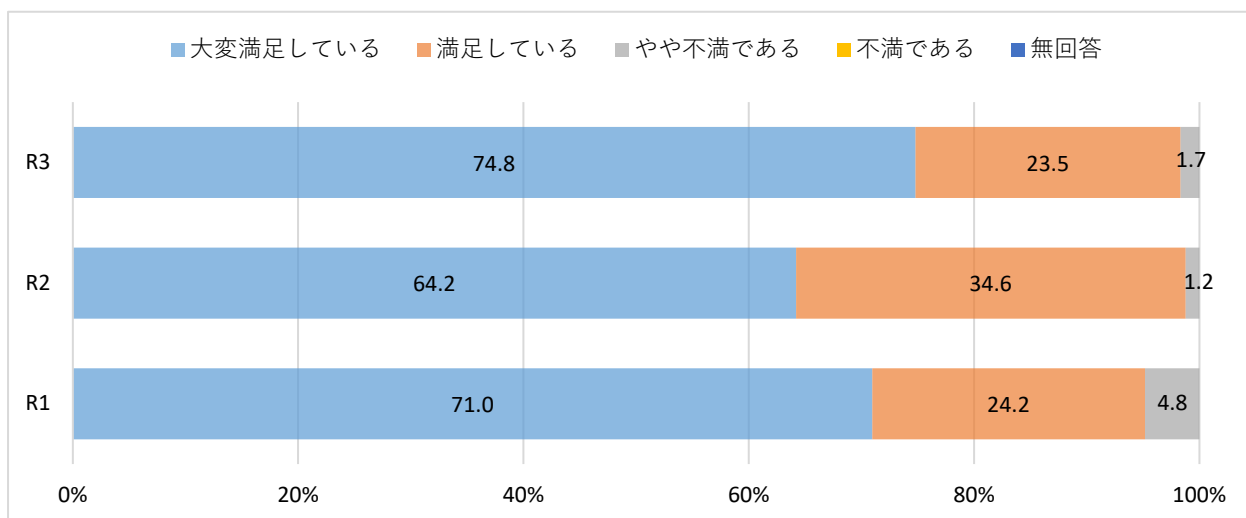
- ・利用者の就業状況は、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親も「フルタイム」が大半であり、「パート」が2割弱となっている。

### 3 調査結果

#### （1）サービス内容

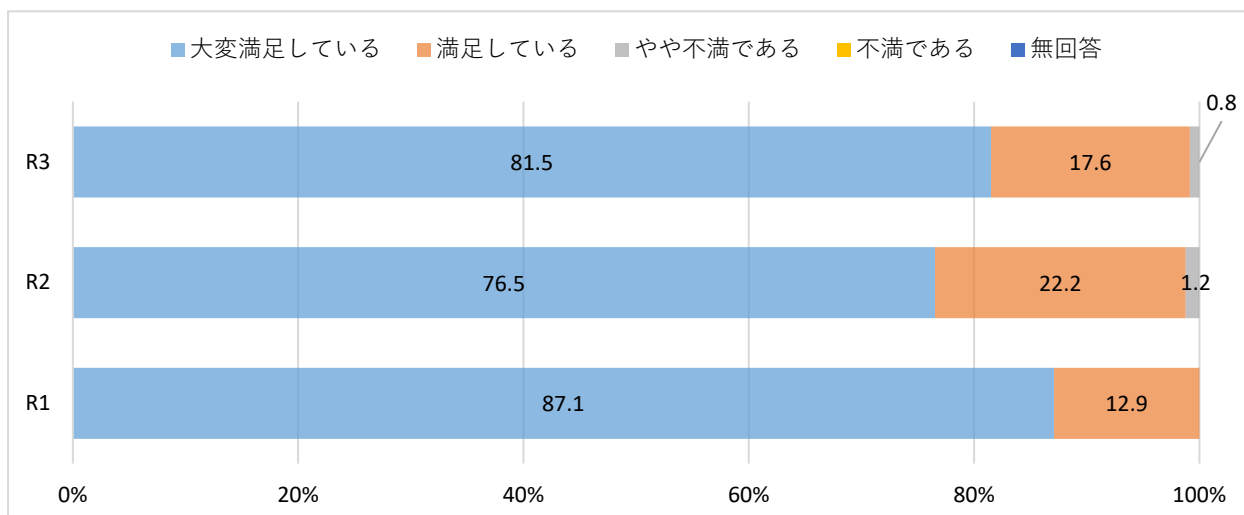


#### （2）施設

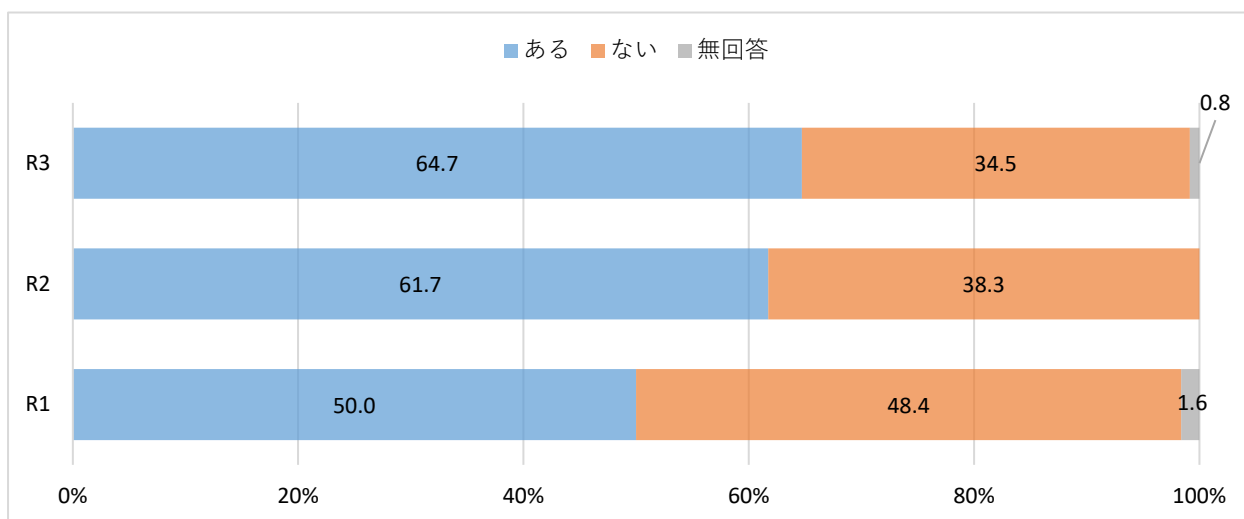




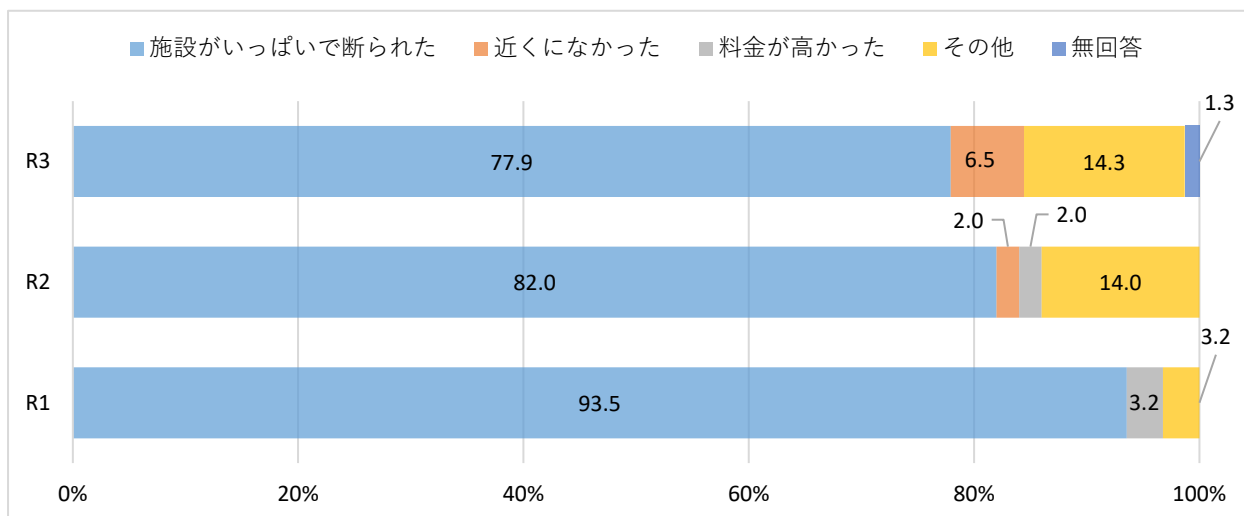
### (3) 職員の対応



### (4) 病児保育を利用できなくて困ったことはあるか



#### (4-2) 「ある」と回答した人のうち、利用できなくて困った理由



## ⑩ファミリー・サポート・センター

### 1 調査方法

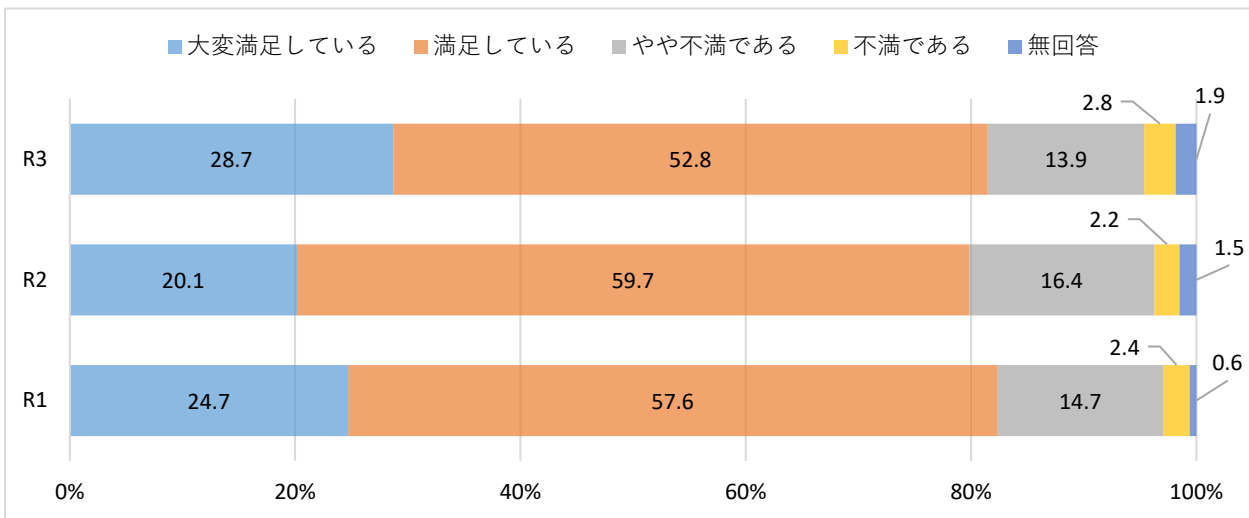
- ・令和4年7月、ファミリー・サポート・センター依頼会員(協力会員を兼ねる人を含む)から300名を無作為抽出し、施設を通じて調査期間中の利用者を対象に実施
- ・二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数108/配布数300(回収率36.0%)

### 2 回答者の基本情報

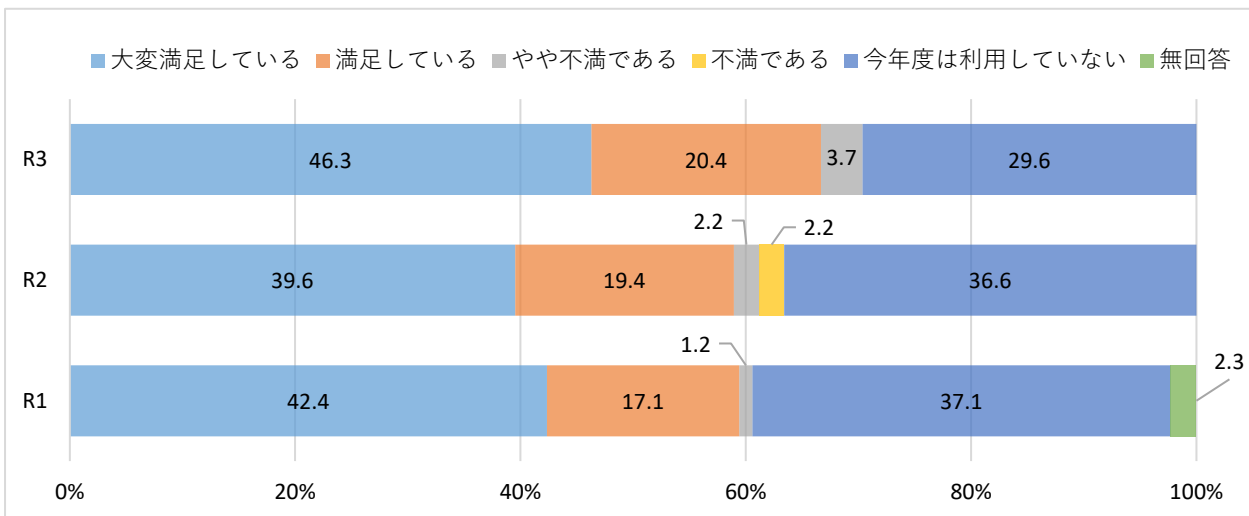
- ・就業状況は、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が6割強、「パート」と「働いていない」がそれぞれ2割弱となっている。

### 3 調査結果

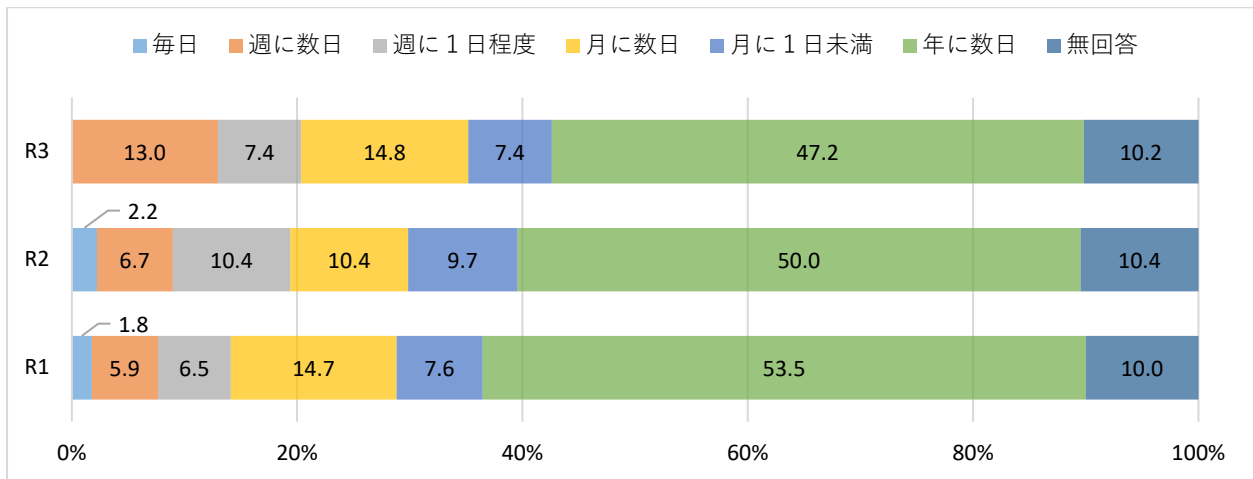
#### (1) サービス内容



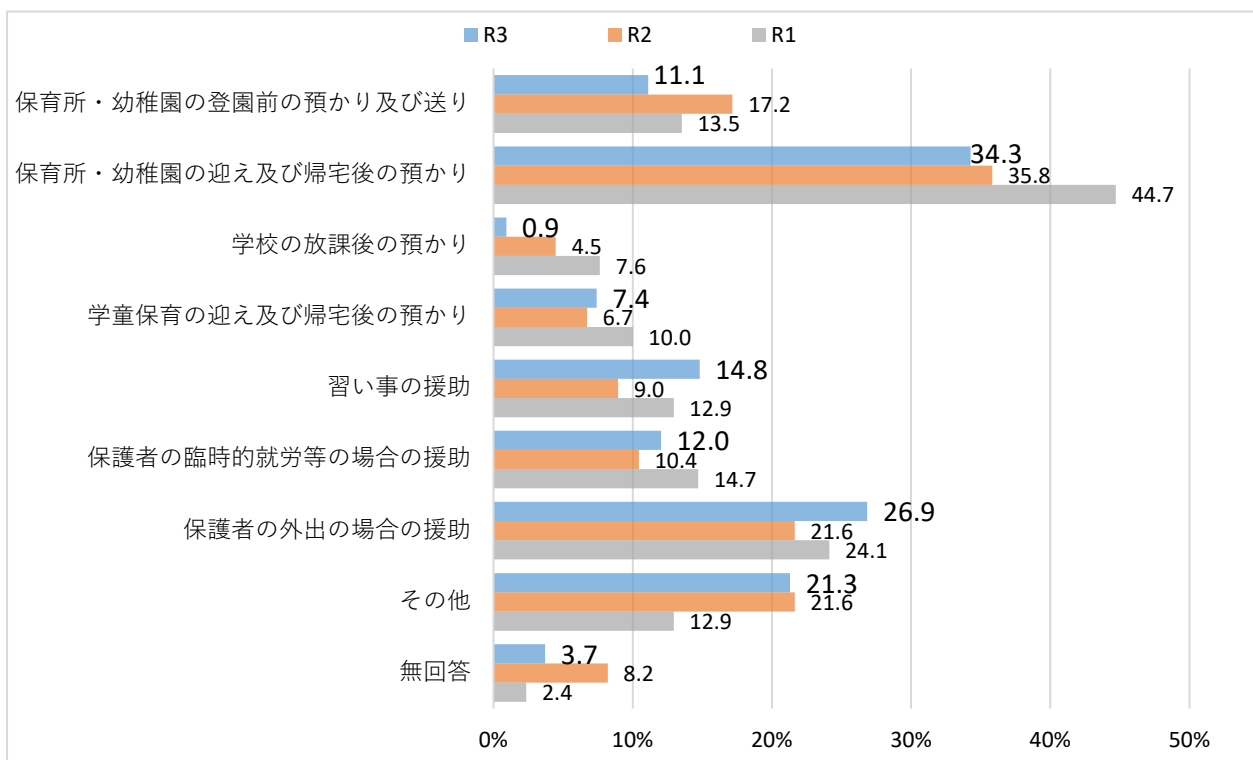
#### (2) サポートをお願いした協力会員の対応



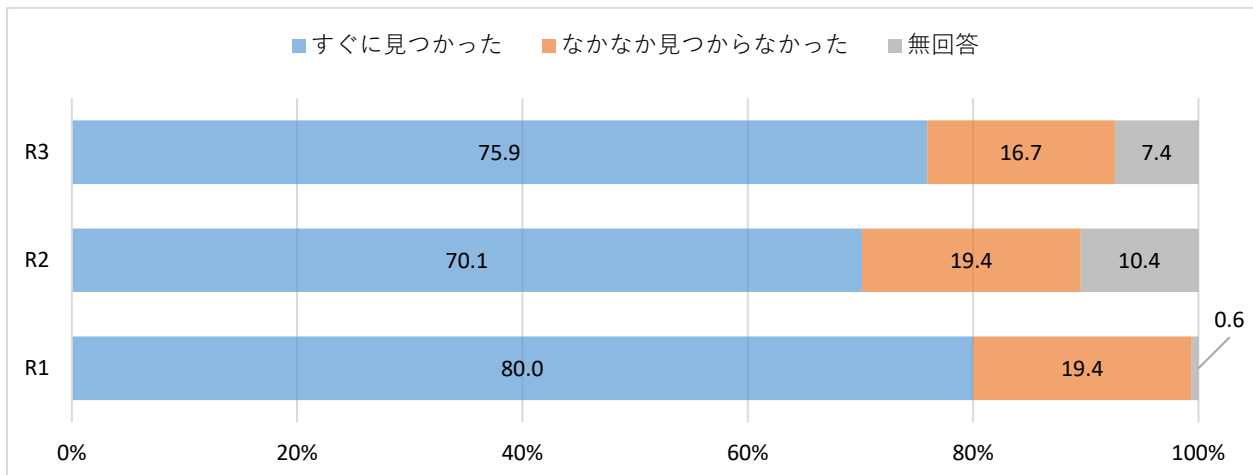
### (3) 利用の頻度



### (4) 協力会員に依頼した内容 (複数回答)



### (5) 当初、依頼に合致する協力会員が見つかったか



## ⑪小規模保育

### 1 調査方法

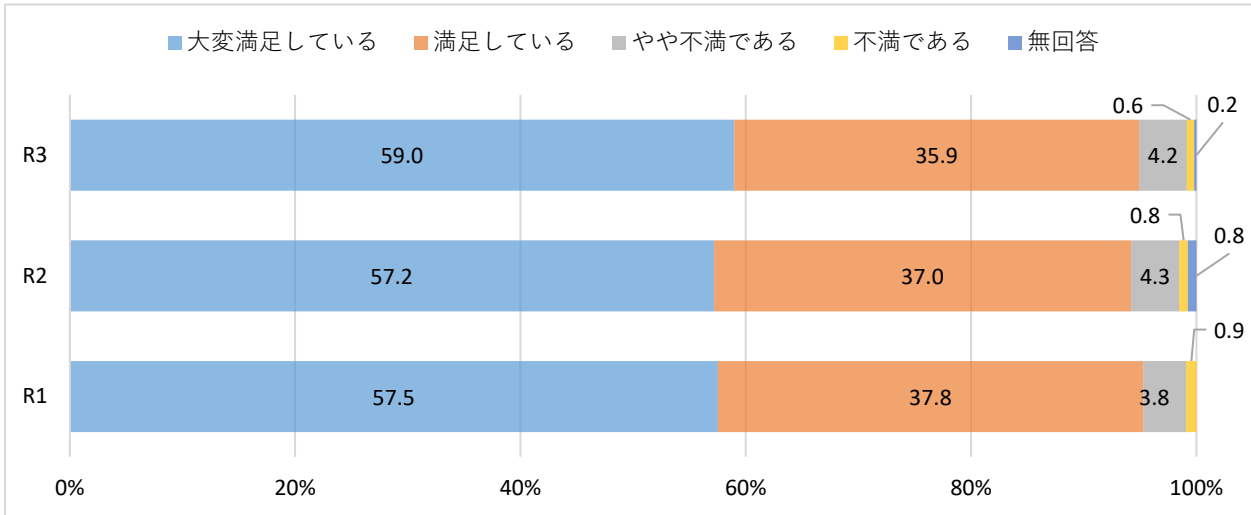
- ・令和4年7月、小規模保育を実施している施設（139箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 473／配布数 775（回収率 61.0％）

### 2 回答者の基本情報

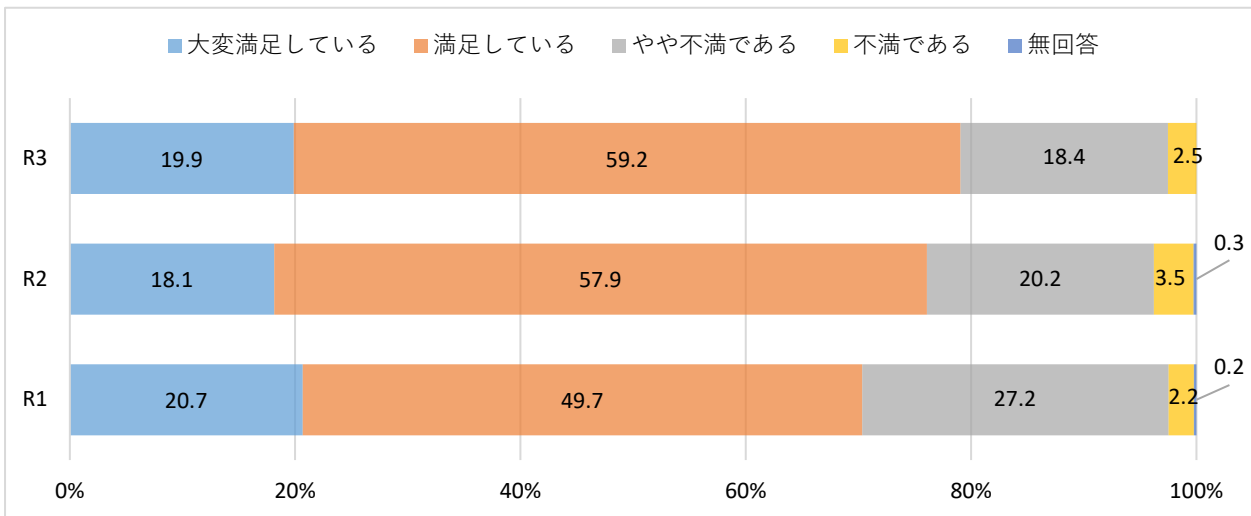
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が6割弱、「パート」が4割弱となっている。

### 3 調査結果

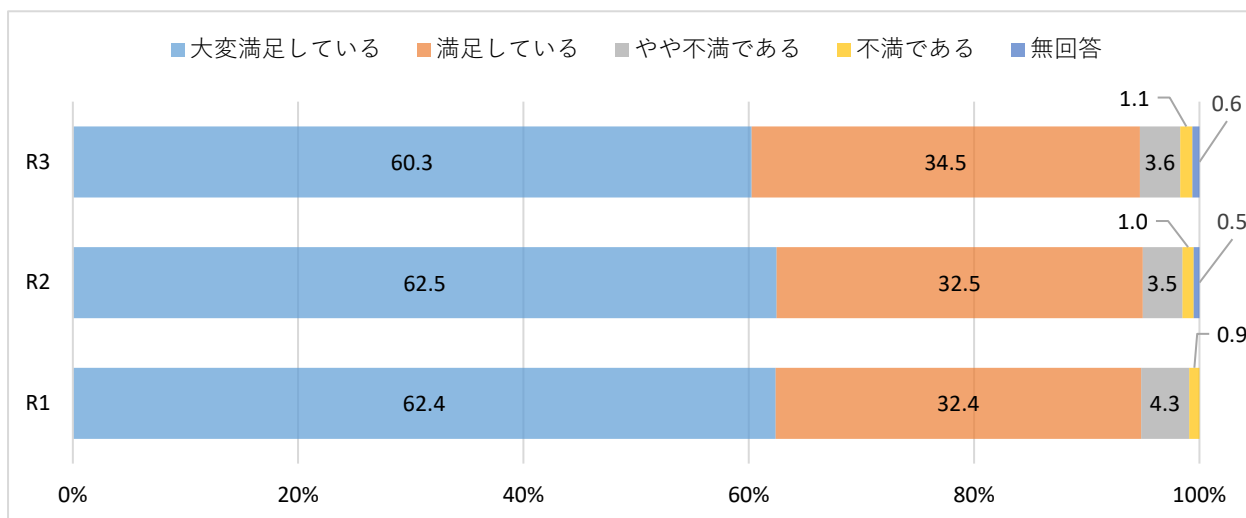
#### （1）保育内容全般



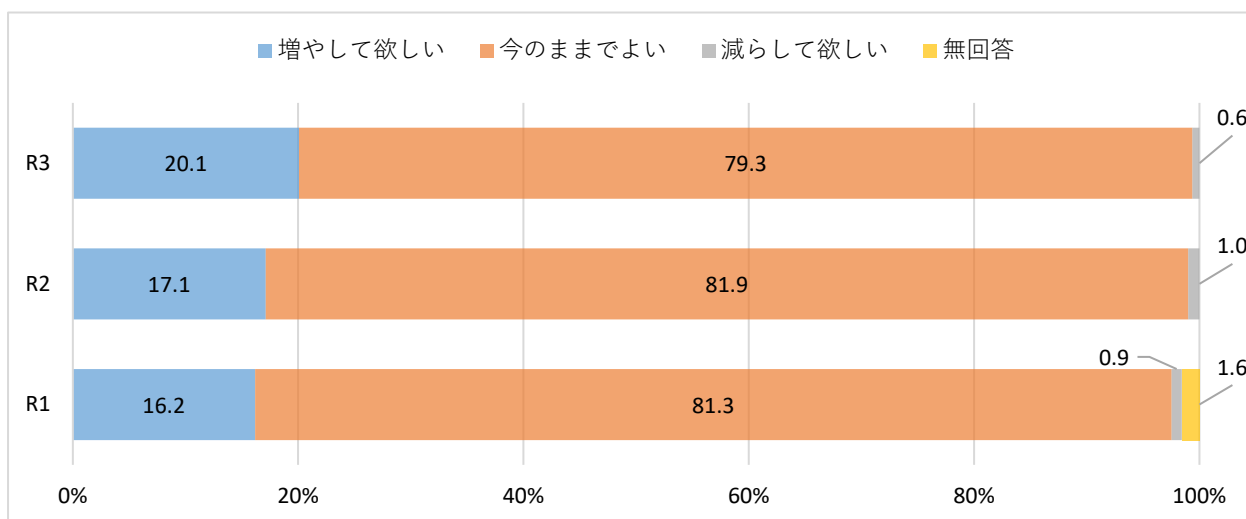
#### （2）建物や園庭などの施設



### (3) 職員の対応



### (4) 地域の親子との交流



## ⑫事業所内保育

### 1 調査方法

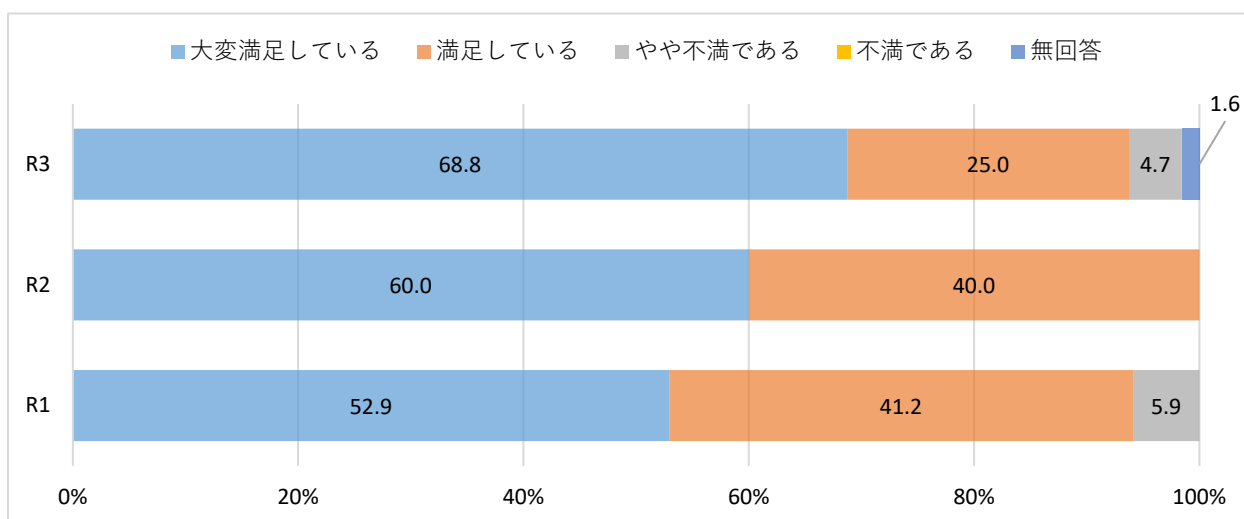
- ・令和4年7月、事業所内保育を実施している施設（20箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 64／配布数 101（回収率 63.4%）

### 2 回答者の基本情報

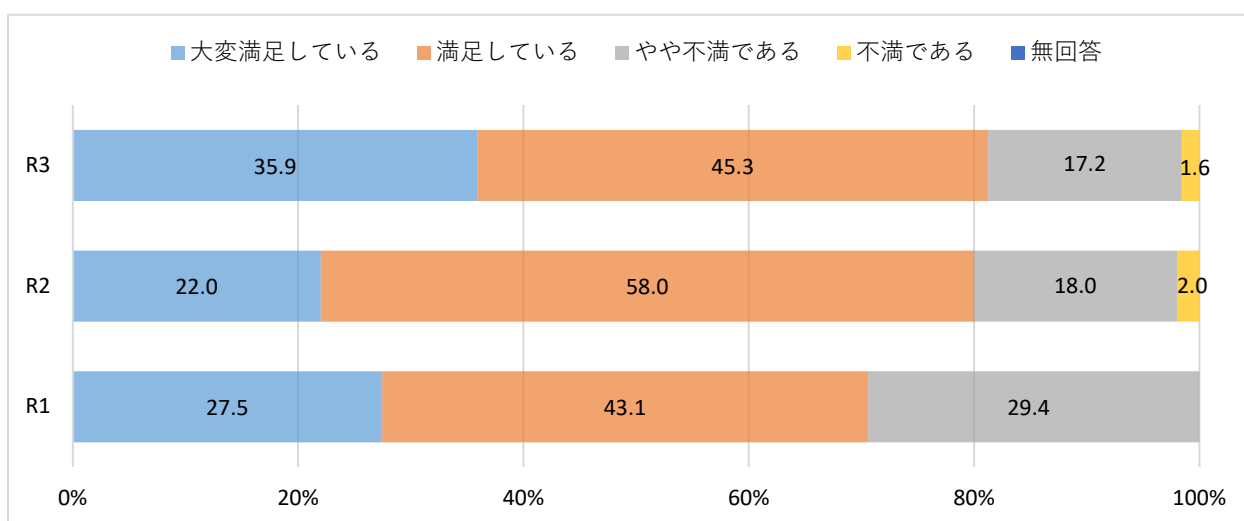
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「パート」が6割弱、「フルタイム」が3割強となっている。

### 3 調査結果

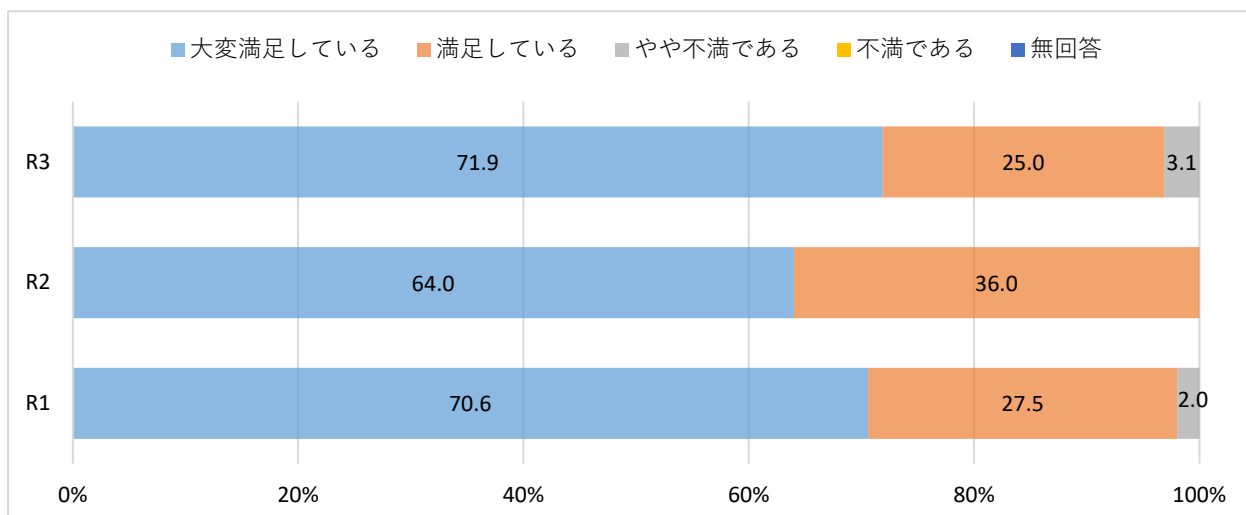
#### （1）保育内容全般



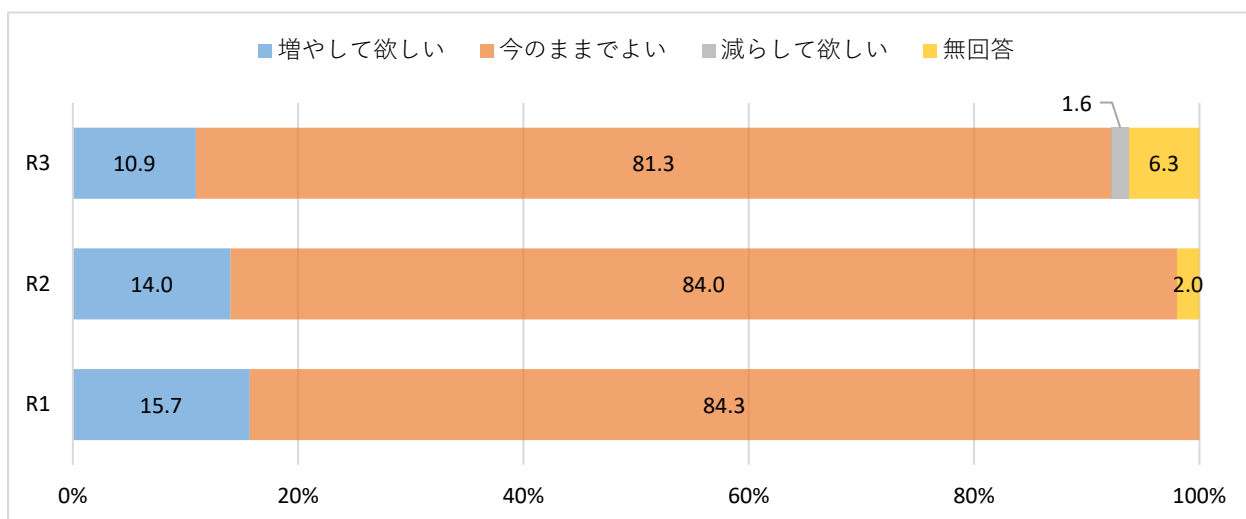
#### （2）建物や園庭などの施設



### (3) 職員の対応



### (4) 地域の親子との交流



## ⑬家庭的保育

### 1 調査概要

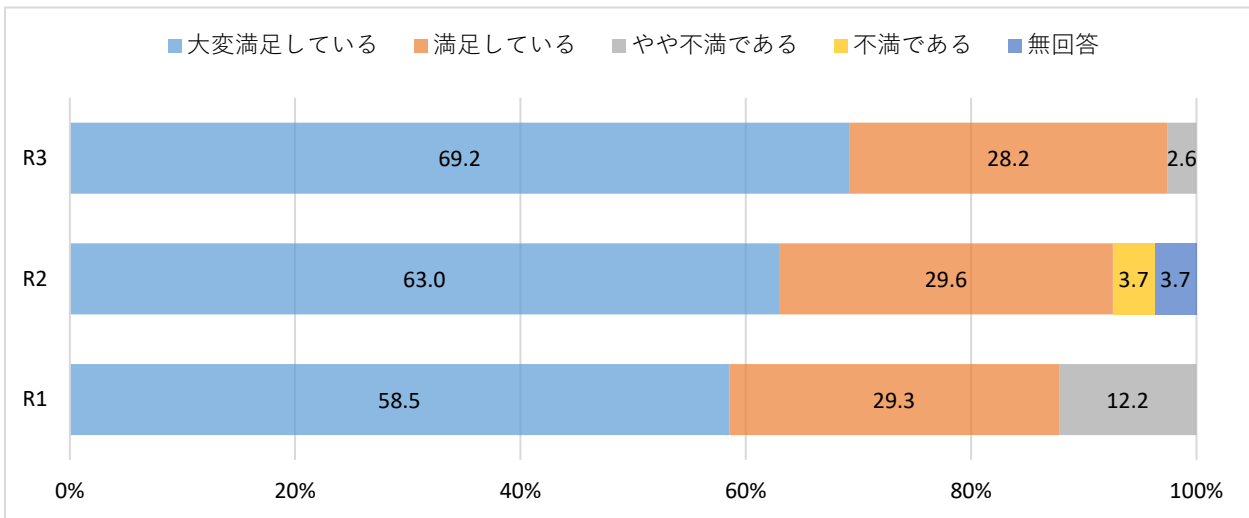
- ・令和4年7月、家庭的保育を実施している施設（24箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 39／配布数 84（回収率 46.4%）

### 2 回答者の基本情報

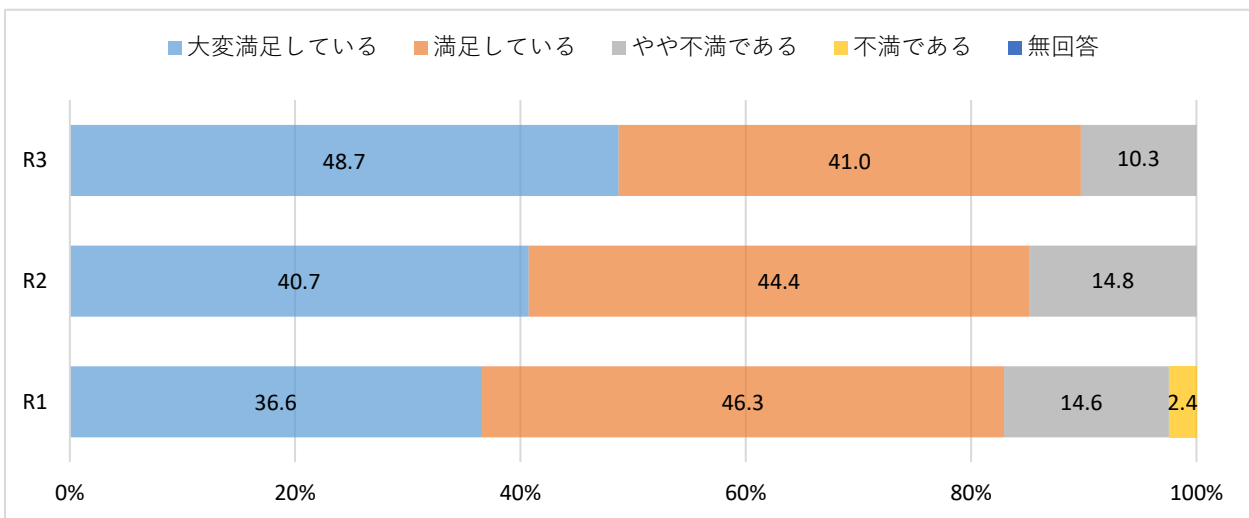
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「パート」が5割強、「フルタイム」が3割強となっている。

### 3 調査結果

#### （1）保育内容全般

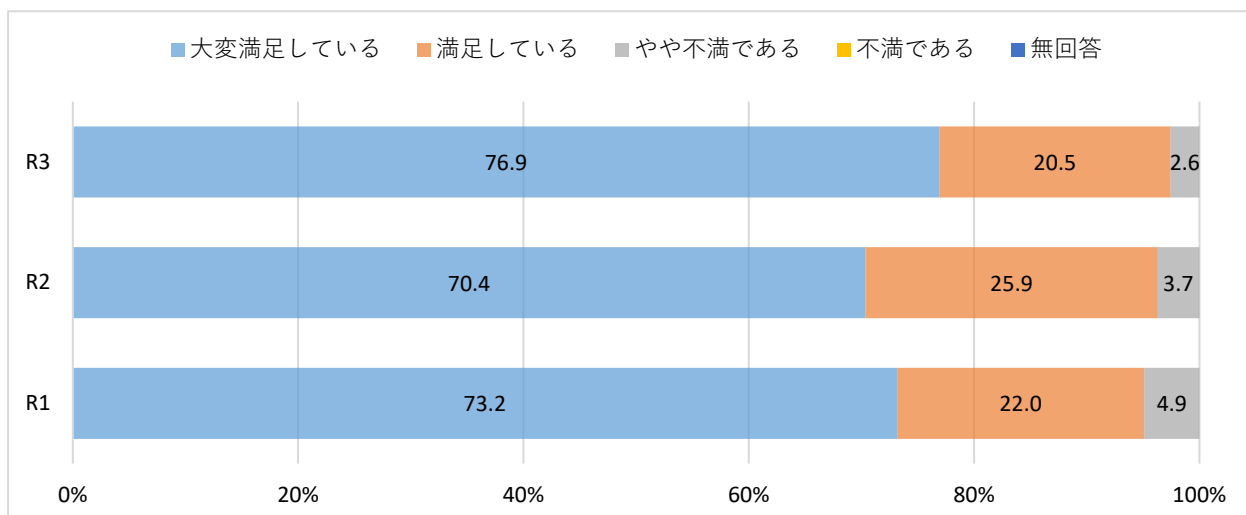


#### （2）建物や園庭などの施設

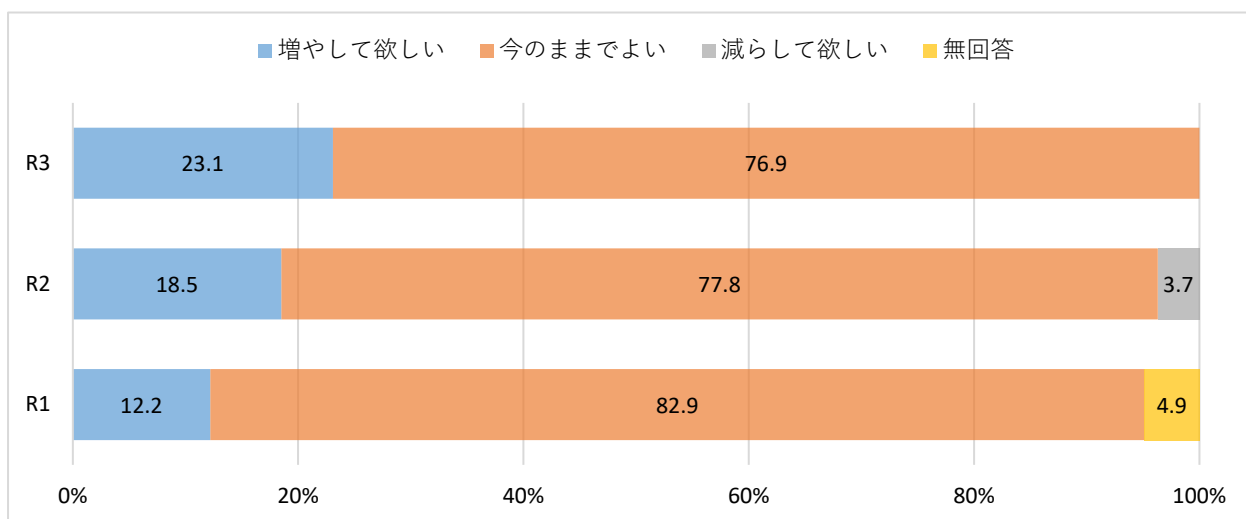




### (3) 職員の対応



### (4) 地域の親子との交流



## ⑭おやこふらっとひろば

### 1 調査概要

- ・令和4年7月、親子が気軽に立ち寄れる場所を提供している施設(7箇所)で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 146/配布数 210 (回収率 69.5%)

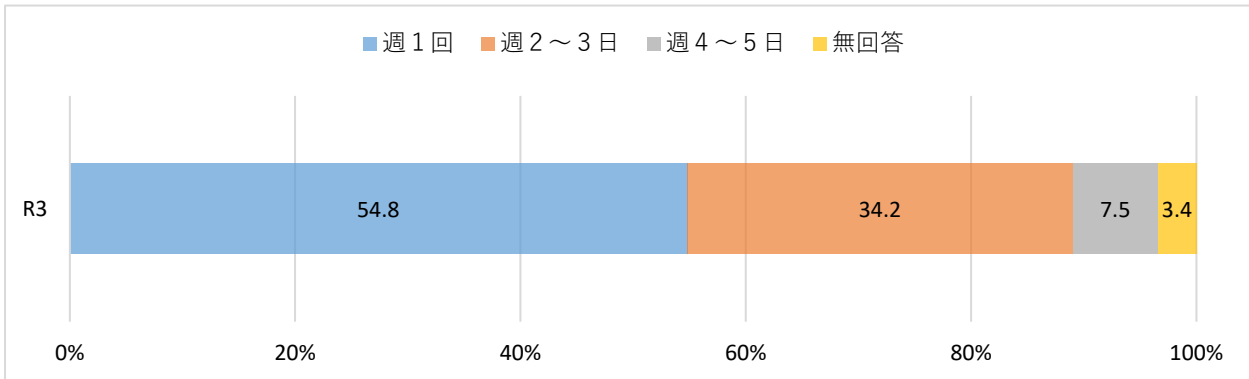
### 2 回答者の基本情報

- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「働いていない」が7割弱、「フルタイム」は3割弱となっている。

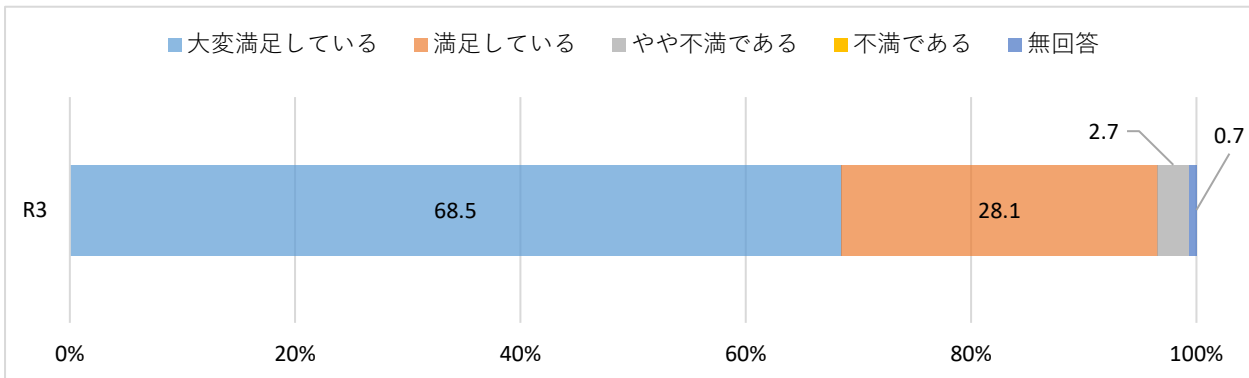
### 3 調査結果

※令和3年度の検証より当施設をアンケートの対象として追加したため、令和2年度以前は未実施

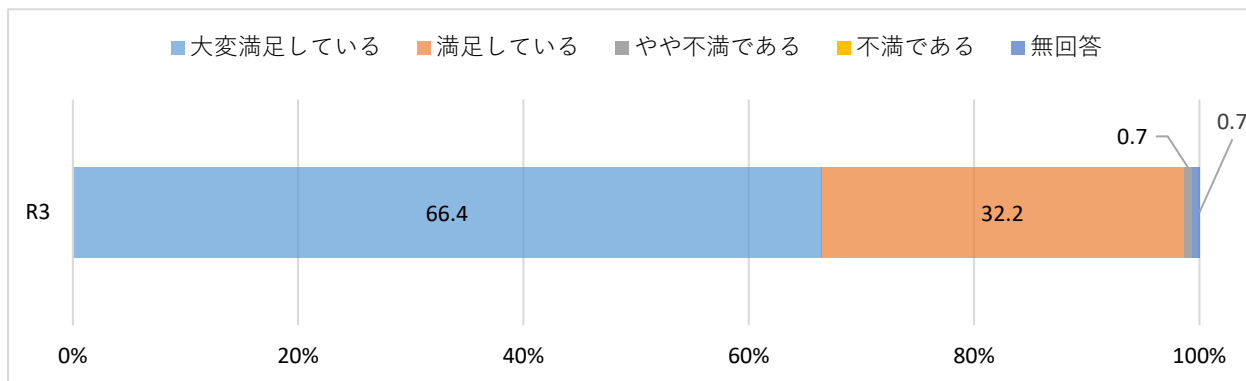
#### (1) 利用の頻度



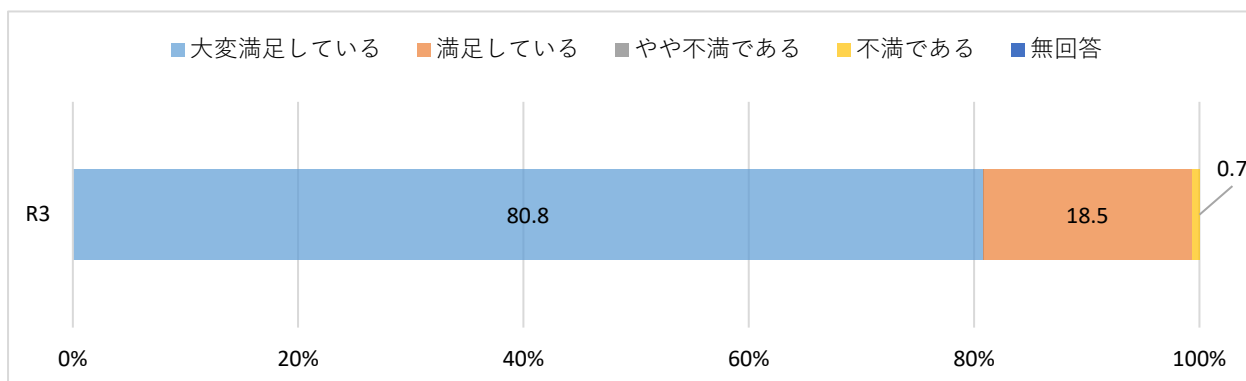
#### (2) サービス内容



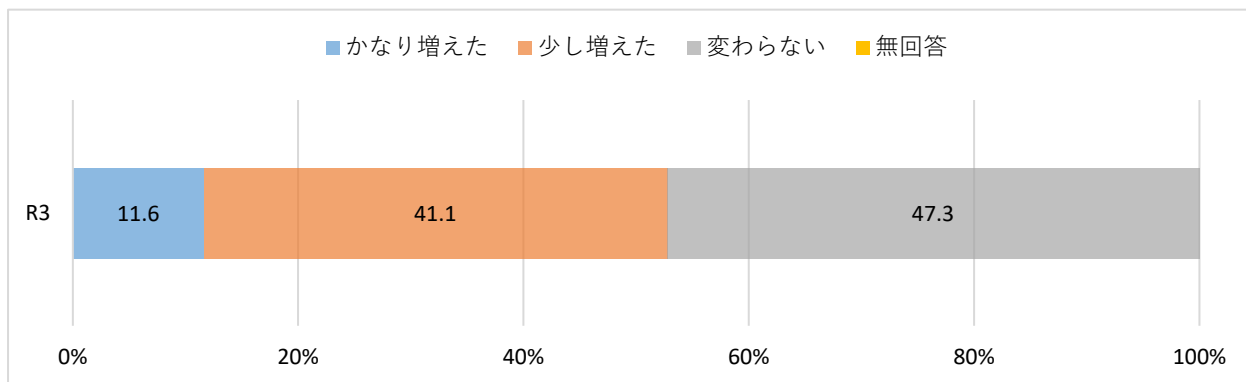
### (3) 施設



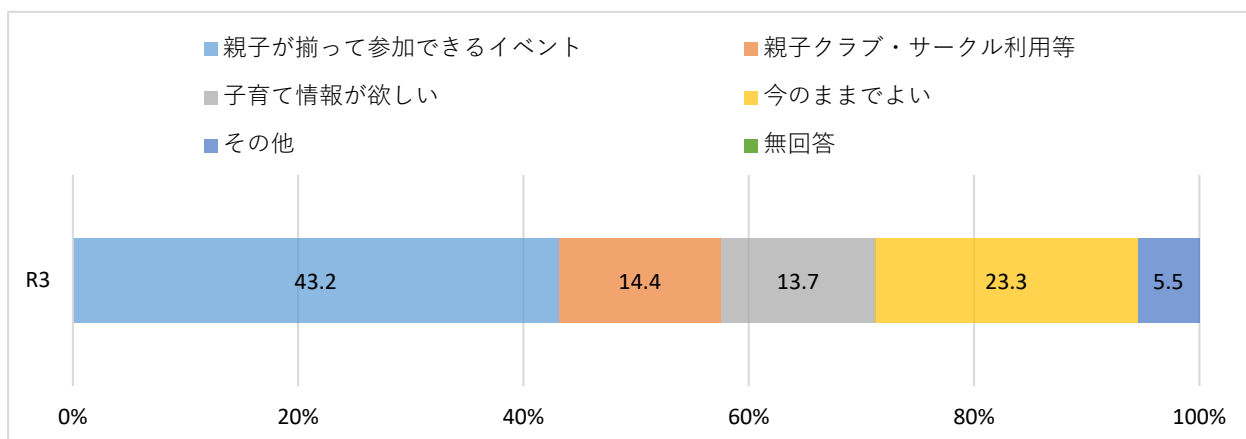
### (4) 職員の対応



### (5) 利用により新しい知人が増えたか



### (6) 「おやこふらっとひろば」で増やしてほしいサービス



## (5) 「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況

### 1 企業の認定制度

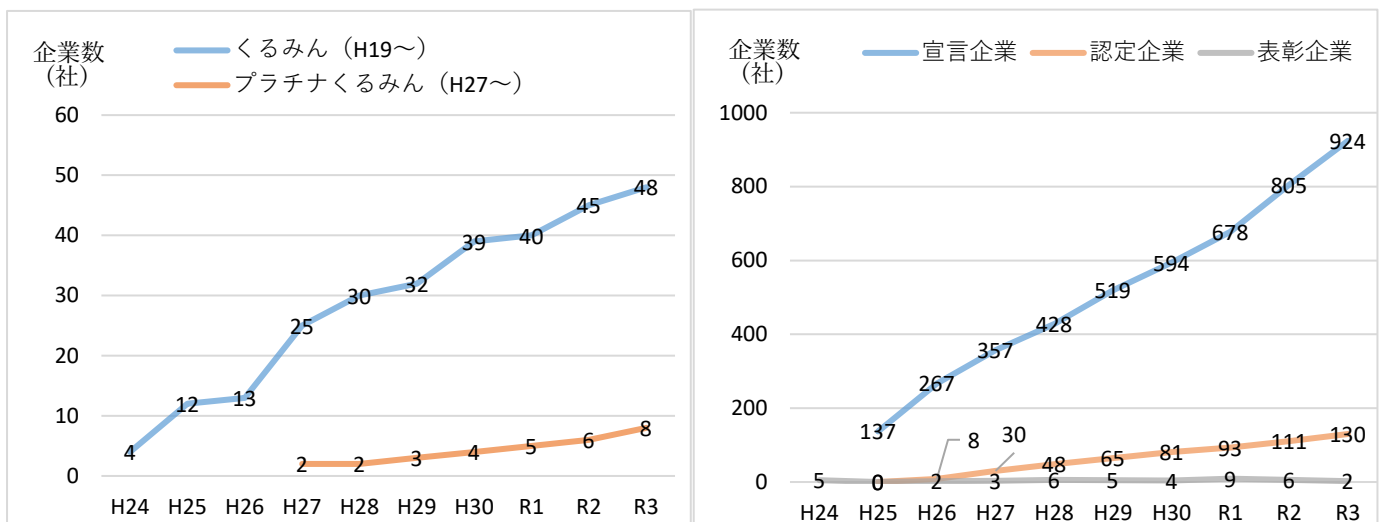
#### (1) 次世代育成支援対策推進法に基づく認定・特例認定制度（兵庫労働局）

認定制度名	開始年度	概要
くるみん	H19	行動計画を策定し、一定の育児休業等取得率や、所定労働時間の短縮措置または始業時刻変更等の措置を講じているなどの認定基準を満たす企業が、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受ける制度。
プラチナくるみん	H27	「くるみん認定」を受けた企業のうち、男性労働者の育児休業等取得率や子どもを出産した女性労働者が継続して在籍している割合など、より高い基準を満たし、仕事と子育ての両立支援を継続的に行っている企業が特例認定を受ける制度。
トライくるみん	R4	令和4年4月に「くるみん」の男性の育児休業等・育児目的休暇取得率の認定基準の引き上げに伴い、旧来の「くるみん」認定基準を満たす企業を対象に令和4年度から新たに創設された制度。
くるみんプラス	R4	くるみん等の認定基準を満たしたうえで、不妊治療と仕事を両立しやすい職場環境整備に取り組む企業が認定を受ける制度。

#### (2) ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定制度（ひょうご仕事と生活センター）

認定制度名	開始年度	概要
宣言企業	H25	ワーク・ライフ・バランスに取り組み、推進することを、経営トップ自らが広く内外に意思表示した企業。
認定企業	H26	上記「宣言企業」のうち、仕事と育児の両立を支援する制度が整備されているか、年次有給休暇取得率の実績の状況等を踏まえた「ひょうご仕事と生活の調和推進企業自己診断」の総合評価が、センターが定める認定基準を満たし、センターから認定を受けた企業。
表彰企業	H21	多様な働き方の導入や、仕事と家庭生活の両立の促進など、「仕事と生活のバランス」の実現のために先進的な取組を実施している企業。

(参考) 市内企業における過去10年間の推移



## 2 企業への支援制度（助成金・専門家派遣等）

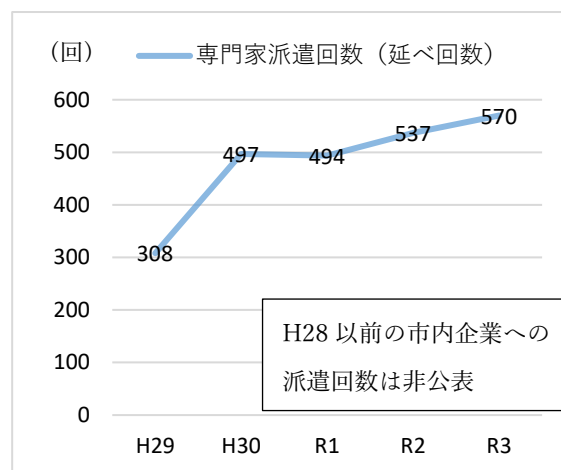
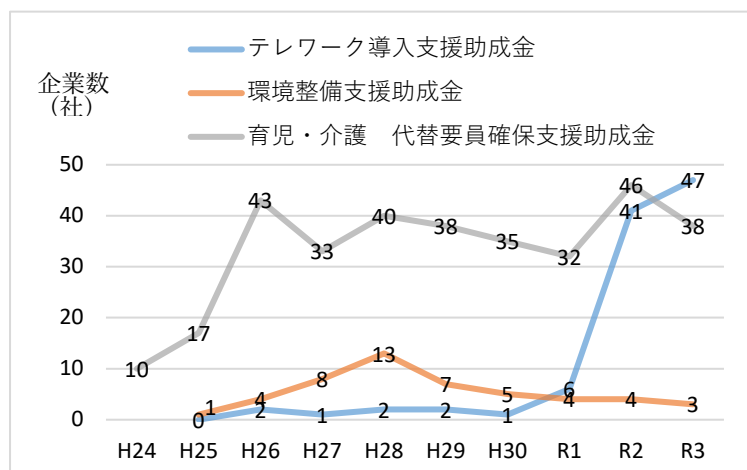
### （1）兵庫労働局

制度名称	開始年度	概要
両立支援等助成金	①出生時両立支援	H28 男性労働者が育児休業を取得しやすい職場風土づくりに取り組み、男性労働者に連続14日以上（中小企業は連続5日以上）の育児休業を取得させた事業主に対して助成。
	②育児休業等支援 （育休取得時・職場復帰時）	H25 「育休復帰支援プラン」を作成し、プランに沿って労働者に育児休業を取得、職場復帰させた中小企業事業主に対して助成。 法の規定を上回る、子の看護休暇制度または保育サービス費用補助制度を導入し、育児休業復帰後6か月以内にその制度の利用実績のあった中小企業事業主に対して助成。 育児休業取得者の代替要員を確保し、育児休業取得者を原職等に復帰させた中小企業事業主に対して助成。
	③育児休業等支援 （職場復帰後支援）	
	④育児休業等支援 （代替要員確保時）	

### （2）ひょうご仕事と生活センター

制度名称	開始年度	概要
テレワーク導入支援助成金	H25	働く人々の多様で柔軟な働き方を促進するために、中小企業の事業主が行うテレワーク環境の整備に要する費用に対して助成。
環境整備支援助成金	H25	女性・高齢者等の職域拡大や従業員のコミュニケーションを活性化させるために、職場環境整備に要する費用に対して助成。
育児・介護 代替要員確保支援助成金	H22	育児・介護休業の取得及び短時間勤務制度の利用を促進するとともに、休業者が職場復帰しやすい環境の整備に要する費用に対して助成。
専門家派遣	H21	企業が研修を実施する場合に専門家を講師として派遣。 また企業に対して、センターのスタッフや専門家を派遣し、「仕事と生活の両立」や「組織風土」等への実践的なアドバイス、継続的なフォローを実施。

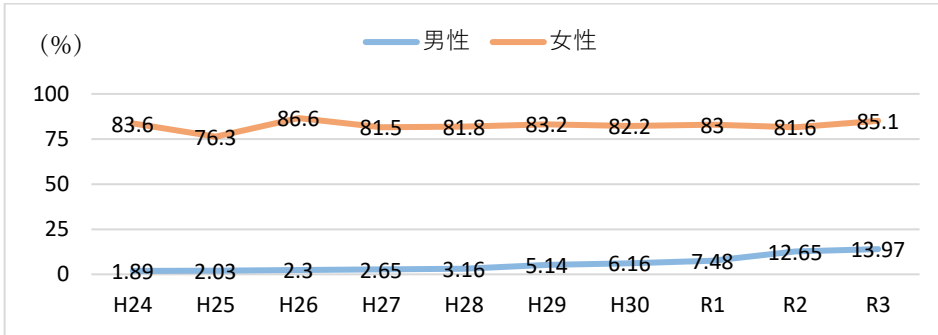
（参考）市内企業における過去10年間の推移



※(1)兵庫労働局の両立支援等助成金は件数非公表

### 3 育児休業取得率等

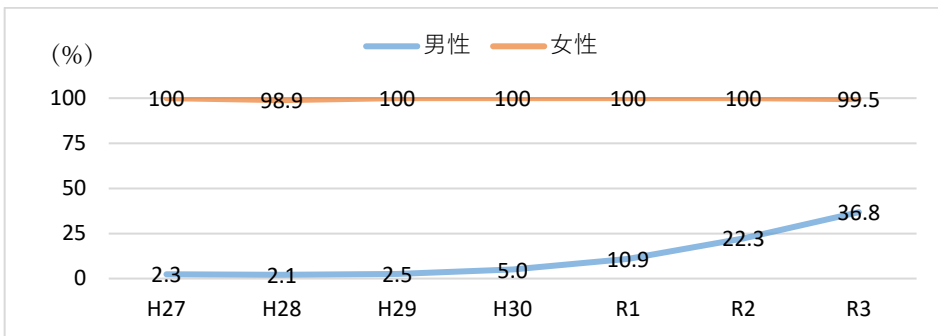
#### (1) 全国の企業と事業所における育休取得者の割合（雇用均等基本調査）



(参考) 令和3年度の数値算出方法

- ・令和元年10月1日から令和2年9月30日までの1年間に在職中に出産した女性  
または、同期間に配偶者が出産した男性のうち、
- ・令和3年10月1日までに育児休業を開始した者（育児休業の申出をしている者を含む。）の割合

#### (2) 神戸市職員における育児休業取得率

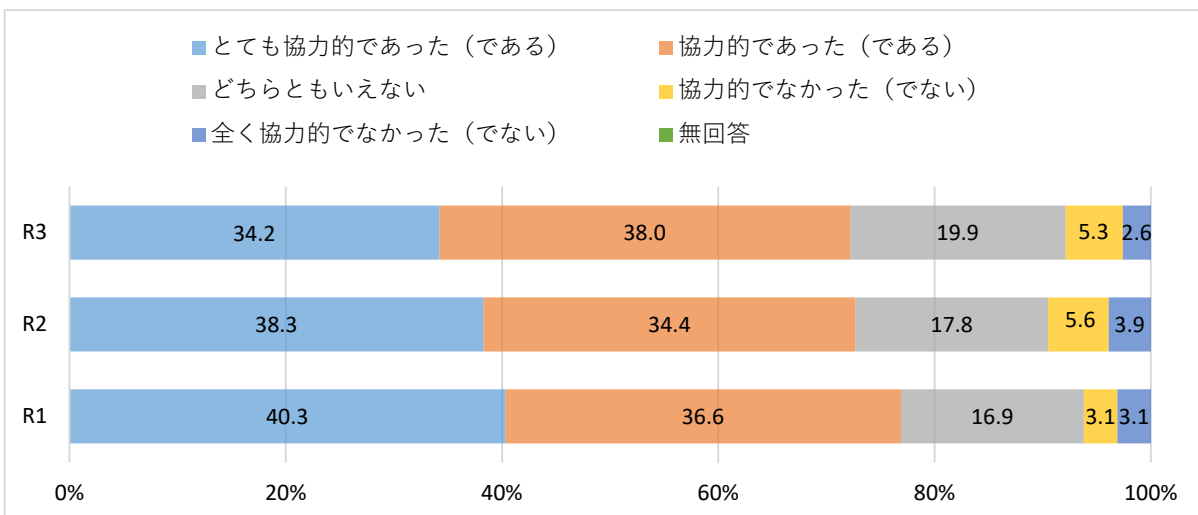


(参考) 令和3年度の数値算出方法

- ・令和3年2月4日から令和4年2月2日までに出産した女性  
または、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに配偶者が出産した男性のうち、
- ・令和3年4月1日～令和4年3月31日中に育児休業を開始した職員の割合

#### (3) 育児休業等の利用に関する職場の状況（市民（保護者）調査より引用）

育児休暇制度・短時間勤務制度の利用について、職場は協力的か。(n=266)



### 3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

本市事業名		指標 (単位)	令和3年度		令和4年度		
			計画値	実績値	計画値	実績値	
延長保育事業	量の見込み	実人数 (人)	3,717	3,380	3,735		
	確保方策		3,717	3,380	3,735		
幼稚園預かり保育事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	896,068	789,093	889,824		
	確保方策		896,068	789,093	889,824		
一時保育事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	74,180	39,912	72,525		
	確保方策		74,180	39,912	72,525		
病児保育事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	20,829	9,821	20,928		
	確保方策		25,680	33,120	25,680		
保育サービスコーディネーター	量の見込み	箇所数 (箇所)	12(16人)	12(16人)	12(16人)		
	確保方策		12(16人)	12(16人)	12(16人)		
子育てリフレッシュステイ事業	量の見込み	延べ人数 (人)	ショートステイ	1,897	916	1,696	
			デイサービス	1,969	1,402	1,792	
	確保方策		ショートステイ	1,897	916	1,696	
			デイサービス	1,969	1,402	1,792	
地域子育て支援センター事業・大学と連携した子育て支援事業・児童館における親子館事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	50,442	-	50,851		
	確保方策	箇所数 (箇所)	12/9/120	12/10/120	12/9/120		
	※確保方策は、左から地域子育て支援センター事業／大学と連携した子育て支援事業／児童館における親子館事業の順						
ファミリー・サポート・センター事業	量の見込み	週あたり延べ人数 (人)	550	160	542		
	確保方策		314	160	383		
新生児訪問指導事業	量の見込み	実人数 (人)	10,128	9,104	9,960		
	確保方策	実施体制 (人)	160	175	160		
保健師による相談・指導	量の見込み	実人数 (人)	2,085	1,104	2,112		
	確保方策	実施体制 (人)	58	106	58		
産前産後ホームヘルプサービス事業	量の見込み	延べ人数 (人)	2,531	2,016	2,784		
	確保方策	実施体制 (事業所)	15	13	17		

本市事業名		指標 (単位)	令和3年度		令和4年度	
			計画値	実績値	計画値	実績値
養育支援ヘルパー派遣事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	175	278	188	
	確保方策	実施体制 (事業所)	15	13	17	
妊婦健康診査事業	量の見込み	妊娠届出数 (人)	11,183	10,015	10,998	
		受診回数 (回)	140,906	117,890	138,575	
	確保方策	実施場所 実施体制	産科婦人科医療機関・助産所			
放課後児童クラブ	量の見込み	小学1年生	5,434	5,045	5,543	
		小学2年生	4,509	4,327	4,577	
		小学3年生	3,551	3,500	3,597	
		小学4年生	2,037	1,947	2,086	
		小学5年生	784	854	793	
		小学6年生	578	314	581	
		合計	16,893	15,987	17,177	
	確保方策		16,893	15,987	17,177	



## 4. 令和3年度 主な事業進捗状況

### 1. 仕事と子育ての両立支援

保育ニーズに対応した受入れ枠の確保として、保育所等の新設や小規模保育事業所等の整備、幼稚園から認定こども園への移行等により約 600 人分の保育定員を拡大したことに伴い、令和4年4月に待機児童ゼロを達成した。

また、保育人材の確保・定着支援として、令和4年の保育ニーズのピークに向けて、新卒保育士等に対する就職奨励一時金および採用3～7年目の職員に対する定着一時金の給付、採用1～7年目までの保育士等の宿舍の借り上げ費用に対する補助等を行うとともに、登降園管理・午睡チェック等のシステム導入に要する経費に対して引き続き補助を行った。

さらに、多様な保育ニーズに対応するため、病児保育室の運営の安定化や、学童保育においては、ニーズのある全施設で学校休業日（土曜日・長期休業中）の8時開設を実施するなど充実を図った。

### 2. 妊娠・出産・子育て期の支援

全ての子どもが、無料もしくは低額な負担金で医療機関を受診できるよう引き続きこども医療費を助成したほか、令和3年10月から入院医療費無料の対象を高校生世代まで拡大した。

また、多胎児家庭への支援の充実として、新たに、育児サポーター等を派遣し、家事及び外出支援を行う多胎児家庭ホームヘルプサービスやピアサポーター（多胎児の育児経験のある父母）を多胎妊産婦の自宅等へ派遣し、妊娠・出産・育児に伴う不安や悩みの傾聴、相談等を行った。

さらに、産後の育児不安が強い母親を対象に、新たに助産師等による訪問サービスを実施し、産後ケア事業の充実を図った。

### 3. 特に支援が必要な子どもたち・家庭への支援

児童虐待に係る相談・通報への対応強化として、こども家庭センターに担当係長3名を含む児童福祉司・児童心理司合計10名及び一時保護所職員5名を増員するとともに、引き続き現職警察官及び常勤の弁護士を配置した。

ひとり親家庭への支援については、高校生の通学定期券補助やオンラインによる就業相談などを引き続き実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活が厳しく支援につながない子育て世帯等を対象に、食品等の提供を通じて地域・行政等につなげる取り組みを行う団体に運営費を補助したほか、経済的な事情等により、学習機会を十分に得られていない中学生を対象に、無償で学習支援を行う団体の運営を支援した。

さらに、子どもへの効果的な支援の在り方や、支援を必要とする子どもや家庭に対して確実に支援が届くような方策や仕組みを検証・検討していくため、小学5年生・中学2年生の児童生徒と保護者を対象に、子どもの生活状況に関する実態調査を実施した。

#### 4. 地域における子育て支援・青少年の健全育成

学齢前の子どもが遊びを通して体力・知力の向上を図ることができるよう、室内で安全に思い切り遊べる拠点「こべっこあそびひろば」を六甲アイランドに整備するとともに、子育て中の親と子が孤立しないよう、気軽に集える「おやこふらっとひろば」を新たに西区役所で開設した。

また、新しい青少年会館を令和3年7月にハーバーセンター内に開設した。

#### 5. 幼児期の教育・保育の質の向上・小学校教育との連携

乳幼児期における遊びの重要性を、家庭、地域に啓発するため、令和2年度に引き続き、発信内容および発信方法等について検討を行うとともに、「教育・保育部会」において議論を行った。

#### 6. 子育てしやすい社会環境づくりと啓発

神戸市子育て応援サイト「ママフレ」や市民目線で子育て情報を発信する「KOBEMAMAフレ部」を展開し、「切れ目のない子育て支援」や「子育て環境の良さ」をわかりやすく市内外に情報発信した。

また、子育て世帯にやさしい環境づくりとして、子育てにやさしい駅前駐輪場の整備として、市営駐輪場においてチャイルドシート付自転車等を使用する方が駐輪しやすいよう、幅の広い区画(ママフレエリア)の整備を2か所で行った。